

講義コード	U824000101	科目ナンバリング	002D102
講義名	日本語C(初級)1		
英文科目名	Japanese (Elementary Course)		
担当者名	小林 孝子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 月曜日 4時限 西1－104		

授業概要

日本語の基本文型(きほんぶんけい)・文法(ぶんぽう)、ごい、漢字(かんじ)を学(まな)びます。聞く・話す・読む・書く練習(れんしゅう)をします。コミュニケーションに必要な(ひつよう)な日本語の基礎(きそ)をつくります。

到達目標

日本語の基本的(きほんてき)な文法(ぶんぽう)や表現(ひょうげん)を学(まな)びます。生活(せいかつ)の中で必要(ひつよう)な基本的(きほんてき)コミュニケーションができるようになります。基本漢字(きほんかんじ)300～500字と漢字のごいをおぼえて、日本語の文章(ぶんしょう)を読んだり、書いたりすることができるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	日本語で自己紹介(じこしょうかい)をしてもらいます。『初級(しょきゅう)日本語「げん き」2. 』(13課(か)から)と『Basic Kanji Book vol.1』を使(つか)ったクラスの内容(ないよう)、進(すす)め方(かた)のオリエンテーションをします。
第2回	2回目(かいめ)からの内容(ないよう)は、このクラスで勉強(べんきょう)したい学生(がくせい)の日本語のレベルやニーズを確認(かくにん)してきめます。
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	

授業方法

1. 『初級(しょきゅう)日本語「げんき」2. 』のテキストとワークブックを使(つか)って、13課(か)から勉強(べんきょう)します。2. 『Basic Kanji Book vol.1』を使って漢字(かんじ)の学習(がくしゅう)もします。毎回(まいかい)、漢字の復習(ふくしゅう)テストをします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回(まいかい)『Basic Kanji Book』の漢字(かんじ)の小テストをします。漢字とごいの予習(よしゅう)をしてくること。『げんき2』の文法(ぶんぽう)の練習(れんしゅう)の宿題(しゅくだい)もあります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	50 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20%(日本語で積極的(せっきよくてき)に話すこと。)第1学期(学期末試験):50%(『げんき2』と『Basic Kanji Book』の試験(しけん)です。)小テスト:30%(クラスで漢字や文法(ぶんぽう)の小テストをします。)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストや作文(さくぶん)の間違い(まちがひ)をなおして、かえます。時々「漢字カルタ」をします。

教科書

- Basic Kanji Book vol. 1,加納千恵子 他3名,凡人社,最新版
- 初級日本語「げんき」2. ,坂野永理 他4名,The Japan Times,最新版
- 初級日本語「げんき」2. ワークブック,坂野永理 他4名,The Japan Times,最新版

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824000102	科目ナンバリング	002D102
講義名	日本語C(初級)2		
英文科目名	Japanese (Elementary Course)		
担当者名	小林 孝子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 水曜日 1時限 西1－109		

授業概要

日本語の基本文型(きほんぶんけい)・文法(ぶんぽう)、ごい、漢字(かんじ)を学(まな)びます。聞く・話す・読む・書く練習(れんしゅう)をします。コミュニケーションに必要(ひつよう)な日本語の基礎(きそ)をつくります。

到達目標

日本語の基本的(きほんてき)な文法(ぶんぽう)や表現(ひょうげん)を学(まな)び、生活(せいかつ)の中で必要(ひつよう)な基本的(きほんてき)コミュニケーションができるようになります。基本漢字(きほんかんじ)300～500と漢字のごいをおぼえて、日本語の文章(ぶんしょう)を読んだり、書いたりすることができるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	日本語で自己紹介(じこしょうかい)をしてもらいます。『初級日本語(しょきゅうにほんご)「げんき」2. 』(後半(こうはん)の課(か)から)、『Basic Kanji Book vol.1』または『Basic Kanji Book vol.2』を使(つか)ったクラスの内容(ないよう)、進(すす)め方(かた)についてのオリエンテーションをします。
第2回	2回目(かいめ)からの内容(ないよう)は、このクラスで勉強(べんきょう)したい学生(がくせい)のレベルやニーズを確認(かくにん)してきめます。
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	

授業方法

『初級(しょきゅう)日本語「げんき」2. 』のテキストとワークブックを使(つか)って、後半(こうはん)の課(か)から勉強(べんきょう)します。『Basic Kanji Book vol.1』または『Basic Kanji Book vol.2』を使って漢字(かんじ)の学習(がくしゅう)もします。毎回(まいかい)、漢字の復習(ふくしゅう)テストをします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回(まいかい)『Basic Kanji Book』の漢字(かんじ)の小テストをします。漢字とごいの予習(よしゅう)をしてくること。『げんき2』の文法(ぶんぽう)の宿題(しゅくだい)もあります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	50 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20%(日本語で積極的(せっきよくてき)に話すこと。)第1学期(学期末試験):50%(『げんき2』と『Basic Kanji Book』の試験(しけん)です。)小テスト:30%(クラスで漢字や文法(ぶんぽう)の小テストをします。)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

作文(さくぶん)や小テストの間違い(まちがひ)をなおして、かえします。時々、「漢字カルタ」をします。

教科書

Basic Kanji Book vol. 2,加納千恵子 他3名,凡人社,最新版

Basic Kanji Book vol. 1,加納千恵子 他3名,凡人社,最新版

初級日本語「げんき」2. ,坂野永理 他4名,The Japan Times,最新版,2011

初級日本語「げんき」2. ワークブック,坂野永理 他4名,The Japan Times,最新版

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824000103	科目ナンバリング	002D102
講義名	日本語C(初級)3		
副題	作文(さくぶん)		
英文科目名	Japanese (Elementary Course)		
担当者名	大江 淳子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 金曜日 3時限 西1－211		

授業概要

- ・ しょきゅうの ぶんぼうの ふくしゅうを します。
- ・ いろいろな テーマの さくぶんを かきます。
- ・ さくぶんを かくまえに みんなで はなします。
- ・ さくぶんを せんせいが チェックします。
- ・ まちがえたところを なおします。

到達目標

- ・ 初級(しょきゅう)の文法(ぶんぽう)を使(つか)えるようになる。
- ・ いろいろなトピックについて、書(か)けるようになる。
- ・ 文(ぶん)の中(なか)で、漢字(かんじ)が使(つか)えるようになる。
- ・ WORDで日本語(にほんご)の文章(ぶんしょう)が作(つく)れるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	☆ クラスの説明(せつめい) ☆ 作文1－1: 自己紹介(じこしょうかい)
第2回	☆ 作文と文法1－2: 自己紹介(じこしょうかい)のフィードバック
第3回	☆ 作文と文法2
第4回	☆ 作文と文法3
第5回	☆ 作文と文法4
第6回	☆ 作文と文法5
第7回	☆ 作文と文法6
第8回	☆ 作文と文法7
第9回	☆ 作文と文法8
第10回	☆ 作文と文法9
第11回	☆ 作文と文法10
第12回	☆ 作文と文法11
第13回	☆ 作文と文法12
第14回	☆ 作文と文法13
第15回	☆ まとめ

授業方法

- ☆ 作文(さくぶん)
- 1 クラスでいろいろなトピックについて、話(はな)します。
- 2 それから作文(さくぶん)を書(か)きます。(作文(さくぶん)がおわらないときは宿題(しゅくだい)です。)
- 3 チェックを見(み)て、いい日本語(にほんご)に直(なお)します。 【SA(Student Assistant)と宿題(しゅくだい)をします。】 ・ SA(Student Assistant)は学習院大学(がくしゅういん だいがく)の学生(がくせい)です。 ・ いっしょに日本語を勉強(べんきょう)します。
- ☆ 文法(ぶんぽう)の勉強(べんきょう)もします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・ クラスの前(まえ)の準備(じゅんび)は、いりません。
- ・ 宿題(しゅくだい)で作文(さくぶん)を書(か)きます。
- ・ クラスに、辞書(じしょ)を持(も)ってきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	50 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

レポート:50%(作文(さくぶん)を書(か)く。書(か)いた作文(さくぶん)をなおす。あたらしいことばを つかって ぶんを つくったり、ぶんぼうの プリントを したりする。)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

作文(さくぶん)、文法(文法)のプリント、ことばのプリントなど

教科書

改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型200,友松悦子 宮本淳 和栗雅子,アルク,改訂版,2013,9784757422605

短期集中 初級日本語文法総まとめ ポイント20,友松悦子・和栗雅子 著,スリーエーネットワーク,978-4-88319-328-8

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824000104	科目ナンバリング	002D102
講義名	日本語C(初級)4		
英文科目名	Japanese (Elementary Course)		
担当者名	田中 洋子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 木曜日 4時限 西1－202		

授業概要

日本で学習するために必要な漢字、文型などをテキストを通して学ぶ

到達目標

日本語の書籍、簡単な新聞記事などを読み、理解すること

授業内容

実施回	内容
第1回	はじめに
第2回	テキスト1－1
第3回	前回のクイズ・補助教材・テキスト2－1
第4回	前回のクイズ・補助教材・テキスト3－1
第5回	前回のクイズ・補助教材・テキスト4－1
第6回	前回のクイズ・補助教材・テキスト5－1
第7回	前回のクイズ・補助教材・テキスト6－1
第8回	前回のクイズ・補助教材・テキスト7－1
第9回	前回のクイズ・補助教材・テキスト8－1
第10回	前回のクイズ・補助教材・テキスト9－1
第11回	前回のクイズ・補助教材・テキスト10－1
第12回	前回のクイズ・補助教材・テキスト11－1
第13回	前回のクイズ・補助教材・テキスト12－1
第14回	前回のクイズ・補助教材・テキスト13－1
第15回	まとめ
第16回	後期のはじめに
第17回	テキスト1－2
第18回	前回のクイズ・補助教材・テキスト2－2
第19回	前回のクイズ・補助教材・テキスト3－2
第20回	前回のクイズ・補助教材・テキスト4－2
第21回	前回のクイズ・補助教材・テキスト5－2
第22回	前回のクイズ・補助教材・テキスト6－2
第23回	前回のクイズ・補助教材・テキスト7－2
第24回	前回のクイズ・補助教材・テキスト8－2
第25回	前回のクイズ・補助教材・テキスト9－2
第26回	前回のクイズ・補助教材・テキスト10－2
第27回	前回のクイズ・補助教材・テキスト11－2
第28回	前回のクイズ・補助教材・テキスト12－2
第29回	前回のクイズ・補助教材・テキスト13－2
第30回	まとめ

授業方法

テキストを読むだけでなく、会話も重視します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

テキスト・補助教材の復習

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	0 %	
レポート	20 %	
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

積極的な参加、レポート・クイズなどの提出物は期日を守って指示通りに提出されているか、などを見ます

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

クイズについては必ず答え合わせをするので、自分の間違いをなおしておくこと。

教科書

はばたけ日本語,山口隆正ほか,八千代出版,1,978-4-8429-1642-2

教科書コメント

ISBNについては後日回答します

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824000105	科目ナンバリング	002D102
講義名	日本語C(初級)5		
英文科目名	Japanese (Elementary Course)		
担当者名	小林 孝子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 月曜日 4時限 西1－104		

授業概要

日本語の基本文型(きほんぶんけい)・文法(ぶんぽう)、ごい、漢字(かんじ)を学(まな)びます。聞く・話す・読む・書く練習(れんしゅう)をします。コミュニケーションに必要(ひつよう)な日本語の基礎(きそ)をつくります。

到達目標

日本語の基本的(きほんてき)な文法(ぶんぽう)や表現(ひょうげん)を学(まな)び、生活(せいかつ)の中で必要(ひつよう)な基本的(きほんてき)コミュニケーションができるようになります。基本漢字(きほんかんじ)300～500と漢字のごいをおぼえて、日本語の文章(ぶんしょう)を読んだり、書いたりすることができるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	日本語で自己紹介(じこしょうかい)をしてもらいます。『初級(しょきゅう)日本語「げんき」2. 』(前半(ぜんはん)の課(か)から)と『Basic Kanji Book vol.1』を使(つか)ったクラスの内容(ないよう)、進(すす)め方(かた)についてのオリエンテーションをします。
第2回	2回目(かいめ)からの内容(ないよう)は、このクラスで勉強(べんきょう)したい学生(がくせい)のレベルやニーズを確認(かくにん)してきめます。
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	

授業方法

『初級(しょきゅう)日本語「げんき」2. 』のテキストとワークブックを使(つか)って、前半(ぜんはん)の課(か)から勉強(べんきょう)します。『Basic Kanji Book vol.1』を使(つか)って漢字(かんじ)の学習(がくしゅう)もします。毎回(まいかい)、漢字の復習(ふくしゅう)テストをします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回(まいかい)『Basic Kanji Book』の小テストをします。漢字(かんじ)とごいの予習(よしゅう)をしてくること。『げんき2』の文法(ぶんぽう)の宿題(しゅくだい)もあります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	50 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20%(日本語で積極的(せっきよくてき)に話すこと。)第2学期(学年末試験):50%(『げんき2』と『Basic Kanji Book』の試験(しけん)です。)小テスト:30%(クラスで漢字や文法(ぶんぽう)の小テストをします。)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

作文(さくぶん)や小テストの間違い(まちがひ)をなおして、かえします。時々、「漢字カルタ」をします。

教科書

Basic Kanji Book vol. 1,加納千恵子 他3名,凡人社,最新版

初級日本語「げんき」2. ,坂野永理 他4名,The Japan Times,最新版

初級日本語「げんき」2. ワークブック,坂野永理 他4名,The Japan Times,最新版

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824000106	科目ナンバリング	002D102
講義名	日本語C(初級)6		
英文科目名	Japanese (Elementary Course)		
担当者名	小林 孝子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 水曜日 4時限 西1－109		

授業概要

日本語の基本文型(きほんぶんけい)・文法(ぶんぽう)、ごい、漢字(かんじ)を学(まな)びます。聞く・話す・読む・書く練習(れんしゅう)をします。コミュニケーションに必要(ひつよう)な日本語の基礎(きそ)をつくります。

到達目標

日本語の基本的(きほんてきな)な文法(ぶんぽう)や表現(ひょうげん)を学(まな)び、生活(せいかつ)の中で必要(ひつよう)な基本的(きほんてき)コミュニケーションができるようになります。基本漢字(きほんかんじ)300～500と漢字のごいをおぼえて、日本語の文章(ぶんしょう)を読んだり、書いたりすることができるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	日本語で自己紹介(じこしょうかい)をしてもらいます。『初級(しょきゅう)日本語「げんき」2. 』(後半(こうはん)の課(か)から)、『Basic Kanji Book vol.1』または『Basic Kanji Book vol.2』を使(つか)ったクラスの内容(ないよう)、進(すす)め方(かた)についてのオリエンテーションをします。
第2回	2回目(かいめ)からの内容(ないよう)は、このクラスで勉強(べんきょう)したい学生(がくせい)のレベルとニーズを確認(かくにん)してきめます。
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	

授業方法

『初級(しょきゅう)日本語「げんき」2. 』のテキストとワークブックを使(つか)って、後半(こうはん)の課(か)から勉強(べんきょう)します。『Basic Kanji Book vol.1』または『Basic Kanji Book vol.2』を使って漢字(かんじ)の学習(がくしゅう)もします。毎回(まいかい)、漢字の復習(ふくしゅう)テストをします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回(まいかい)『Basic Kanji Book』の小テストをします。漢字(かんじ)とごいの予習(よしゅう)をしてくること。『げんき2』の文法(ぶんぽう)の宿題(しゅくだい)もあります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	50 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20%(日本語で積極的(せっきよくてき)に話すこと。)第2学期(学年末試験):50%(『げんき2』と『Basic Kanji Book』の試験(しけん)です。)小テスト:30%(クラスで漢字(かんじ)と文法(ぶんぽう)の小テストをします。)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

作文(さくぶん)や小テストは、間違い(まちが)いをなおして、かえます。時々「漢字カルタ」をします。

教科書

Basic Kanji Book vol. 2,加納千恵子 他3名,凡人社,最新版

Basic Kanji Book vol. 1,加納千恵子 他3名,凡人社,最新版

初級日本語「げんき」2. ,坂野永理 他4名,The Japan Times,最新版

初級日本語「げんき」2. ワークブック,坂野永理 他4名,The Japan Times,最新版

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824000107	科目ナンバリング	002D102
講義名	日本語C(初級)7		
副題	作文(さくぶん)		
英文科目名	Japanese (Elementary Course)		
担当者名	大江 淳子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 金曜日 3時限 西1－211		

授業概要

- ・ しょきゅうの ぶんぼうの ふくしゅうを します。
- ・ いろいろな テーマの さくぶんを かきます。
- ・ さくぶんを かくまえに みんなで はなします。
- ・ さくぶんを せんせいが チェックします。
- ・ まちがえたところを なおします。

到達目標

- ・ 初級(しょきゅう)の文法(ぶんぽう)を使(つか)えるようになる。
- ・ いろいろなトピックについて、書(か)けるようになる。
- ・ 文(ぶん)の中(なか)で、漢字(かんじ)が使(つか)えるようになる。
- ・ WORDで日本語(にほんご)の文章(ぶんしょう)が作(つく)れるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	☆ クラスの説明(せつめい) ☆ 作文1－1: 自己紹介(じこしょうかい)
第2回	☆ 作文と文法1－2: 自己紹介(じこしょうかい)のフィードバック
第3回	☆ 作文と文法2
第4回	☆ 作文と文法3
第5回	☆ 作文と文法4
第6回	☆ 作文と文法5
第7回	☆ 作文と文法6
第8回	☆ 作文と文法7
第9回	☆ 作文と文法8
第10回	☆ 作文と文法9
第11回	☆ 作文と文法10
第12回	☆ 作文と文法11
第13回	☆ 作文と文法12
第14回	☆ 作文と文法13
第15回	☆ まとめ

授業方法

- ☆ 作文(さくぶん)
- 1 クラスでいろいろなトピックについて、話(はな)します。
- 2 それから作文(さくぶん)を書(か)きます。(作文(さくぶん)がおわらないときは宿題(しゅくだい)です。)
- 3 チェックを見(み)て、いい日本語(にほんご)に直(なお)します。 【SA(Student Assistant)と宿題(しゅくだい)をします。】 ・ SA(Student Assistant)は学習院大学(がくしゅういん だいがく)の学生(がくせい)です。 ・ いっしょに日本語を勉強(べんきょう)します。
- ☆ 文法(ぶんぽう)の勉強(べんきょう)もします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・ クラスの前(まえ)の準備(じゅんび)は、いりません。
- ・ 宿題(しゅくだい)で作文(さくぶん)を書(か)きます。
- ・ クラスに、辞書(じしょ)を持(も)ってきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	50 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

レポート:50%(作文(さくぶん)を書(か)く。書(か)いた作文(さくぶん)をなおす。あたらしいことばを つかって ぶんを つくったり、ぶんぼうの プリントを したりする。)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

作文(さくぶん)、文法(文法)のプリント、ことばのプリントなど

教科書

改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型200,友松悦子 宮本淳 和栗雅子,アルク,改訂版,2013,9784757422605

短期集中 初級日本語文法総まとめ ポイント20,友松悦子・和栗雅子 著,スリーエーネットワーク,978-4-88319-328-8

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824000108	科目ナンバリング	002D102
講義名	日本語C(初級)8		
英文科目名	Japanese (Elementary Course)		
担当者名	田中 洋子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 木曜日 4時限 西1－202		

授業概要

中級日本語の作文の授業です。正しい日本語で書くことを目標とします

到達目標

日本語を書くことについての基礎力をつけ、レポート、レジュメなどが書けるようにする

授業内容

実施回	内容
第1回	紹介
第2回	わたし
第3回	私の町
第4回	私の大切な人
第5回	地図の説明
第6回	地図を書いて説明する
第7回	グラフを読む
第8回	グラフの説明を書く
第9回	もし・・・
第10回	思い出の記録
第11回	ニュースの解説
第12回	おすすめの・・・
第13回	要約の解説
第14回	心に残るプレゼント
第15回	まとめ

授業計画コメント

このほか日本語を書くことについての勉強もします

授業方法

解説と実作を重ねていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

自分の提出した作文が帰ってきたら必ず書き直すこと

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):50%(出席を重視します) 第1学期(学期末試験):20%(テスト成績) 小テスト:10%(漢字テストなどを時々行います) 出席・提出物・小テストも評価の対象にします。レポート:20%(提出物がきちんと出ているか、直してあるか)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業でやった課題について試験します。その他課題も出します。

教科書

文章表現の基礎技法,山口隆正他,八千代出版,2017,978-4842916941

教科書コメント

テキストは3月出版予定。ISBNはおって連絡します。

参考文献

小論文への12のステップ,友松悦子,スリーエーネットワーク,2016,9784883194889

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

プレースメントテストで中級と認定された学生のための授業です。そのほかの学生は面談の上、認めることもあります。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824001101	科目ナンバリング	002D202
講義名	日本語C(中級)1		
英文科目名	Japanese (Intermediate Course)		
担当者名	田中 洋子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 火曜日 1時限 西1－101		

授業概要

中級日本語の作文の授業です。正しい日本語で書くことを目標とします

到達目標

日本語を書くことについての基礎力をつけ、レポート、レジュメなどが書けるようにする

授業内容

実施回	内容
第1回	紹介
第2回	わたし
第3回	私の町
第4回	私の大切な人
第5回	地図の説明
第6回	地図を書いて説明する
第7回	グラフを読む
第8回	グラフの説明を書く
第9回	もし・・・
第10回	思い出の記録
第11回	ニュースの解説
第12回	おすすめの・・・
第13回	要約の解説
第14回	心に残るプレゼント
第15回	まとめ

授業計画コメント

このほか日本語を書くことについての勉強もします

授業方法

解説と実作を重ねていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

自分の提出した作文が帰ってきたら必ず書き直すこと

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):50%(出席を重視します) 第1学期(学期末試験):20%(テスト成績) 小テスト:10%(漢字テストなどを時々行います) 出席・提出物・小テストも評価の対象にします。レポート:20%(提出物がきちんと出ているか、直しているか)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業でやった課題について試験します。その他課題も出します。

教科書

文章表現の基礎技法,山口隆正他,八千代出版,2017,978-4842916941

教科書コメント

テキストは3月出版予定。ISBNはおって連絡します。

参考文献

小論文への12のステップ,友松悦子,スリーエーネットワーク,2016,9784883194889

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

プレースメントテストで中級と認定された学生のための授業です。そのほかの学生は面談の上、認めることもあります。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824001102	科目ナンバリング	002D202
講義名	日本語C(中級)2		
英文科目名	Japanese (Intermediate Course)		
担当者名	小林 孝子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 水曜日 2時限 西1－109		

授業概要

テキスト『J.Bridge』の各課のテーマ(「観光地を旅行する」「将来の希望や夢」等)を中心に、そのテーマについて聞く・話す・読む・書くためにどのような日本語が必要か意識化し、学生一人一人の個性的な表現ができるようになります。

到達目標

テキストの各課のテーマに沿って、日本語を聞く・話す・読む・書く総合的な力をつけます。文法や表現などの日本語の知識と運用力のギャップをうめ、各テーマについて、日本語で表現したり発表したりすることができるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	テキストの内容の紹介とオリエンテーション 第2課:旅行する
第2回	第2課:旅行する①ベトナムへ行こう！
第3回	第2課:旅行する②ベトナムへ行こう！
第4回	第2課:旅行する③ベトナムに行く前に
第5回	第2課:旅行する④ベトナムに行く前に
第6回	第2課:旅行する⑤ベトナムに行く前に
第7回	第2課:旅行する⑥日本の観光地 長崎
第8回	第2課:旅行する⑦日本の観光地 長崎
第9回	第2課:旅行する⑧日本の観光地 長崎(課題の発表)
第10回	第4課:未来①それぞれの夢
第11回	第4課:未来②それぞれの夢
第12回	第4課:未来③30年後の世界
第13回	第4課:未来④30年後の世界
第14回	第4課:未来⑤30年後の世界(課題の発表)
第15回	まとめ

授業計画コメント

クラスの受講者の状況によって上記のスケジュールを変更することがあります。

授業方法

テキストの各課のテーマに沿って、語彙(ごい)→聴解→文法・表現の意識化→読解→作文→発表へと授業を進めていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に各課の新出語彙の読み方と意味を予習しておくこと。発表の前には各テーマについて調べ、内容理解のためのポイントをまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	50 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20%(出席や授業中の積極的な態度、課題への取 り組みを重視します。)第1学期(学期末試験):50%(テキストの『J.Bridge ジェイ・ブリッジ』を中心とした試験です。)小テスト:10%(語彙や漢字、文法などの小テストをします。)授業の3分の1以上欠席した場合は成績評価をしません。レポート:20%(各課で学習した語彙や表現を使って、各課のテーマに沿った作文を書く練習です。)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

宿題・課題のプリント、小テスト、作文の誤りをなおして返します。

教科書

J.Bridge ジェイ・ブリッジ,小山 悟,凡人社,新装第2版,2010

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

クラス分けテストで中級のはじめのクラスに入る学生のクラスです。その他の学生は先生と相談してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824001103	科目ナンバリング	002D202
講義名	日本語C(中級)3		
副題	文法／表現の復習・プレゼンテーション		
英文科目名	Japanese (Intermediate Course)		
担当者名	大江 淳子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 火曜日 3時限 西1－309		

授業概要

文法／表現の復習・プレゼンテーション

到達目標

- ・ プレゼンテーションなどに必要な表現・文法を復習する
- ・ 自分の興味(きょうみ)があるトピックについて日本語で調(しら)べて、日本語で意見(いけん)が言えるようになる。
- ・ 自分の興味(きょうみ)があるトピックの語彙(ごい)が使えるようになる

授業内容

実施回	内容
第1回	クラスの説明(せつめい)
第2回	プレゼンテーションで使う表現や文法1
第3回	プレゼンテーション準備1
第4回	プレゼンテーションで使う表現や文法2
第5回	プレゼンテーション準備2
第6回	プレゼンテーションで使う表現や文法3
第7回	プレゼンテーション準備3
第8回	プレゼンテーションで使う表現や文法4
第9回	プレゼンテーション準備4
第10回	プレゼンテーション準備5
第11回	プレゼンテーション準備6
第12回	プレゼンテーション1
第13回	プレゼンテーション2
第14回	プレゼンテーション3
第15回	プレゼンテーションのフィードバック・まとめ

授業方法

- ・ それぞれの興味(きょうみ)があることについて日本語でプレゼンテーションをする。
 - ・ 「よいプレゼンテーション」とは何かについてみんなで考えて、意見交換(いけん こうかん)する。
 - ・ 自分で決めたテーマでプレゼンテーションをする。
 - ・ 他(ほか)の人のプレゼンテーションを聞いて、質問(しつもん)したり意見(いけん)したりする。
- 【宿題(しゅくだい)】
- ・ プレゼンテーション原稿(げんこう)の作成(さくせい)。
 - ・ プレゼンテーションの練習(れんしゅう)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・ プレゼンテーションの準備(じゅんび)や文法(ぶんぽう)・表現(ひょうげん)などの宿題(しゅくだい)があります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	100%	プレゼンテーション50%、文法・表現50%

成績評価コメント

詳細(しょうさい)はクラスで説明します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

クラスでします。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824001104	科目ナンバリング	002D202
講義名	日本語C(中級)4		
副題	ニュース		
英文科目名	Japanese (Intermediate Course)		
担当者名	大江 淳子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 金曜日 4時限 西1-211		

授業概要

- ・ クラスでニュースを見る ・ ニュースについて話す ・ レポートを書く

到達目標

- ・ ニュースを聞いて、理解(りかい))できるようになる。
- ・ ニュースの中で使われている表現(ひょうげん)を理解(りかい)して、使えるようになる。
- ・ クラスで見たニュースに関することについて、日本語で意見交換(いけん こうかん)ができるようになる。
- ・ 日本語で意見交換(いけん こうかん)した内容や、自分の意見についてレポートを書くことができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	・ クラスの説明 ・ ニュース1
第2回	・ ニュース2
第3回	・ ニュース3
第4回	・ ニュース4
第5回	・ ニュース5
第6回	・ ニュース6
第7回	・ ニュース7
第8回	・ ニュース8
第9回	・ ニュース9
第10回	・ ニュース10
第11回	・ ニュース11
第12回	・ ニュース12
第13回	・ ニュース13
第14回	・ ニュース14
第15回	まとめ

授業方法

- 1、語彙(ごい)リストを配布(はいふ)→ 授業中に語彙(ごい)を調べるので辞書(じしょ)が必要です。
 - 2、ニュースを見て、内容に関するQAをする。
 - 3、ニュースに関係があるトピックについて話し合いをする。
- ☆ 毎回(まいかい)、前回(ぜんかい)の語彙リストから語彙のクイズをします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・ クラスの前の準備(じゅんび)は必要(ひつよう)ありません。
- ・ このクラスは課題(かだい)や宿題(しゅくだい)のために、授業時間外(じゅぎょう じかん がい)にSA(Student Assistant)と話し合って勉強する時間をもつことをすすめています。SAについてはクラスで説明します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	70 %	レポートはチェックのあと、清書(せいしょ)します。
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

クラスでします。レポートを清書(せいしょ)するために、授業の時間以外(いがい)にSA(Student Assistant)と話し合って勉強する時間をもつことをすすめています。SAについて、1回目のクラスで説明します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824001105	科目ナンバリング	002D202
講義名	日本語C(中級)5		
英文科目名	Japanese (Intermediate Course)		
担当者名	田中 洋子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 火曜日 1時限 西1－101		

授業概要

中級日本語の作文の授業です。正しい日本語で書くことを目標とします

到達目標

日本語を書くことについての基礎力をつけ、レポート、レジュメなどが書けるようにする

授業内容

実施回	内容
第1回	紹介
第2回	わたし
第3回	私の町
第4回	私の大切な人
第5回	地図の説明
第6回	地図を書いて説明する
第7回	グラフを読む
第8回	グラフの説明を書く
第9回	もし・・・
第10回	思い出の記録
第11回	ニュースの解説
第12回	おすすめの・・・
第13回	要約の解説
第14回	心に残るプレゼント
第15回	まとめ

授業計画コメント

このほかに問題などもする予定

授業方法

解説と実作を重ねていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

返却された作文は必ず書き直して再提出すること

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):50%(出席を重視します) 第2学期(学年末試験):20%(テスト成績) 小テスト:10%(漢字テストなど) 出席・提出物・小テストなども評価に入れます レポート:20%(提出物および訂正ができているか)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業でやった課題についてテストします。その他レポートあり。

教科書

文章表現の基礎技法,山口隆正他,八千代出版,2017,978-4842916941

教科書コメント

テキストは3月出版予定。ISBNはおって連絡します。

参考文献

小論文への12のステップ,友松悦子,スリーエーネットワーク,2016,9784883194889

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

プレイスメントテストで中級と認定された学生のための授業です。そのほかの学生は面談の上、認めることもあります。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824001106	科目ナンバリング	002D202
講義名	日本語C(中級)6		
英文科目名	Japanese (Intermediate Course)		
担当者名	小林 孝子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 水曜日 5時限 西1－109		

授業概要

テキスト『J.Bridge』の各課のテーマ(「紹介する」「事件や事故の証言」等)を中心に、そのテーマについて聞く・話す・読む・書くためにどのような日本語が必要か意識化し、学生一人一人の個性的な表現ができるようになります。

到達目標

テキストの各課のテーマに沿って、日本語を聞く・話す・読む・書く総合的な力をつけます。文法などの日本語の知識と運用力のギャップをうめ、各テーマについて日本語で表現したり、発表したりすることができるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	テキストの内容の紹介とオリエンテーション 第1課:紹介する①あなたはどんな性格？
第2回	第1課:紹介する②あなたはどんな性格？
第3回	第1課:紹介する③あなたはどんな性格？(課題の発表)
第4回	第4課:未来①未来の新製品
第5回	第4課:未来②未来の新製品
第6回	第4課:未来③未来の新製品(課題の発表)
第7回	第5課:ミステリー①殺人事件現場
第8回	第5課:ミステリー②殺人事件現場
第9回	第5課:ミステリー③目撃者の証言
第10回	第5課:ミステリー④目撃者の証言
第11回	第5課:ミステリー⑤目撃者の証言
第12回	第5課:ミステリー⑥3億円事件
第13回	第5課:ミステリー⑥3億円事件
第14回	第5課:ミステリー⑥3億円事件(課題の発表)
第15回	まとめ

授業計画コメント

クラスの受講者の状況によって上記のスケジュールを変更することがあります。

授業方法

テキストの各課のテーマに沿って、語彙(ごい)→聴解→文法・表現の意識化→読解→作文→発表へと授業を進めていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に各課の新出語彙の読み方と意味を予習しておくこと。発表の前には、各テーマについて調べ、内容理解のためのポイントをまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	50 %	
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20%(出席や授業中の積極的な態度、課題への取り組みを重視します。)第2学期(学年末試験):50%(テキストの『J.Bridge ジェイ・ブリッジ』を中心とした試験です。)小テスト及び宿題:10%(文法や語彙、漢字の小テストをします。)授業の3分の1以上欠席した場合、原則として成績評価をしません。レポート:20%(各課で学習した語彙や表現を使って、各課のテーマに沿った作文を書く練習です。)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

宿題・課題のプリント、小テスト、作文の誤りを直して返します。

教科書

J.Bridge ジェイ・ブリッジ,小山 悟,凡人社,新装第2版,2010

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

クラス分けテストで中級のはじめのクラスに入る学生のクラスです。その他の学生は先生と相談してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824001107	科目ナンバリング	002D202
講義名	日本語C(中級)7		
副題	文法／表現の復習・プレゼンテーション		
英文科目名	Japanese (Intermediate Course)		
担当者名	大江 淳子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 火曜日 3時限 西1－309		

授業概要

文法／表現の復習・プレゼンテーション

到達目標

- ・ プレゼンテーションなどに必要な表現・文法を復習する
- ・ 自分の興味(きょうみ)があるトピックについて日本語で調(しら)べて、日本語で意見(いけん)が言えるようになる。
- ・ 自分の興味(きょうみ)があるトピックの語彙(ごい)が使えるようになる

授業内容

実施回	内容
第1回	クラスの説明(せつめい)
第2回	プレゼンテーションで使う表現や文法1
第3回	プレゼンテーション準備1
第4回	プレゼンテーションで使う表現や文法2
第5回	プレゼンテーション準備2
第6回	プレゼンテーションで使う表現や文法3
第7回	プレゼンテーション準備3
第8回	プレゼンテーションで使う表現や文法4
第9回	プレゼンテーション準備4
第10回	プレゼンテーション準備5
第11回	プレゼンテーション準備6
第12回	プレゼンテーション1
第13回	プレゼンテーション2
第14回	プレゼンテーション3
第15回	プレゼンテーションのフィードバック・まとめ

授業方法

- ・ それぞれの興味(きょうみ)があることについて日本語でプレゼンテーションをする。
 - ・ 「よいプレゼンテーション」とは何かについてみんなで考えて、意見交換(いけん こうかん)する。
 - ・ 自分で決めたテーマでプレゼンテーションをする。
 - ・ 他(ほか)の人のプレゼンテーションを聞いて、質問(しつもん)したり意見(いけん)したりする。
- 【宿題(しゅくだい)】
- ・ プレゼンテーション原稿(げんこう)の作成(さくせい)。
 - ・ プレゼンテーションの練習(れんしゅう)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・ プレゼンテーションの準備(じゅんび)や文法(ぶんぽう)・表現(ひょうげん)などの宿題(しゅくだい)があります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	100%	プレゼンテーション50%、文法・表現50%

成績評価コメント

詳細(しょうさい)はクラスで説明します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

クラスでします。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824001108	科目ナンバリング	002D202
講義名	日本語C(中級)8		
副題	ニュース		
英文科目名	Japanese (Intermediate Course)		
担当者名	大江 淳子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 金曜日 4時限 西1－211		

授業概要

- ・ クラスでニュースを見る ・ ニュースについて話す ・ レポートを書く

到達目標

- ・ ニュースを聞いて、理解(りかい))できるようになる。
- ・ ニュースの中で使われている表現(ひょうげん)を理解(りかい)して、使えるようになる。
- ・ クラスで見たニュースに関することについて、日本語で意見交換(いけん こうかん)ができるようになる。
- ・ 日本語で意見交換(いけん こうかん)した内容や、自分の意見についてレポートを書くことができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	・ クラスの説明 ・ ニュース1
第2回	・ ニュース2
第3回	・ ニュース3
第4回	・ ニュース4
第5回	・ ニュース5
第6回	・ ニュース6
第7回	・ ニュース7
第8回	・ ニュース8
第9回	・ ニュース9
第10回	・ ニュース10
第11回	・ ニュース11
第12回	・ ニュース12
第13回	・ ニュース13
第14回	・ ニュース14
第15回	まとめ

授業方法

- 1、語彙(ごい)リストを配布(はいふ)→ 授業中に語彙(ごい)を調べるので辞書(じしょ)が必要です。
 - 2、ニュースを見て、内容に関するQAをする。
 - 3、ニュースに関係があるトピックについて話し合いをする。
- ☆ 毎回(まいかい)、前回(ぜんかい)の語彙リストから語彙のクイズをします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・ クラスの前の準備(じゅんび)は必要(ひつよう)ありません。
- ・ このクラスは課題(かだい)や宿題(しゅくだい)のために、授業時間外(じゅぎょう じかん がい)にSA(Student Assistant)と話し合って勉強する時間をもつことをすすめています。SAについてはクラスで説明します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	70 %	レポートはチェックのあと、清書(せいしょ)します。
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

クラスでします。レポートを清書(せいしょ)するために、授業の時間以外(いがい)にSA(Student Assistant)と話し合って勉強する時間をもつことをすすめています。SAについて、1回目のクラスで説明します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824002101	科目ナンバリング	002D302
講義名	日本語C(上級)1		
英文科目名	Japanese (Advanced Course)		
担当者名	小林 孝子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 月曜日 5時限 西1－104		

授業概要

テキスト『国境を越えて』の各課のテーマ(「自然・風土の多様性」「人の移動と移民問題」等)について挑発的、刺激的な意見を提示し、それを呼び水として様々な問題について考え、自主的に調べ、調べたことを文章や口頭で発表し、皆で話し合う。

到達目標

テキスト『国境を越えて』の各課のテーマに沿って日本社会を読み解き、大学生としての一般教養的知識を学び、日本語の理解力と表現力を養う。

授業内容

実施回	内容
第1回	日本語で自己紹介をする。テキスト『国境を越えて』を使用した授業の内容、進め方についてのオリエンテーション。 第1課 文明の多様性と異質性 トピック1: 自然・風土の多様性
第2回	トピック1: 自然・風土の多様性
第3回	トピック1: 自然・風土の多様性
第4回	トピック2: 多文化の時代
第5回	トピック2: 多文化の時代
第6回	トピック3: 文明の類型について
第7回	第1課の展開問題の発表
第8回	第2課 人口動態 トピック1: 人口問題
第9回	トピック1: 人口問題
第10回	トピック2: 人口大国の政策課題
第11回	トピック2: 人口大国の政策課題
第12回	トピック3: 人の移動と移民問題
第13回	トピック3: 人の移動と移民問題
第14回	第2課の展開問題の発表
第15回	まとめ

授業計画コメント

クラスの受講者の状況などによって上記のスケジュールを変更する場合がある。各課の話題に関連のある注目すべき時事問題や話題がある場合、上記のトピックに加え新聞記事やドキュメンタリー番組などを教材にすることもある。

授業方法

教科書の各課のテーマを中心に、各課の話題に関連のある時事問題なども適宜取り上げ、語彙→読解→聴解→発話・発表へと授業を進める。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に各課の新出語彙の読み方と意味を予習しておくこと。発表の前には各テーマについて調べ、適切な日本語で内容理解のためのポイントをまとめたレポートを用意すること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	50 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20%(授業中の積極的な態度、課題への取り組みなどが評価の対象となる。) 第1学期(学期末試験):50%(テキスト『国境を越えて』各課の学習内容の理解度、運用力) 全授業の3分の1以上欠席した場合、原則として成績評価をしない。レポート:20%(テキスト『国境を越えて』各課や参考資料をテーマとする発表)、各課の課題プリント、小テスト:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

宿題や課題のプリント、作文、発表原稿の誤りを直して返却する。

教科書

国境を越えて [本文編]改訂版,山本富美子,新曜社,最新版

国境を越えて [語彙・文法編],新曜社,最新版

参考文献コメント

テキスト『国境を越えて』の各課のトピックに関連する新聞・雑誌の記事や書評等、授業時に適宜指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824002102	科目ナンバリング	002D302
講義名	日本語C(上級)2		
副題	理解する・まとめる・伝える		
英文科目名	Japanese (Advanced Course)		
担当者名	大江 淳子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 金曜日 2時限 西2－205		

授業概要

- ・ クラスで長めのニュースや時事問題を視聴する。
- ・ A4用紙1枚にまとめる
- ・ 内容確認の問題を解く
- ・ 日本語の正確性を高める

到達目標

- ・ 10分程度のニュースやA4サイズ1枚～2枚程度の新聞や雑誌を読んで理解できるようになる。 → 大学の講義やゼミでノートを取るために必要な聴解力・ノートテイキングのスピードを身に付ける。
- ・ 理解した内容を、A4サイズ1枚程度の「5～10分で内容がわかるまとめ」にすることができるようになる。
- ・ 「良いまとめ」を作るためにどうしたらいいかをグループで考え、意見を出し合って完成させることができるようになる。
- ・ 自身の「まとめ」を見て、内容に関する問題に答えることができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	・ クラスの説明 ・ タスク1－1 ・ タスク1－1(内容理解1)
第2回	・ タスク1－2(内容理解・答えの書き方)
第3回	・ タスク1－3(内容理解解説・まとめの書き方1)
第4回	・ タスク2－1(内容理解)
第5回	・ タスク2－2(内容理解解説・まとめの書き方2)
第6回	・ タスク3－1(内容理解1)
第7回	・ タスク3－2(内容理解2・まとめの書き方3)
第8回	・ タスク3－3(内容理解解説) ・ タスク4－1
第9回	・ タスク4－2(内容理解)
第10回	・ タスク4－3(内容理解解説) ・ タスク5－1
第11回	・ タスク5－2(内容理解) ・ 試験について
第12回	・ 試験準備1
第13回	・ 試験準備2
第14回	・ 試験
第15回	・ 試験フィードバック

授業方法

- 1、新聞や雑誌の記事、報道番組などを理解してまとめる。
- 2、まとめを見ながら、内容に関する質問に答える。
- 3、質問の解答をグループで共有して話し合う。
- 4、グループで作成した「解答」についての解説を聞く。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・ 休んだ場合は次のクラスにでる前に準備が必要です。 必ず連絡してください。
- ・ 辞書は必ず持ってきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	まとめ、解答用紙、話し合いへの参加
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

クラスで行います。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824002103	科目ナンバリング	002D302
講義名	日本語C(上級)3		
英文科目名	Japanese (Advanced Course)		
担当者名	田中 洋子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 火曜日 2時限 西1－101		

授業概要

上級に適した教材を雑誌・新聞などから適宜選んで読んでいく授業です

到達目標

日本語の文献が自由に読め理解できる力を養う

授業内容

実施回	内容
第1回	紹介
第2回	読解1
第3回	以下読解
第4回	同
第5回	〃
第6回	〃
第7回	〃
第8回	〃
第9回	〃
第10回	〃
第11回	〃
第12回	〃
第13回	〃
第14回	〃
第15回	まとめ

授業方法

読解教材が終了後確認テストをします。それから次に進むという段階を踏みます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

小テストを行うので必ずよく文献を読んでおくこと

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):50%(出席を重視します) 第1学期(学期末試験):20%(テスト成績) 小テスト:10%(各教材終了後かんたんなクイズをします。受けること) 出席・レポート・提出物など評価にいきます レポート:20%(提出物がきちんと出せているか)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題に対してテストあり。レポートの提出も求めます。

教科書コメント

次のテキストなどを参考にします。学生の顔をみて指示します

参考文献

ちくま現代評論選,筑摩書店

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

プレースメントテストで上級と認められた学生、2年次以上の学生のための授業です。それ以外の学生は面談の上認めることもあります。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824002104	科目ナンバリング	002D302
講義名	日本語C(上級)4		
英文科目名	Japanese (Advanced Course)		
担当者名	田中 洋子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第1学期 木曜日 5時限 西1－202		

授業概要

演習などの授業のための調査・発表のやり方を学ぶ

到達目標

課題について調べレジュメを作り、みんなの前で発表することができるようにする

授業内容

実施回	内容
第1回	紹介
第2回	問題の配分
第3回	発表および質疑応答
第4回	同
第5回	〃
第6回	〃
第7回	〃
第8回	〃
第9回	〃
第10回	〃
第11回	〃
第12回	〃
第13回	〃
第14回	〃
第15回	まとめ

授業方法

発表の授業のため積極的な授業参加を希望する

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

調査だけでなくいろいろなことに興味をもってよんでみる

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):50%(出席を重視します) 第1学期(学期末試験):20%(テスト成績) 小テスト:10%(漢字など小テスト。受けること) 出席・発表・レポートなども評価に入れます レポート:20%(提出物)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題に対してテストあり。レポート提出も求めます。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824002105	科目ナンバリング	002D302
講義名	日本語C(上級)5		
英文科目名	Japanese (Advanced Course)		
担当者名	小林 孝子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 月曜日 5時限 西1－104		

授業概要

テキスト『国境を越えて』の各課のテーマ(「戦後の社会構造の変容」「戦後の経済構造の変容」等)について、挑発的・刺激的な意見を提示し、それを呼び水として様々な問題について考え、自主的に調べ、調べたことを文章・口頭で発表し、皆で話し合う。

到達目標

テキスト『国境を越えて』の各課のテーマに沿って日本社会を読み解き、大学生としての一般教養的知識を学び、日本語の理解力と表現力を養う。

授業内容

実施回	内容
第1回	日本語で自己紹介をする。テキスト『国境を越えて』を使用した授業の内容、進め方についてのオリエンテーション。
第2回	第3課 戦後の社会構造の変容 トピック1:戦後日本の民主化改革
第3回	トピック1:戦後日本の民主化改革
第4回	トピック2:「家」制度の解体から核家族社会へ
第5回	トピック2:「家」制度の解体から核家族社会へ
第6回	トピック3:戦後アジア諸国の独立と発展
第7回	第3課の展開問題の発表
第8回	第4課 戦後の経済構造の変容 トピック1:日本の近代化と戦後経済改革
第9回	トピック1:日本の近代化と戦後経済改革
第10回	トピック2:「日本的経営」の神話
第11回	トピック2:「日本的経営」の神話
第12回	第4課の展開問題の発表
第13回	第6課 地球規模の環境問題と対策 トピック1:地球温暖化
第14回	トピック1:地球温暖化
第15回	まとめ

授業計画コメント

クラスの出席者の状況などによって上記のスケジュールを変更する場合がある。各課の話題に関連のある注目すべき時事問題や話題がある場合、上記のトピックに加えて新聞記事やドキュメンタリー番組などを教材にすることもある。

授業方法

教科書の各課のテーマを中心に、各課の話題に関連のある時事問題なども適宜取り上げ、語彙→読解→聴解→発話・発表へと授業を進める。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に各課の新出語彙の読み方と意味を予習しておくこと。発表の前には各テーマについて調べ、適切な日本語で内容理解のためのポイントをまとめ、レポートを用意すること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	50 %	
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20%(授業中の積極的な態度、課題への取り組みなどが評価の対象となる。) 第2学期(学年末試験):50%(テキスト『国境を越えて』各課の学習内容の理解度、運用力) 全授業の3分の1以上欠席した場合、原則として成績評価をしない。レポート:20%(テキスト『国境を越えて』各課や参考資料をテーマとする発表)、課題プリント・小テスト:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

宿題・課題のプリントや作文、発表原稿は誤りをなおして返却する。

教科書

国境を越えて [本文編] 改訂版,山本富美子他,新曜社,最新版

国境を越えて [語彙・文法編],新曜社,最新版

参考文献コメント

テキスト『国境を越えて』の各課のトピックに関連する新聞・雑誌の記事や書評等、授業時に適宜指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824002106	科目ナンバリング	002D302
講義名	日本語C(上級)6		
副題	理解する・まとめる・伝える		
英文科目名	Japanese (Advanced Course)		
担当者名	大江 淳子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 金曜日 2時限 西2－205		

授業概要

- ・ クラスで長めのニュースや時事問題を視聴する。
- ・ A4用紙1枚にまとめる
- ・ 内容確認の問題を解く
- ・ 日本語の正確性を高める

到達目標

- ・ 10分程度のニュースやA4サイズ1枚～2枚程度の新聞や雑誌を読んで理解できるようになる。 → 大学の講義やゼミでノートを取るために必要な聴解力・ノートテイキングのスピードを身に付ける。
- ・ 理解した内容を、A4サイズ1枚程度の「5～10分で内容がわかるまとめ」にすることができるようになる。
- ・ 「良いまとめ」を作るためにどうしたらいいかをグループで考え、意見を出し合って完成させることができるようになる。
- ・ 自身の「まとめ」を見て、内容に関する問題に答えることができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	・ クラスの説明 ・ タスク1－1 ・ タスク1－1(内容理解1)
第2回	・ タスク1－2(内容理解・答えの書き方)
第3回	・ タスク1－3(内容理解解説・まとめの書き方1)
第4回	・ タスク2－1(内容理解)
第5回	・ タスク2－2(内容理解解説・まとめの書き方2)
第6回	・ タスク3－1(内容理解1)
第7回	・ タスク3－2(内容理解2・まとめの書き方3)
第8回	・ タスク3－3(内容理解解説) ・ タスク4－1
第9回	・ タスク4－2(内容理解)
第10回	・ タスク4－3(内容理解解説) ・ タスク5－1
第11回	・ タスク5－2(内容理解) ・ 試験について
第12回	・ 試験準備1
第13回	・ 試験準備2
第14回	・ 試験
第15回	・ 試験フィードバック

授業方法

- 1、新聞や雑誌の記事、報道番組などを理解してまとめる。
- 2、まとめを見ながら、内容に関する質問に答える。
- 3、質問の解答をグループで共有して話し合う。
- 4、グループで作成した「解答」についての解説を聞く。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・ 休んだ場合は次のクラスにでる前に準備が必要です。 必ず連絡してください。
- ・ 辞書は必ず持ってきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	まとめ、解答用紙、話し合いへの参加
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

クラスで行います。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824002107	科目ナンバリング	002D302
講義名	日本語C(上級)7		
英文科目名	Japanese (Advanced Course)		
担当者名	田中 洋子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 火曜日 2時限 西1－101		

授業概要

上級に適した教材を雑誌・新聞などから適宜選んで読んでいく授業です

到達目標

日本語の文献が自由に読め理解できる力を養う

授業内容

実施回	内容
第1回	紹介
第2回	読解1
第3回	以下読解
第4回	同
第5回	〃
第6回	〃
第7回	〃
第8回	〃
第9回	〃
第10回	〃
第11回	〃
第12回	〃
第13回	〃
第14回	〃
第15回	まとめ

授業方法

読解教材が終了後確認テストをします。それから次に進むという段階を踏みます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

小テストを行うので必ずよく文献を読んでおくこと

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):50%(出席を重視します) 第1学期(学期末試験):20%(テスト成績) 小テスト:10%(各教材終了後かんたんなクイズをします。受けること) 出席・レポート・提出物など評価にいきます レポート:20%(提出物がきちんと出せているか)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題に対してテストあり。レポートの提出も求めます。

教科書コメント

次のテキストなどを参考にします。学生の顔をみて指示します

参考文献

ちくま現代評論選,筑摩書店

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

プレースメントテストで上級と認められた学生、2年次以上の学生のための授業です。それ以外の学生は面談の上認めることもあります。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U824002108	科目ナンバリング	002D302
講義名	日本語C(上級)8		
英文科目名	Japanese (Advanced Course)		
担当者名	田中 洋子		
単位	1	配当年次	学部 1年～4年
時間割	第2学期 木曜日 5時限 西1－202		

授業概要

演習などの授業のための調査・発表のやり方を学ぶ

到達目標

課題について調べレジュメを作り、みんなの前で発表することができるようにする

授業内容

実施回	内容
第1回	紹介
第2回	問題の配分
第3回	発表および質疑応答
第4回	同
第5回	〃
第6回	〃
第7回	〃
第8回	〃
第9回	〃
第10回	〃
第11回	〃
第12回	〃
第13回	〃
第14回	〃
第15回	まとめ

授業方法

発表の授業のため積極的な授業参加を希望する

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

調査だけでなくいろいろなことに興味をもってよんでみる

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):50%(出席を重視します) 第1学期(学期末試験):20%(テスト成績) 小テスト:10%(漢字など小テスト。受けること) 出席・発表・レポートなども評価に入れます レポート:20%(提出物)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題に対してテストあり。レポート提出も求めます。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U825000101	科目ナンバリング	002D151
講義名	ロシア語B(初級)		
英文科目名	Russian (Elementary Course; Basic)		
担当者名	齊藤 毅		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1－302		

授業概要

この授業では1年間でロシア語文法の初歩を学び、さらにロシア語を学んでゆくための土台をつくることをねらいとします。

ユーラシアに位置するロシアは独特の文化を持ち、また日本の隣国でもあります。ロシア語はその重要度にもかかわらず、大学以外ではなかなか学ぶ場の少ない言語です。この機会にぜひロシア語の世界の扉を開いてみてください。

到達目標

1)キリル文字の読み書きが自由にできるようにする。2)ロシア語の基本文型、形容詞類の変化、動詞の変化(現在・過去変化)をマスターする。3)格変化の概念を理解する。

授業内容

実施回	内容
第1回	キリル文字(1: 硬母音字、子音)、平叙文
第2回	キリル文字(2: 軟母音字、子音)、疑問文
第3回	キリル文字(3: 子音、母音の弱化)、否定文
第4回	キリル文字(4: 子音、無声化)、疑問詞
第5回	キリル文字(5: 子音、無声化)、接続詞
第6回	接続詞、発音のまとめ
第7回	名詞の性
第8回	形容詞類の導入、所有代名詞
第9回	所有代名詞、指示代名詞
第10回	動詞の現在形・第1
第11回	動詞を用いる文
第12回	前置詞と名詞の前置格
第13回	場所の表現
第14回	第1学期の内容のまとめ
第15回	第1学期の到達度確認
第16回	動詞の現在形・第2
第17回	動詞の現在形・第2特殊
第18回	動詞の現在形・不規則
第19回	形容詞
第20回	形容詞を用いる文
第21回	名詞と形容詞類の複数形
第22回	所有の表現、代名詞の生格
第23回	名詞と形容詞類の格変化・対格
第24回	対格の用法
第25回	動詞の過去形
第26回	移動の動詞(定・不定動詞)、方向と交通手段の表現
第27回	名詞と形容詞類の格変化・生格
第28回	生格の用法
第29回	第2学期の内容のまとめ
第30回	第2学期の到達度確認

授業方法

文法の授業ですが、講義形式ではなく、履修者の皆さん一人一人の練習を中心にして授業を進めます。第1学期はとくに発音の練習に重きを置きます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業でほぼ毎行なう小テストは、かならず必要事項をしっかりと覚えてきたうえでのぞんでください。同様に宿題も、十分な時間をもってきちんとやってきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

上記のパーセントはおおよその目安です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

すべて授業時、教室で行ないます。

教科書

ロシア語文法への旅(改訂版),黒田龍之助,大学書林,2010

教科書コメント

教科書の他に、毎回プリント教材を用います。

参考文献コメント

辞書については授業時に説明しますので、それを聞いたうえで購入してください。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

外国語の習得には継続が大切ですので、かならず毎回出席してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U825001101	科目ナンバリング	002D253
講義名	ロシア語R(中級)		
英文科目名	Russian (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	齊藤 毅		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1－302		

授業概要

昨年度の「ロシア語B(初級)」の続編の授業です。まず昨年度に用いた教科書を終えた後、プリント教材を用いて、ロシア語の基本文法(ロシア語検定3級程度)をすべてマスターし、さらに簡単なテキストの読解力をつけることをねらいとします。

昨年度以前に「ロシア語B(初級)」を履修した人も、もちろん受講できます。、また、「ロシア語B(初級)」を履修していなくても、ロシア語の初歩を学んだことのある人ならば受講できますので、最初の授業時に相談してください。

到達目標

1) 格変化をすべて習得する。2) 動詞の未来変化・命令形、無人称文を習得する。3) 動詞の完了体・完了体の概念を理解する。4) 形容詞の比較級、関係代名詞、仮定法を習得し、形・副動詞の概念を理解する。5) 辞書を引いて簡単なテキストを自力で読めるようにする。6) 筆記体を書けるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	名詞と形容詞類の格変化・生格
第2回	生格の用法
第3回	形容詞類の格変化・前置格
第4回	С Я 動詞
第5回	数詞
第6回	名詞と形容詞類の格変化・与格
第7回	動詞の命令形
第8回	形容詞と副詞、状態の表現
第9回	未来の表現
第10回	数と名詞
第11回	複数形の格変化の導入
第12回	名詞と形容詞類の格変化・造格
第13回	造格の用法
第14回	第1学期の内容のまとめ
第15回	第1学期の到達度確認
第16回	前置詞と格
第17回	動詞の体(完了体と完了体)・過去
第18回	動詞の体・未来
第19回	名詞の硬・軟変化
第20回	名詞と形容詞類の格変化・複数形
第21回	形容詞短語尾
第22回	形容詞と副詞の比較級・最上級
第23回	関係代名詞、不定人称文
第24回	仮定法、形動詞(1)
第25回	形動詞(2)、副動詞
第26回	講読(1)
第27回	講読(2)
第28回	講読(3)
第29回	第2学期の内容のまとめ
第30回	第2学期の到達度確認

授業方法

受講生の皆さん一人一人の練習を中心として、授業を進めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業でほぼ毎回行なう小テストは、かならず必要事項をしっかりと覚えてのぞんでください。同じく、ほぼ毎回出す宿題も、授業直前にあわててやるのではなく、じっくりと考えてやってきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

上記のパーセントはおおよその目安です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

すべて授業時、教室で行ないます。

教科書

ロシア語文法への旅(改訂版),黒田龍之助,大学書林,2010

教科書コメント

教科書の他に、毎回、プリント教材を用います。

参考文献コメント

辞書については授業時に説明しますので、それを聞いたうえで購入してください。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U825100101	科目ナンバリング	002D152
講義名	ロシア語C(初級)		
英文科目名	Russian (Elementaray Course; Communication)		
担当者名	KLOCHKOV, Iurii Borisovic		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1－309		

授業概要

ロシア語は国連で用いられている公用語の一つで、国際社会で重要な位置を占める言語です。ロシア語を通じて世界を広げていきましょう。教科書に基づいて講義を進めます。1) 会話: 基本文型を応用し質疑応答をおこなう。2) 読解: 理解しつつテキストを音読できるようにする。3) 書き取り: 基本的フレーズを書き取れるようにする。

到達目標

ロシア語を通じて世界を広げていきましょう。

授業内容

実施回	内容
第1回	「第1学期」 ロシア連邦の社会、文化についての一般的紹介。教科書の説明。ロシア語のアルファベット。
第2回	文字と発音. 母音字の発音、硬母音と軟母音。
第3回	子音字の構造、子音字の発音。
第4回	聞き取りと発音の練習、単語の発音。教科書第1課。
第5回	第1課「復習」、第2課。
第6回	第2課「復習」、第3課。
第7回	第3課「復習」、第4課。
第8回	第4課「復習」、第5課。
第9回	第5課「復習」、第6課。
第10回	第1課—第6課「復習」、第7課。
第11回	第7課「復習」、第8課。
第12回	第8課「復習」、第9課。
第13回	第7課—第9課「復習」、第10課。
第14回	第10課「復習」、第11課。
第15回	第1学期の復習。
第16回	「第2学期」 第11課「復習」、第12課。
第17回	第12課「復習」、13課。
第18回	第13課「復習」、14課。
第19回	第14課「復習」、15課。
第20回	第12課—第15課「復習」、16課。
第21回	第16課「復習」、17課。
第22回	第17課「復習」、18課。
第23回	第18課「復習」、19課。
第24回	第19課「復習」、20課。
第25回	第20課「復習」、21課。
第26回	第21課「復習」、22課。
第27回	第22課「復習」、23課。
第28回	第23課「復習」、24課。
第29回	第24課「復習」、25課。
第30回	第2学期の復習。

授業計画コメント

4月、5月はアルファベット、単語の発音やアクセントに重点をおき、6月、7月は簡単な文章を活字体で書けるようにします。9月から12月は短文の読みや文法をくり返し学びます。

授業方法

教科書に沿って会話の練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

前回の授業の復習をし、指示した箇所を授業前に読んでおくこと。授業開始後始めの10-15分間発音の練習。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	90 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):90%(毎回の授業で前回の授業についての小テストを行います。)小テスト:10%教科書を購入して、講義に持って来てください。期末試験は行わず、主に平常点で評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験はありません。小テストを行います。適宜フィードバックします。

教科書

CDブックNHK新ロシア語入門,佐藤純一,日本放送出版協会,2017

教科書コメント

毎回の授業に必ず教科書を持ってきてください。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U825101101	科目ナンバリング	002D252
講義名	ロシア語C(中級)		
英文科目名	Russian (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	KLOCHKOV, Iurii Borisovic		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 3時限 西1－304		

授業概要

ロシア語は国連で用いられている公用語の一つで、国際社会で重要な位置を占める言語です。ロシア語を通じて世界を広げていきましょう。教科書に基づいて講義を進めます。1) 会話: 基本文型を応用し質疑応答をおこなう。2) 読解: 理解しつつテキストを音読できるようにする。3) 書き取り: 基本的フレーズを書き取れるようにする。

到達目標

ロシア語を通じて世界を広げていきましょう。

授業内容

実施回	内容
第1回	第1学期 第1課-第6課、第18課「復習」、第25課。
第2回	第7課-第12課、第25課「復習」、第26課。
第3回	第13課-第17課、第26課「復習」、第27課。
第4回	第18課-第20課、第27課の復習、第28課。
第5回	第21-第22課、第28課「復習」、第29課。
第6回	第23課, 第29課「復習」、第30課。
第7回	第24課、第30課「復習」、第31課。
第8回	第31課「復習」、第32課。
第9回	第32課「復習」、第33課。
第10回	第33課「復習」、第34課。
第11回	第34課「復習」、第35課。
第12回	第35課「復習」、第36課。
第13回	第36課「復習」、第37課。
第14回	第37課「復習」、第38課。
第15回	第1学期の復習。
第16回	第2学期 第38課「復習」、第39課。
第17回	第39課「復習」、第40課。
第18回	第40課「復習」、第41課。
第19回	第41課「復習」、第42課。
第20回	第42課「復習」、第43課。
第21回	第43課「復習」、第44課。
第22回	第44課「復習」、第45課。
第23回	第45課「復習」、第46課。
第24回	第46課「復習」、第47課。
第25回	第47課「復習」、第48課。
第26回	第48課「復習」、第49課。
第27回	第49課「復習」、第50課。
第28回	第3部。練習のための読み物。 Т р и м е д в е д я . 3匹のま。
第29回	Т р и м е д в е д я . 3匹のくま。復習。
第30回	第2学期の復習。

授業方法

教科書に沿って会話の練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

前回の授業の復習をし、指示した箇所を授業前に読んでおくこと。 授業開始後始めの10-15分間発音の練習。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	90 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):90%(毎回の授業で前回の授業についての小テストを行います。)小テスト:10% 期末試験は行わず、主に平常点で評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験はありません。小テストを行います。適宜フィードバックします。

教科書

CDブックNHK新ロシア語入門「後半」,佐藤純一,日本放送出版協会,2017

教科書コメント

毎回の授業に必ず教科書を持ってきてください。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826000101	科目ナンバリング	002D161
講義名	スペイン語B(初級)1		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Basic)		
担当者名	佐藤 空子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 中央－502		

授業概要

スペイン語に初めて触れる学生が、実践的な会話を通して文法を身につけていけるようにします。また、実際に作文をしたり、繰り返し練習を積み重ねたりすることで学んだ文法を自ら使っていきます。言葉の背景にあるスペイン語圏の文化についても随時紹介していきます。

到達目標

スペイン語の初級の文法を身につけ、それを実際に使えるようにしていくのが目標です。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション スペイン語を学ぶにあたって
第2回	あいさつ アルファベット、母音と子音、発音とアクセント、名詞の性
第3回	〃
第4回	名前、職業、国籍など簡単な自己紹介 Ser/Estar動詞、文章の語順、性数の一致、イントネーション
第5回	〃
第6回	〃
第7回	毎日の生活について説明する 規則動詞、冠詞、前置詞①、所有形容詞
第8回	〃
第9回	
第10回	自分の家族、名前、年齢、性格など自己紹介 Tener/Ir/Hacer、品質形容詞、形容詞の比較級と最上級
第11回	〃
第12回	〃
第13回	〃
第14回	前期項目総合復習
第15回	習熟度確認
第16回	自分の好きなこと/嫌いなこと、天気 Gustar/Tener
第17回	〃
第18回	〃
第19回	友達を誘う、頼みごとをする、買い物/食事をする 語根母音変化動詞、Querer/Poder、Ir+a+不定詞
第20回	〃
第21回	一日のスケジュール、曜日、時間 再帰動詞、移動動詞
第22回	〃
第23回	〃
第24回	誕生日やクリスマスに贈り物をする 目的語代名詞、現在分詞、現在進行形、目的語
第25回	〃
第26回	〃
第27回	〃
第28回	後期項目総合復習
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業計画コメント

受講人数や受講生の習熟度にあわせて授業の進み方を変えることもあります。

授業方法

基本的には講義形式ですが、ペアワークが多くあります。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

準備としては、何よりも前の授業で学んだことをしっかり復習してくることが大事です(30分)。活用については自宅で必ず復習してください。教科書についてくる練習ノートを授業ですすめたところまでやってくる。一度休むと言語の特性上、次の授業で大幅に遅れを取ります、決して甘くみないこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	5 %	
学年末試験(第2学期)	5 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	
その他(備考欄を参照)	20 %	練習ノートなどの宿題

成績評価コメント

出席は評価をするにあたっての必須条件です。復習と課題をこなしているか、平常点が大きなポイントになります。一回休むと本当に取り戻すのが大変になります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

練習ノートは授業内でペアワークなどのときに一人ずつチェックします。テストは主にMoodleを使用します。

教科書

イラストで楽しもう、スペイン語！,浦真佐子 フランシスコ・パルティダ,朝日出版社/Asahi Press,978-4-255-55070-1

教科書コメント

必ずテキストは購入してください。コピー、写真などいかなる複製も認めません。

参考文献コメント

小学館或いは白水社の西和辞典、和西辞典を必ず用意してください。英語に自信のある学生は、英西辞書、西英辞書の方が使いやすいかもしれません。携帯・スマートフォンの辞書は認めません。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

スペイン語である程度の会話ができるようになるための講座ですが、スペイン語を話せるようになるには、まずは活用が大切になってきます。スペイン語はそこさえ頑張ることができれば、日本人にとってはそんなに難しい言葉です。ネイティブならではの言葉の裏側にある文化なども織り交ぜていくので、是非一緒に頑張っていきましょう。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826000102	科目ナンバリング	002D161
講義名	スペイン語B(初級)2		
副題	スペイン語文法の基礎を学ぶ		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Basic)		
担当者名	田中 理恵子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西2-202		

授業概要

スペイン語の基礎文法を学びつつ、授業を通じて、スペイン語圏の社会文化への関心を高めていきます。

到達目標

スペイン語の基礎文法(直説法現在・過去・未来まで)を段階的に学習し、簡単な聴き取り・読み書きができるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入 スペイン語を読んでみよう
第2回	レッスン1 人称代名詞、動詞 ser／「こんにちは！」
第3回	レッスン1 文の基本構造／イスパノアメリカについて知ろう
第4回	レッスン2 名詞の性と数／「新入生」
第5回	レッスン2 冠詞と形容詞／ラテン音楽について知ろう
第6回	レッスン3 動詞 estar／「カリリーナはどこにいるの？」
第7回	レッスン3 動詞 hay、曜日・日付／スペインについて知ろう
第8回	レッスン4 指示詞、所有形容詞／「スペイン語が上手ね！」
第9回	レッスン4 直説法現在(規則活用)／フラメンコについて知ろう
第10回	レッスン5 直説法現在(不規則活用)／「出かけよう！」
第11回	レッスン5 関係代名詞 que／アステカについて知ろう
第12回	レッスン6 Gustar 型動詞／「どう思う？」
第13回	レッスン6 現在進行形 estar + 現在分詞／闘牛について知ろう
第14回	第1学期のまとめと試験
第15回	試験の解説と復習
第16回	導入 夏期課題の復習／スペイン語圏の映画に触れよう
第17回	レッスン7 直接法点過去／「昨日映画に行ったよ」
第18回	レッスン7 疑問文／ガスパチョについて知ろう
第19回	レッスン8 再帰動詞／「私の名前はマリアです」、ドンキホーテについて知ろう
第20回	レッスン9 直接法線過去／「前は小さな家に住んでいたの」
第21回	レッスン9 関係詞／死者の日について知ろう
第22回	レッスン10 過去分詞と現在完了／「駅までどうやって行くの？」
第23回	レッスン10 受身表現／タコスとタパスについて知ろう
第24回	レッスン11 直接法線過去完了／「面白い本があるよ」
第25回	レッスン11 不定語と否定語／クリスマスについて知ろう
第26回	レッスン12 直接法未来／「いつかアルゼンチンに行くんだ」
第27回	レッスン12 直接法過去未来／サッカーについて知ろう
第28回	全体の総復習
第29回	第2学期のまとめと試験
第30回	試験の解説と復習

授業計画コメント

授業は計画にしたがって進めていきますが、受講者の理解に合わせて随時調整します。

授業方法

各レッスンとも、文法事項を説明した後に、練習問題をとりくんでいきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回小テストあるいは課題を実施します。その準備に加え、繰り返し音読すること、単語を調べることを習慣化しましょう。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業回数の1/3を超えて欠席した場合は、最終試験の受験資格がありません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

毎回行う小テストあるいは課題については、授業のはじめに解説し、重要事項を確認します。

学期試験の内容は、翌週に解説・復習し、理解度を深めます。

教科書

世界につながるスペイン語 改訂版,京都烏丸スペイン語教室,朝日出版社,2019,978-4-255-55103-6

教科書コメント

教科書は必ず購入してください。

参考文献

ポケットプログレッシブ西和・和西辞典,高垣敏博ほか,小学館,2003,4095061316

デイリーコンサイス西和・和西辞典,寺崎英樹ほか,三省堂,2010,9784385122755

参考文献コメント

上記を参考に、何らかの西和・和西の辞書を入手してください。電子辞書なども可。辞書がないと、予習・復習に対応できません(なお、西和・和西の「西」は「スペイン語」を意味します)。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826000103	科目ナンバリング	002D161
講義名	スペイン語B(初級)3		
副題	スペイン語文法の基礎を学ぶ		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Basic)		
担当者名	田中 理恵子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 西1-108		

授業概要

スペイン語の基礎文法を学びつつ、授業を通じて、スペイン語圏の社会文化への関心を高めていきます。

到達目標

スペイン語の基礎文法(直説法現在・過去・未来まで)を段階的に学習し、簡単な聴き取り・読み書きができるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入 スペイン語を読んでみよう
第2回	レッスン1 人称代名詞、動詞 ser／「こんにちは！」
第3回	レッスン1 文の基本構造／イスパノアメリカについて知ろう
第4回	レッスン2 名詞の性と数／「新入生」
第5回	レッスン2 冠詞と形容詞／ラテン音楽について知ろう
第6回	レッスン3 動詞 estar／「カリリーナはどこにいるの？」
第7回	レッスン3 動詞 hay、曜日・日付／スペインについて知ろう
第8回	レッスン4 指示詞、所有形容詞／「スペイン語が上手ね！」
第9回	レッスン4 直説法現在(規則活用)／フラメンコについて知ろう
第10回	レッスン5 直説法現在(不規則活用)／「出かけよう！」
第11回	レッスン5 関係代名詞 que／アステカについて知ろう
第12回	レッスン6 Gustar 型動詞／「どう思う？」
第13回	レッスン6 現在進行形 estar + 現在分詞／闘牛について知ろう
第14回	第1学期のまとめと試験
第15回	試験の解説と復習
第16回	導入 夏期課題の復習／スペイン語圏の映画に触れよう
第17回	レッスン7 直接法点過去／「昨日映画に行ったよ」
第18回	レッスン7 疑問文／ガスパチョについて知ろう
第19回	レッスン8 再帰動詞／「私の名前はマリアです」、ドンキホーテについて知ろう
第20回	レッスン9 直接法線過去／「前は小さな家に住んでいたの」
第21回	レッスン9 関係詞／死者の日について知ろう
第22回	レッスン10 過去分詞と現在完了／「駅までどうやって行くの？」
第23回	レッスン10 受身表現／タコスとタパスについて知ろう
第24回	レッスン11 直接法線過去完了／「面白い本があるよ」
第25回	レッスン11 不定語と否定語／クリスマスについて知ろう
第26回	レッスン12 直接法未来／「いつかアルゼンチンに行くんだ」
第27回	レッスン12 直接法過去未来／サッカーについて知ろう
第28回	全体の総復習
第29回	第2学期のまとめと試験
第30回	試験の解説と復習

授業計画コメント

授業は計画にしたがって進めていきますが、受講者の理解に合わせて随時調整します。

授業方法

各レッスンとも、文法事項を説明した後に、練習問題をとりくんでいきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回小テストあるいは課題を実施します。その準備に加え、繰り返し音読すること、単語を調べることを習慣化しましょう。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業回数の1/3を超えて欠席した場合は、最終試験の受験資格がありません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

毎回行う小テストあるいは課題については、授業のはじめに解説し、重要事項を確認します。

学期試験の内容は、翌週に解説・復習し、理解度を深めます。

教科書

世界につながるスペイン語 改訂版,京都烏丸スペイン語教室,朝日出版社,2019,978-4-255-55103-6

教科書コメント

教科書は必ず購入してください。

参考文献

ポケットプログレッシブ西和・和西辞典,高垣敏博ほか,小学館,2003,4095061316

デイリーコンサイス西和・和西辞典,寺崎英樹ほか,三省堂,2010,9784385122755

参考文献コメント

上記を参考に、何らかの西和・和西の辞書を入手してください。電子辞書なども可。辞書がないと、予習・復習に対応できません(なお、西和・和西の「西」は「スペイン語」を意味します)。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826000104	科目ナンバリング	002D161
講義名	スペイン語B(初級)4		
副題	スペイン語文法の基礎を学ぶ		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Basic)		
担当者名	田中 理恵子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 3時限 西1-208		

授業概要

スペイン語の基礎文法を学びつつ、授業を通じて、スペイン語圏の社会文化への関心を高めていきます。

到達目標

スペイン語の基礎文法(直説法現在・過去・未来まで)を段階的に学習し、簡単な聴き取り・読み書きができるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入 スペイン語を読んでみよう
第2回	レッスン1 人称代名詞、動詞 ser／「こんにちは！」
第3回	レッスン1 文の基本構造／イスパノアメリカについて知ろう
第4回	レッスン2 名詞の性と数／「新入生」
第5回	レッスン2 冠詞と形容詞／ラテン音楽について知ろう
第6回	レッスン3 動詞 estar／「カリリーナはどこにいるの？」
第7回	レッスン3 動詞 hay、曜日・日付／スペインについて知ろう
第8回	レッスン4 指示詞、所有形容詞／「スペイン語が上手ね！」
第9回	レッスン4 直説法現在(規則活用)／フラメンコについて知ろう
第10回	レッスン5 直説法現在(不規則活用)／「出かけよう！」
第11回	レッスン5 関係代名詞 que／アステカについて知ろう
第12回	レッスン6 Gustar 型動詞／「どう思う？」
第13回	レッスン6 現在進行形 estar + 現在分詞／闘牛について知ろう
第14回	第1学期のまとめと試験
第15回	試験の解説と復習
第16回	導入 夏期課題の復習／スペイン語圏の映画に触れよう
第17回	レッスン7 直接法点過去／「昨日映画に行ったよ」
第18回	レッスン7 疑問文／ガスパチョについて知ろう
第19回	レッスン8 再帰動詞／「私の名前はマリアです」、ドンキホーテについて知ろう
第20回	レッスン9 直接法線過去／「前は小さな家に住んでいたの」
第21回	レッスン9 関係詞／死者の日について知ろう
第22回	レッスン10 過去分詞と現在完了／「駅までどうやって行くの？」
第23回	レッスン10 受身表現／タコスとタパスについて知ろう
第24回	レッスン11 直接法線過去完了／「面白い本があるよ」
第25回	レッスン11 不定語と否定語／クリスマスについて知ろう
第26回	レッスン12 直接法未来／「いつかアルゼンチンに行くんだ」
第27回	レッスン12 直接法過去未来／サッカーについて知ろう
第28回	全体の総復習
第29回	第2学期のまとめと試験
第30回	試験の解説と復習

授業計画コメント

授業は計画にしたがって進めていきますが、受講者の理解に合わせて随時調整します。

授業方法

各レッスンとも、文法事項を説明した後に、練習問題をとりくんでいきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回小テストあるいは課題を実施します。その準備に加え、繰り返し音読すること、単語を調べることを習慣化しましょう。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業回数の1/3を超えて欠席した場合は、最終試験の受験資格がありません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

毎回行う小テストあるいは課題については、授業のはじめに解説し、重要事項を確認します。

学期試験の内容は、翌週に解説・復習し、理解度を深めます。

教科書

世界につながるスペイン語 改訂版,京都烏丸スペイン語教室,朝日出版社,2019,978-4-255-55103-6

教科書コメント

教科書は必ず購入してください。

参考文献

ポケットプログレッシブ西和・和西辞典,高垣敏博ほか,小学館,2003,4095061316

デイリーコンサイス西和・和西辞典,寺崎英樹ほか,三省堂,2010,9784385122755

参考文献コメント

上記を参考に、何らかの西和・和西の辞書を入手してください。電子辞書なども可。辞書がないと、予習・復習に対応できません(なお、西和・和西の「西」は「スペイン語」を意味します)。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826000105	科目ナンバリング	002D161
講義名	スペイン語B(初級)5		
副題	文法の基礎をしっかりと身につけよう		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Basic)		
担当者名	利根川 リリ		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 南1－301		

授業概要

文法の基礎をきちんと習得し、基礎スペイン語力を身につけることを目標にします。ただやみくもに暗記をするのではなく、体系を意識しながらスペイン語を理解し、使える力を養いましょう。また、時には時間の許す範囲内で、スペインおよびスペイン語圏に関する話題を提供します。

到達目標

授業の進度に合わせ、基礎学力となるスペイン語の文法的知識をきちんと理解し、また正しいスペイン語の発音を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	El alfabeto
第2回	Leccion 1:名詞の性と数、冠詞、疑問文(1)、基数(0～15)
第3回	〃
第4回	Leccion 2:主格人称代名詞、動詞serの現在形、疑問文(2)、形容詞、指示代名詞(1)(中性形)
第5回	〃
第6回	Leccion 3:動詞estarの現在形、serとestarの使い分け、指示形容詞、hayとestar
第7回	〃
第8回	Leccion 4:現在形規則動詞-AR型、現在形規則動詞-ER型、現在形規則動詞-IR型、指示代名詞(2)、所有形容詞(前置形)
第9回	〃
第10回	理解度の確認 Leccion 5:現在形・語幹母音変化動詞、基数(16～30)、時刻、動詞の原形を従える動詞(1)、a+人(目的語)
第11回	Leccion 5:現在形・語幹母音変化動詞、基数(16～30)、時刻、動詞の原形を従える動詞(1)、a+人(目的語)
第12回	Leccion 6: 現在形・1人称単数のみが不規則な動詞、曜日と日付、基数(31～100)、所有形容詞(後置形)、天候の表現
第13回	〃
第14回	理解度の確認 Leccion 7:現在形・その他の不規則動詞、動詞の原形を従える動詞(2)、序数、特徴を述べる様々な表現方法
第15回	予備日
第16回	Leccion 7:現在形・その他の不規則動詞、動詞の原形を従える動詞(2)、序数、特徴を述べる様々な表現方法
第17回	Leccion 8:目的格人称代名詞、gustarを使った構文「～が好き」、前置詞格人称代名詞
第18回	〃
第19回	Leccion 9:再帰動詞、現在分詞
第20回	〃
第21回	Leccion 10:過去分詞、現在完了形、無人称表現、不定語・否定語
第22回	〃
第23回	理解度の確認 Leccion 11:点過去形、点過去形・不規則動詞
第24回	Leccion 11:点過去形、点過去形・不規則動詞
第25回	Leccion 12:線過去形、線過去形・不規則動詞
第26回	〃
第27回	Leccion 13:未来形、感嘆文、知覚動詞/使役動詞、受動表現
第28回	〃
第29回	理解度の確認 補足説明
第30回	予備日

授業計画コメント

毎回の授業参加がとても大切です。全出席を目指してください。やむを得ない事情を除き、各学期ごとに4回以上の欠席は認めません。

授業方法

授業方法

講義形式ですが、発音練習や個別の発言など、積極的な授業への参加を求めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習も大切ですが、それ以上に学んだ部分の復習や理解度の定着を心がけてください。個人差があるため単純には必要時間は言えませんが自覚を持ってしっかり復習してください。その部分がないがしろにしていると雪だるま式に分からなくなってしまいます。出された宿題も必ず解いて次の需要に臨んでください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	40 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(毎回の授業参加度、授業態度):10%、中間テスト(各学期半ばに20%ずつの配分で到達度を確認):40%、第1学期(学期末試験):20%、第2学期(学年末試験、総合的な定着度を確認):30%。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

最終試験である第2学期期末試験を除くすべての試験において、採点結果は非常に悪い場合には改めて試験を解きなおし、提出してもらいます。

教科書

君もやってみよう！スペイン語 改訂版,土井裕文、下田幸夫、佐藤邦彦,朝日出版社/Asahi Press,改訂初版,2016,9784255550817

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826000106	科目ナンバリング	002D161
講義名	スペイン語B(初級)6		
副題	文法の基礎をしっかりと身につけよう		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Basic)		
担当者名	利根川 リリ		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 南1－301		

授業概要

文法の基礎をきちんと習得し、基礎スペイン語力を身につけることを目標にします。ただやみくもに暗記をするのではなく、体系を意識しながらスペイン語を理解し、使える力を養いましょう。また、時には時間の許す範囲内で、スペインおよびスペイン語圏に関する話題を提供します。

到達目標

授業の進度に合わせ、基礎学力となるスペイン語の文法的知識をきちんと理解し、また正しいスペイン語の発音を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	El alfabeto
第2回	Leccion 1:名詞の性と数、冠詞、疑問文(1)、基数(0～15)
第3回	〃
第4回	Leccion 2:主格人称代名詞、動詞serの現在形、疑問文(2)、形容詞、指示代名詞(1)(中性形)
第5回	〃
第6回	Leccion 3:動詞estarの現在形、serとestarの使い分け、指示形容詞、hayとestar
第7回	〃
第8回	Leccion 4:現在形規則動詞-AR型、現在形規則動詞-ER型、現在形規則動詞-IR型、指示代名詞(2)、所有形容詞(前置形)
第9回	〃
第10回	理解度の確認 Leccion 5:現在形・語幹母音変化動詞、基数(16～30)、時刻、動詞の原形を従える動詞(1)、a+人(目的語)
第11回	Leccion 5:現在形・語幹母音変化動詞、基数(16～30)、時刻、動詞の原形を従える動詞(1)、a+人(目的語)
第12回	Leccion 6: 現在形・1人称単数のみが不規則な動詞、曜日と日付、基数(31～100)、所有形容詞(後置形)、天候の表現
第13回	〃
第14回	理解度の確認 Leccion 7:現在形・その他の不規則動詞、動詞の原形を従える動詞(2)、序数、特徴を述べる様々な表現方法
第15回	予備日
第16回	Leccion 7:現在形・その他の不規則動詞、動詞の原形を従える動詞(2)、序数、特徴を述べる様々な表現方法
第17回	Leccion 8:目的格人称代名詞、gustarを使った構文「～が好き」、前置詞格人称代名詞
第18回	〃
第19回	Leccion 9:再帰動詞、現在分詞
第20回	〃
第21回	Leccion 10:過去分詞、現在完了形、無人称表現、不定語・否定語
第22回	〃
第23回	理解度の確認 Leccion 11:点過去形、点過去形・不規則動詞
第24回	Leccion 11:点過去形、点過去形・不規則動詞
第25回	Leccion 12:線過去形、線過去形・不規則動詞
第26回	〃
第27回	Leccion 13:未来形、感嘆文、知覚動詞/使役動詞、受動表現
第28回	〃
第29回	理解度の確認 補足説明
第30回	予備日

授業計画コメント

毎回の授業参加がとても大切です。全出席を目指してください。やむを得ない事情を除き、各学期ごとに4回以上の欠席は認めません。

授業方法

授業方法

講義形式ですが、発音練習や個別の発言など、積極的な授業への参加を求めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習も大切ですが、それ以上に学んだ部分の復習や理解度の定着を心がけてください。個人差があるため単純には必要時間は言えませんが自覚を持ってしっかり復習してください。その部分がないがしろにしていると雪だるま式に分からなくなってしまいます。出された宿題も必ず解いて次の需要に臨んでください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	40 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(毎回の授業参加度、授業態度):10%、中間テスト(各学期半ばに20%ずつの配分で到達度を確認):40%、第1学期(学期末試験):20%、第2学期(学年末試験、総合的な定着度を確認):30%。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

最終試験である第2学期期末試験を除くすべての試験において、採点結果は非常に悪い場合には改めて試験を解きなおし、提出してもらいます。

教科書

君もやってみよう！スペイン語 改訂版,土井裕文、下田幸夫、佐藤邦彦,朝日出版社/Asahi Press,改訂初版,2016,9784255550817

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826000107	科目ナンバリング	002D161
講義名	スペイン語B(初級)7		
副題	スペイン語文法の基礎を学ぶ		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Basic)		
担当者名	田中 理恵子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 4時限 西1－208		

授業概要

スペイン語の基礎文法を学びつつ、授業を通じて、スペイン語圏の社会文化への関心を高めていきます。

到達目標

スペイン語の基礎文法(直説法現在・過去・未来まで)を段階的に学習し、簡単な聴き取り・読み書きができるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入 スペイン語を読んでみよう
第2回	レッスン1 人称代名詞、動詞 ser／「こんにちは！」
第3回	レッスン1 文の基本構造／イスパノアメリカについて知ろう
第4回	レッスン2 名詞の性と数／「新入生」
第5回	レッスン2 冠詞と形容詞／ラテン音楽について知ろう
第6回	レッスン3 動詞 estar／「カリリーナはどこにいるの？」
第7回	レッスン3 動詞 hay、曜日・日付／スペインについて知ろう
第8回	レッスン4 指示詞、所有形容詞／「スペイン語が上手ね！」
第9回	レッスン4 直説法現在(規則活用)／フラメンコについて知ろう
第10回	レッスン5 直説法現在(不規則活用)／「出かけよう！」
第11回	レッスン5 関係代名詞 que／アステカについて知ろう
第12回	レッスン6 Gustar 型動詞／「どう思う？」
第13回	レッスン6 現在進行形 estar + 現在分詞／闘牛について知ろう
第14回	第1学期のまとめと試験
第15回	試験の解説と復習
第16回	導入 夏期課題の復習／スペイン語圏の映画に触れよう
第17回	レッスン7 直接法点過去／「昨日映画に行ったよ」
第18回	レッスン7 疑問文／ガスパチョについて知ろう
第19回	レッスン8 再帰動詞／「私の名前はマリアです」、ドンキホーテについて知ろう
第20回	レッスン9 直接法線過去／「前は小さな家に住んでいたの」
第21回	レッスン9 関係詞／死者の日について知ろう
第22回	レッスン10 過去分詞と現在完了／「駅までどうやって行くの？」
第23回	レッスン10 受身表現／タコスとタパスについて知ろう
第24回	レッスン11 直接法線過去完了／「面白い本があるよ」
第25回	レッスン11 不定語と否定語／クリスマスについて知ろう
第26回	レッスン12 直接法未来／「いつかアルゼンチンに行くんだ」
第27回	レッスン12 直接法過去未来／サッカーについて知ろう
第28回	全体の総復習
第29回	第2学期のまとめと試験
第30回	試験の解説と復習

授業計画コメント

授業は計画にしたがって進めていきますが、受講者の理解に合わせて随時調整します。

授業方法

各レッスンとも、文法事項を説明した後に、練習問題をとりくんでいきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回小テストあるいは課題を実施します。その準備に加え、繰り返し音読すること、単語を調べることを習慣化しましょう。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業回数の1/3を超えて欠席した場合は、最終試験の受験資格がありません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

毎回行う小テストあるいは課題については、授業のはじめに解説し、重要事項を確認します。

学期試験の内容は、翌週に解説・復習し、理解度を深めます。

教科書

世界につながるスペイン語 改訂版,京都烏丸スペイン語教室,朝日出版社,2019,978-4-255-55103-6

教科書コメント

教科書は必ず購入してください。

参考文献

ポケットプログレッシブ西和・和西辞典,高垣敏博ほか,小学館,2003,4095061316

デイリーコンサイス西和・和西辞典,寺崎英樹ほか,三省堂,2010,9784385122755

参考文献コメント

上記を参考に、何らかの西和・和西の辞書を入手してください。電子辞書なども可。辞書がないと、予習・復習に対応できません(なお、西和・和西の「西」は「スペイン語」を意味します)。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826001101	科目ナンバリング	002D263
講義名	スペイン語R(中級)		
副題	スペイン語力の定着をさらに目指そう！		
英文科目名	Spanish (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	利根川 リリ		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 4時限 南1－301		

授業概要

前期と後期を通じて各課事にスペイン語圏に関する話題を取り上げているテキストを使います。その中で文化や歴史などの知識を広げつつ、初級で学んだ文法事項及びそこからの発展事項を同時に習得することも目指し、スペイン語の総合力を底上げしていきます。また、適宜スペイン語圏の情報に関するプリントも配布したいと考えています。

到達目標

これまでに学んできたスペイン語の内容を復習しながら、そこから発展させて中級レベルにふさわしいバランスの取れたスペイン語力を身につけることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	第1課:マヨール広場
第2回	第1課
第3回	第2課:サグラダ・ファミリア教会
第4回	第2課
第5回	第3課:トレド
第6回	第3課
第7回	今までの総合確認 今までの総合確認
第8回	第4課:セゴビア
第9回	第4課
第10回	第5課:チリ
第11回	第5課
第12回	今までの総合確認
第13回	総復習及び発展事項
第14回	到達度の確認、まとめ
第15回	予備
第16回	第6課:アルゼンチン
第17回	第6課
第18回	第7課:ジブラルタル
第19回	第7課
第20回	第8課:イビサ島
第21回	第8課
第22回	今までの総合確認
第23回	第9課:マドリードからカサブランカ
第24回	第9課
第25回	第10課:ウユニ湖
第26回	第10課
第27回	今までの総合確認
第28回	総復習及び発展事項
第29回	到達度の確認、まとめ
第30回	予備

授業計画コメント

各回の出席はとても重要です。やむを得ず休む場合は、特別な事情がない限り各学期ごとに4回以上の欠席は認めません。また、遅刻2回を欠席1回とみなします。

授業方法

文化や歴史的知識を広げつつ、スペイン語の観点からもしっかりと構築していくため、講義形式ではあるものの、積極的な授業参加

を促していきます。授業に沿った内容に関してのスペイン語表現や発音など毎回有意義に進めていきます。是非全出席を目指してください。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予め分からない単語を調べておいたり、声を出して読む練習をしておく、その後の授業での内容理解が飛躍的に高まります。自分なりの予習を確実にしておいてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

各学期末ごとに到達度をはかるために筆記試験を行います。

教科書

基礎から学ぼう！スペイン語中級,西川喬,朝日出版社/Asahi Press,2015,9784255550749

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業前後で受け付けます

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826100101	科目ナンバリング	002D162
講義名	スペイン語C(初級)1		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Communication)		
担当者名	佐藤 空子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1－310		

授業概要

スペイン語に初めて触れる学生が、コミュニケーションを通してスペイン語に必要な文法などとともに身につけていきます。コミュニケーションの授業ではあるものの、スペイン語の特性として文法をやらないことにはなかなか一歩が踏み出せない言語です。授業内で文法なども網羅していきますが、これまでにスペイン語Bを過去に履修した学生、或いは今年同時に履修する学生の方が補完もできるので、しっかり初級スペイン語が身に付けられると思います。

到達目標

スペイン語の初級の文法を身につけた上で基礎的な会話ができること。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション スペイン語を学ぶにあたって
第2回	基本的な挨拶・会話 / アルファベット、発音、綴り
第3回	〃
第4回	名前、職業、国籍など簡単な自己紹介 / Ser、性数の一致、疑問詞
第5回	〃
第6回	大学や自分の住んでいるところ / Estar、定冠詞・不定冠詞、所有疹
第7回	〃
第8回	日常や余暇について、スケジュール、時間 / 動詞の現在形、数字、前置詞
第9回	〃
第10回	自分の家族、名前、年齢、性格など自己紹介 / Tener、所有詞、指示詞
第11回	〃
第12回	有名な場所、旅の計画 / HayとEstar、Ir、語幹母音変化動詞
第13回	〃
第14回	前期項目総合復習
第15回	習熟度確認
第16回	自分の好きなこと/嫌いなこと / Gustar、動詞+不定詞
第17回	〃
第18回	〃
第19回	買い物をする / 不規則動詞、直接目的人称代名詞
第20回	〃
第21回	食事をする / 不規則動詞、関節目的人称代名詞、Saber・Poder
第22回	〃
第23回	〃
第24回	体調や気分について説明する / Estar、Tener、Dolerなど、接続詞
第25回	〃
第26回	〃
第27回	〃
第28回	後期項目総合復習
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業計画コメント

受講人数や受講生の習熟度にあわせて授業の進み方を変えることもあります。

授業方法

ペアワーク、グループワークを多くします。一度休むと取り返すのがとても大変です。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

準備としては、何よりも前の授業で学んだことをしっかり復習してくることが大事です(30分)。活用については自宅で必ず復習してください。教科書についてくる練習ノートは授業ですすめたところまでやってくる。一度休むと言語の特性上、次の授業で大幅に遅れを取ります、決して甘くみないこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	5 %	
学年末試験(第2学期)	5 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	
その他(備考欄を参照)	20 %	練習ノートなどの宿題

成績評価コメント

出席は評価をするにあたっての必須条件です。復習と課題をこなしているか、平常点が大きなポイントになります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

練習ノートは授業内でペアワークなどのときにチェックします。テストなどは主にMoodleを使用します。

教科書

いいね！スペイン語,フアン・カルロス・モヤノ・ロペス /カルロス・ガルシア・ルイス・カスティージョ /廣康好美,朝日出版社 /Asahi Press,3,2019,978-4-255-55094-7

教科書コメント

必ずテキストは購入してください。コピー、写真などいかなる複製も認めません。

参考文献コメント

小学館或いは白水社の西和辞典、和西辞典を必ず用意してください。英語に自信のある学生は、英西辞書、西英辞書の方が使いやすいかもしれません。携帯・スマートフォンの辞書は認めません。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

スペイン語である程度の会話ができるようになるための講座ですが、スペイン語を話せるようになるには、まずは活用が大切になってきます。スペイン語はそこさえ頑張ることができれば、日本人にとってはそんなに難しくない言葉です。ネイティブならではの言葉の裏側にある文化なども織り交ぜていくので、是非一緒に頑張っていきましょう。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826100102	科目ナンバリング	002D162
講義名	スペイン語C(初級)2		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Communication)		
担当者名	BATTAN, Sally		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1－103		

授業概要

このコースは初心者のためのスペイン語のコースです。受講生は発音と通常入門コースで導入される基礎的な文型を習います。スペイン語の基本に触れるとともに、受講生にはスペイン語圏の文明・文化にも触れさせます。

到達目標

スペイン語の発音と読み方を身につける。
 基本的なコミュニケーション(自己紹介、道を尋ねる、レストランで注文する)の習得を目指す。
 新しい文化と習慣を発見し、日本の文化との違いを学ぶ。

授業内容

実施回	内容
第1回	iMucho gusto! Saludos, alfabeto, pronunciación. 挨拶、アルファベット、発音
第2回	挨拶、アルファベット、発音
第3回	アクセント、基数詞0～30
第4回	Un zumo de naranja, por favor. 名詞の性、名詞の数、国と国籍
第5回	定冠詞と不定冠詞
第6回	DVD スペインの紹介1
第7回	Soy japonesa, ¿Y tú? 主格人称代名詞、ser動詞、職業、否定文・疑問文
第8回	今何時ですか？ 基数詞31～99
第9回	Este es el novio de mi hermana. 指示詞、este, ese, aquel
第10回	DVD スペインの紹介2
第11回	所有形容詞、日付と曜日、月の名前
第12回	¿Cómo es tu universidad? 形容詞、serと形容詞
第13回	接続詞 y と o、副詞 también と tampoco. Señor, señora, señorita.
第14回	DVD ラテンアメリカの紹介1
第15回	Supplementary Study
第16回	La universidad está cerca de aquí. 動詞 estar とhay
第17回	ser/estar と形容詞1, スペインの複数の公用語
第18回	DVD ラテンアメリカの紹介2
第19回	Hablamos inglés y español 直説法現在
第20回	直接目的語と関節目的語 疑問詞 スペイン語圏の昼食時間
第21回	Yo sé cocinar bien. 不規則動詞 conocerと saber 目的格人称代名詞
第22回	日付・季節・曜日・時間 スペインのbar
第23回	DVD
第24回	¿Quieres comer algo conmigo? quererとpoder 動詞 目的格人称代名詞の位置
第25回	不定語 algo, alguien 否定語 nada, nadie
第26回	DVD ラテンアメリカの紹介3
第27回	Ahora tengo que estudiar. 動詞 tener, ir.
第28回	名詞節 天気と天候
第29回	DVD ラテンアメリカの紹介4
第30回	Supplementary Study

授業計画コメント

学生の興味によって文化のトピックまたはビデオは変わる場合があります。

授業方法

テキストを中心として文法の説明、会話の練習、また言葉のビデオを使って文化と言葉を学んでいく。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業に来る前に予習をすることが必要です。新しい単語を辞書で引く、エクササイズをやってくること(30～40分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

成績は毎回の積極的な授業参加を重視します。出席するだけでは単位は与えられません。毎回の予習が求められます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験の結果を伝えるとともに適宜解説を行う。

教科書

Encuentro con el mundo del español 1 ,Yoko Murakami, Margarita Nakagawa,Asahi Press,2,2017,978-4-255-55089-3C1087

教科書コメント

西和辞典、和西辞典が必要です。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826100103	科目ナンバリング	002D162
講義名	スペイン語C(初級)3		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Communication)		
担当者名	CARDELO CASTILLO, Jose Lu		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西1－209		

授業概要

このコースの目的は生徒にスペイン語での会話能力を身につけさせることにある。読み書きも授業内容に含まれてはいるが主に重点を置いているのはスピーキングとヒアリングである。授業はそれらを中心に行う。

到達目標

コースが終わったときの最終目標としてスペイン語での日常会話を現在形・未来形を使って会話できるようにすることにある。それらは道を尋ねる、レストランでオーダーする、乗り物の切符を購入できる等々通常に必要な会話能力が含まれている。

授業内容

実施回	内容
第1回	コースの紹介と基本的な挨拶
第2回	人物紹介とさらなる基本的挨拶
第3回	出身地について
第4回	物についての質問とその特徴について
第5回	個人に関する数字について(電話番号など)
第6回	一般的な事柄に関する数字を会話する(1)
第7回	一般的な事柄に関する数字を会話する(2)
第8回	自分のまわりの人々と事柄について(1)
第9回	自分のまわりの人々と事柄について(2)
第10回	現在形を使って動作について話す(1)
第11回	現在形を使って動作について話す(2)
第12回	現在形を使って動作について話す(3)
第13回	スペインの文化について(1)
第14回	理解度の確認(Compreshension check)
第15回	予備日(supplementary studies)
第16回	(夏休みあけ)復習
第17回	現在形の復習とその強固
第18回	ショッピングに使う会話(1)
第19回	ショッピングに使う会話(2)
第20回	天気について(現在形を使う)
第21回	タイムテーブルについて(何時に何をするかの説明)
第22回	旅行時の会話(チケットの買い方など)
第23回	未来形
第24回	レストランでのオーダーの仕方
第25回	外見の特徴について(1)
第26回	外見の特徴について(2)
第27回	外見の特徴について(3)
第28回	好きなもの、嫌いなもの
第29回	理解度の確認(Compreshension check)
第30回	予備日(supplementary studies)

授業計画コメント

クラスの状況などによりスケジュールを変更する場合があります。

授業方法

授業内容において70%を会話の練習に使う。2人で組んだりグループで話したりと形をかえて行う。それによって、現実に使える会話能力を身に付けさせる。残り30%は書きとりを学習する。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

その都度、準備が必要な時は教師がクラスで生徒に伝える。生徒たちの学習具合によりその都度教師が指示をする。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	30 %	授業出席および授業態度

成績評価コメント

成績評価:テスト70% 授業出席および授業態度:30%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

可能な場合、確認後クラスで説明をする。

教科書コメント

教科書は使用せず、教師がそのつど教材を用意する。資料やその他のゲーム等を使い、活動的に学んでいく。会話中心のクラスの為、文法・読み書きには重きをあまりおかない。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業には必ず出席のこと。このコースは、スペイン語会話においてなんの前知識のない人たちをスキルアップすることを目標としてゼロからスタートし学んでいく。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826100104	科目ナンバリング	002D162
講義名	スペイン語C(初級)4		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Communication)		
担当者名	CARDELO CASTILLO, Jose Lu		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 西1－209		

授業概要

このコースの目的は生徒にスペイン語での会話能力を身につけさせることにある。読み書きも授業内容に含まれてはいるが主に重点を置いているのはスピーキングとヒアリングである。授業はそれらを中心に行う。

到達目標

コースが終わったときの最終目標としてスペイン語での日常会話を現在形・未来形を使って会話できるようにすることにある。それらは道を尋ねる、レストランでオーダーする、乗り物の切符を購入できる等々通常に必要な会話能力が含まれている。

授業内容

実施回	内容
第1回	コースの紹介と基本的な挨拶
第2回	人物紹介とさらなる基本的挨拶
第3回	出身地について
第4回	物についての質問とその特徴について
第5回	個人に関する数字について(電話番号など)
第6回	一般的な事柄に関する数字を会話する(1)
第7回	一般的な事柄に関する数字を会話する(2)
第8回	自分のまわりの人々と事柄について(1)
第9回	自分のまわりの人々と事柄について(2)
第10回	現在形を使って動作について話す(1)
第11回	現在形を使って動作について話す(2)
第12回	現在形を使って動作について話す(3)
第13回	スペインの文化について(1)
第14回	理解度の確認(Compreshension check)
第15回	予備日(supplementary studies)
第16回	(夏休みあけ)復習
第17回	現在形の復習とその強固
第18回	ショッピングに使う会話(1)
第19回	ショッピングに使う会話(2)
第20回	天気について(現在形を使う)
第21回	タイムテーブルについて(何時に何をするかの説明)
第22回	旅行時の会話(チケットの買い方など)
第23回	未来形
第24回	レストランでのオーダーの仕方
第25回	外見の特徴について(1)
第26回	外見の特徴について(2)
第27回	外見の特徴について(3)
第28回	好きなもの、嫌いなもの
第29回	理解度の確認(Compreshension check)
第30回	予備日(supplementary studies)

授業計画コメント

クラスの状況などによりスケジュールを変更する場合があります。

授業方法

授業内容において70%を会話の練習に使う。2人で組んだりグループで話したりと形をかえて行う。それによって、現実に使える会話能力を身に付けさせる。残り30%は書きとりを学習する。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

その都度、準備が必要な時は教師がクラスで生徒に伝える。生徒たちの学習具合によりその都度教師が指示をする。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	30 %	授業出席および授業態度

成績評価コメント

成績評価:テスト70% 授業出席および授業態度:30%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

可能な場合、確認後クラスで説明をする。

教科書コメント

教科書は使用せず、教師がそのつど教材を用意する。資料やその他のゲーム等を使い、活動的に学んでいく。会話中心のクラスの為、文法・読み書きには重きをあまりおかない。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業には必ず出席のこと。このコースは、スペイン語会話においてなんの前知識のない人たちをスキルアップすることを目標としてゼロからスタートし学んでいく。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826100105	科目ナンバリング	002D162
講義名	スペイン語C(初級)5		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Communication)		
担当者名	BATTAN, Sally		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 4時限 西1－109		

授業概要

このコースは初心者のためのスペイン語のコースです。受講生は発音と通常入門コースで導入される基礎的な文型を習います。スペイン語の基本に触れるとともに、受講生にはスペイン語圏の文明・文化にも触れさせます。

到達目標

スペイン語の発音と読み方を身につける。
 基本的なコミュニケーション(自己紹介、道を尋ねる、レストランで注文する)の習得を目指す。
 新しい文化と習慣を発見し、日本の文化との違いを学ぶ。

授業内容

実施回	内容
第1回	iMucho gusto! Saludos, alfabeto, pronunciación. 挨拶、アルファベット、発音
第2回	挨拶、アルファベット、発音
第3回	アクセント、基数詞0～30
第4回	Un zumo de naranja, por favor. 名詞の性、名詞の数、国と国籍
第5回	定冠詞と不定冠詞
第6回	DVD スペインの紹介1
第7回	Soy japonesa, ¿Y tú? 主格人称代名詞、ser動詞、職業、否定文・疑問文
第8回	今何時ですか？ 基数詞31～99
第9回	Este es el novio de mi hermana. 指示詞、este, ese, aquel
第10回	DVD スペインの紹介2
第11回	所有形容詞、日付と曜日、月の名前
第12回	¿Cómo es tu universidad? 形容詞、serと形容詞
第13回	接続詞 y と o、副詞 también と tampoco. Señor, señora, señorita.
第14回	DVD ラテンアメリカの紹介1
第15回	Supplementary Study
第16回	La universidad está cerca de aquí. 動詞 estar とhay
第17回	ser/estar と形容詞1, スペインの複数の公用語
第18回	DVD ラテンアメリカの紹介2
第19回	Hablamos inglés y español 直説法現在
第20回	直接目的語と関節目的語 疑問詞 スペイン語圏の昼食時間
第21回	Yo sé cocinar bien. 不規則動詞 conocerと saber 目的格人称代名詞
第22回	日付・季節・曜日・時間 スペインのbar
第23回	DVD
第24回	¿Quieres comer algo conmigo? quererとpoder 動詞 目的格人称代名詞の位置
第25回	不定語 algo, alguien 否定語 nada, nadie
第26回	DVD ラテンアメリカの紹介3
第27回	Ahora tengo que estudiar. 動詞 tener, ir.
第28回	名詞節 天気と天候
第29回	DVD ラテンアメリカの紹介4
第30回	Supplementary Study

授業計画コメント

学生の興味によって文化のトピックまたはビデオは変わる場合があります。

授業方法

テキストを中心として文法の説明、会話の練習、また言葉のビデオを使って文化と言葉を学んでいく。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業に来る前に予習をすることが必要です。新しい単語を辞書で引く、エクササイズをやってくること(30～40分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

成績は毎回の積極的な授業参加を重視します。出席するだけでは単位は与えられません。毎回の予習が求められます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験の結果を伝えるとともに適宜解説を行う。

教科書

Encuentro con el mundo del español 1,Yoko Murakami, Margarita Nakagawa,Asahi Press,2,2017,978-4-255-55089-3C1087

教科書コメント

西和辞典、和西辞典が必要です。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826100106	科目ナンバリング	002D162
講義名	スペイン語C(初級)6		
英文科目名	Spanish (Elementary Course; Communication)		
担当者名	CARDELO CASTILLO, Jose Lu		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 南1－206		

授業概要

このコースの目的は生徒にスペイン語での会話能力を身につけさせることにある。読み書きも授業内容に含まれてはいるが主に重点を置いているのはスピーキングとヒアリングである。授業はそれらを中心に行う。

到達目標

コースが終わったときの最終目標としてスペイン語での日常会話を現在形・未来形を使って会話できるようにすることにある。それらは道を尋ねる、レストランでオーダーする、乗り物の切符を購入できる等々通常に必要な会話能力が含まれている。

授業内容

実施回	内容
第1回	コースの紹介と基本的な挨拶
第2回	人物紹介とさらなる基本的挨拶
第3回	出身地について
第4回	物についての質問とその特徴について
第5回	個人に関する数字について(電話番号など)
第6回	一般的な事柄に関する数字を会話する(1)
第7回	一般的な事柄に関する数字を会話する(2)
第8回	自分のまわりの人々と事柄について(1)
第9回	自分のまわりの人々と事柄について(2)
第10回	現在形を使って動作について話す(1)
第11回	現在形を使って動作について話す(2)
第12回	現在形を使って動作について話す(3)
第13回	スペインの文化について(1)
第14回	理解度の確認(Compreshension check)
第15回	予備日(supplementary studies)
第16回	(夏休みあけ)復習
第17回	現在形の復習とその強固
第18回	ショッピングに使う会話(1)
第19回	ショッピングに使う会話(2)
第20回	天気について(現在形を使う)
第21回	タイムテーブルについて(何時に何をするかの説明)
第22回	旅行時の会話(チケットの買い方など)
第23回	未来形
第24回	レストランでのオーダーの仕方
第25回	外見の特徴について(1)
第26回	外見の特徴について(2)
第27回	外見の特徴について(3)
第28回	好きなもの、嫌いなもの
第29回	理解度の確認(Compreshension check)
第30回	予備日(supplementary studies)

授業計画コメント

クラスの状況などによりスケジュールを変更する場合があります。

授業方法

授業内容において70%を会話の練習に使う。2人で組んだりグループで話したりと形をかえて行う。それによって、現実に使える会話能力を身に付けさせる。残り30%は書きとりを学習する。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

その都度、準備が必要な時は教師がクラスで生徒に伝える。生徒たちの学習具合によりその都度教師が指示をする。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	30 %	授業出席および授業態度

成績評価コメント

成績評価:テスト70% 授業出席および授業態度:30%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

可能な場合、確認後クラスで説明をする。

教科書コメント

教科書は使用せず、教師がそのつど教材を用意する。資料やその他のゲーム等を使い、活動的に学んでいく。会話中心のクラスの為、文法・読み書きには重きをあまりおかない。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業には必ず出席のこと。このコースは、スペイン語会話においてなんの前知識のない人たちをスキルアップすることを目標としてゼロからスタートし学んでいく。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826101101	科目ナンバリング	002D262
講義名	スペイン語C(中級)1		
英文科目名	Spanish (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	BATTAN, Sally		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 西1－103		

授業概要

この講座は初級のスペイン語に引き続き、新しい文法(点過去、線過去、未来形、命令形など)を学びます。 受講生にはスペインとラテンアメリカの文明・文化にも触れさせます。

到達目標

初級のスペイン語で学んだことをさらに発展させ、コミュニケーションの力をレベルアップさせる。 スペインとラテンアメリカの文化と文明を発見して、日本の文化との違いを学ぶ。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション: 講座の内容(出席、評価、予習について), gustar 型動詞
第2回	Me gusta mucho viajar. Gustar 型動詞: encantar, parecer, interesar, doler.
第3回	所有形容詞後置形 Adjetivos y pronombres posesivos pospuestos.
第4回	DVD: Colombia
第5回	¿A qué hora te levantas? 再帰動詞 Verbos reflexivos y reciprocos.
第6回	不定人称文 Oraciones impersonales.
第7回	DVD: Colombia
第8回	Estamos esperando a Isabel. 現在分詞 Gerundio
第9回	関係代名詞 que. Relativo QUE.
第10回	He estado en México una vez. 直説法現在完了 Pretérito perfecto.
第11回	DVD: México
第12回	過去分詞のその他の用法 Usos del participio pasado.
第13回	Vivió dos años en Buenos Aires. 直説法点過去
第14回	直説法点過去の練習
第15回	Supplementary Study
第16回	Antes íbamos al cine los sábados. 直説法線過去 Pretérito imperfeto.
第17回	点過去と線過去 Pretérito indefinido y pretérito imperfecto.
第18回	DVD: ラテンアメリカの遺跡: Machu Picchu と Chichen Itzá
第19回	Juan es tan alto como tú. 比較級 Comparativo.
第20回	最上級 Superlativo.
第21回	DVD: España: El País Vasco.
第22回	Iré con ustedes al concierto. 直説法未来 Futuro.
第23回	直説法過去未来 Condicional.
第24回	DVD: España.
第25回	¡Ojalá que no haga frío mañana! 接続法現在 Presente de subjuntivo.
第26回	接続法の独立用法 Oraciones independientes en subjuntivo.
第27回	DVD: España.
第28回	¡Hablemos en español! 命令 Imperativo.
第29回	否定命令文 Órdenes negativas.
第30回	Supplementary Study

授業計画コメント

学生の興味によって文化のトピックまたはビデオは変わる場合があります。

授業方法

テキストを中心として文法の説明、会話の練習、また言葉のビデオと映像を使って文化と言葉を学んでいく。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業に来る前に予習をすることが必要です。新しい単語を辞書で引く、エクササイズをやってくること(30～40分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

成績は毎回の積極的な授業参加を重視します。出席するだけでは単位は与えられません。毎回の予習が求められます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験の結果を伝えるとともに適宜解説を行う。

教科書

Encuentro con el mundo del español 2,Yoko Murakami, Margarita Nakagawa, Analía Vitale,Asahi Press,初,2012,978-4-255-55050-3 C1087

教科書コメント

SPANISH-JAPANESE and JAPANESE-SPANISH DICTIONARIES ARE REQUIRED. 西和辞典、和西辞典が必要です。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U826101102	科目ナンバリング	002D262
講義名	スペイン語C(中級)2		
英文科目名	Spanish (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	CARDELO CASTILLO, Jose Lu		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 南1－206		

授業概要

学生たちには初年度に学んだスペイン語会話の知識をさらに強固にするとともにその知識をもっとふくらませていく。初年度で学んだ現在形、未来形に続き過去形(3つの過去形)と命令形を学ぶ。それにより会話の幅をふくらませていく。

到達目標

情報などをさらに正しく、確実に、完全な形のスペイン語会話を用いて相手と会話できるようにする。これらのことから、さらに言葉の込み入った働きや言葉の構造を学ぶ。 会話において【3つの過去形】を使い、人の説明(背が高い、低いなど)や、デパートでの情報等々を会話できるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	前年度学んだスペイン語会話をどの程度覚えているかのレベルチェック
第2回	前年度学習したことを復習しながら、それらを、さらにもっと確実・完全にしていく
第3回	〃
第4回	〃
第5回	〃
第6回	〃
第7回	〃
第8回	〃
第9回	建物のフロアについて
第10回	デパートのフロアについて
第11回	個人の行動について(再帰動詞)
第12回	〃
第13回	過去形 1番目の過去形
第14回	理解度の確認 (comprehension check)
第15回	予備日 (supplementary studies)
第16回	復習を兼ねて過去形を用いて夏休みの出来事を話す
第17回	スペイン文化について (過去形を用いての特別練習)
第18回	〃
第19回	〃
第20回	〃
第21回	過去形 2番目の過去形
第22回	〃
第23回	〃
第24回	命令形を使ってなにかをするときの説明を与える
第25回	〃
第26回	〃
第27回	〃
第28回	非人称代名詞の紹介
第29回	理解度の確認 (comprehension check)
第30回	予備日 (supplementary studies)

授業計画コメント

クラスの状況などによりスケジュールを変更する場合があります。

授業方法

授業内容において70%を会話の練習に使う。2人で組んだりグループで話したりと形をかえて行う。それによって現実に使える会話能力を身に付けさせる。残り30%は書きとりを学習する。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

必要な場合、その都度教師がクラスで生徒に伝える。内容はクラス、生徒の進み具合による。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	30 %	授業出席および授業態度

成績評価コメント

成績評価:テスト70% 授業出席および授業態度:30%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

可能な場合、確認後クラスで説明をする。

教科書コメント

教科書は使用せず、教師がそのつど教材を用意する。コピーやその他のゲーム等を使い、活動的に学んでいく。会話中心のクラスの為、文法・読み書きには重きをあまりおかない。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業には必ず出席のこと。このコースは、多少のスペイン語会話の基礎知識を学んだことがある人たちのコースである。コースの始めに基礎知識の復習をするが、それでもなんの基礎知識をもたない者にはついてこれない授業内容である。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827000101	科目ナンバリング	002D171
講義名	イタリア語B(初級)1		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Basic)		
担当者名	一ノ瀬 俊和		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1－307		

授業概要

初心者対象のクラスです。現代イタリア語の基礎文法の前半を、動詞の活用を中心にわかりやすく解説します。この学習は、イタリア語を「読み(講読)、書き(作文)、聞き、話す(会話)」ための基礎となるものです。授業では、ことばの理解に不可欠なイタリア社会や文化、イタリア人のメンタリティーについてもお話していきます。

到達目標

この授業の到達目標は、イタリア語の正確な発音が出来、名詞に適切に冠詞を付けて変化させられ、形容詞の語尾変化を理解して、基本的な動詞の現在形の変化ができるようになることです。また、ことばの背景となるイタリア文化を理解して、簡単な日常表現を「読み、書き、話し、聴く」ことができるようになることです。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント
第2回	母音字・子音字の発音／名詞の性・数、冠詞の概要
第3回	第1課 (1) あいさつ、規則動詞(第1変化)
第4回	第1課 (2) 疑問文、否定文
第5回	既習事項の復習と確認
第6回	第2課 (1) 規則動詞(第2、第3変化)
第7回	第2課 (2) よく使われる前置詞
第8回	既習事項の復習と確認
第9回	規則動詞の変化練習
第10回	第3課 (1) essere, avere の変化
第11回	第3課 (2) essere を使った表現
第12回	第3課 (3) 指示詞
第13回	既習事項の復習と確認
第14回	動詞の総合練習
第15回	まとめと評価
第16回	前期既習事項の復習、第2学期のガイダンス
第17回	第4課(1) 不定冠詞と定冠詞
第18回	第4課(2) 冠詞前置詞、所有形容詞
第19回	既習事項の復習と確認
第20回	第5課(1) 従属動詞＜1＞活用形
第21回	第5課(2) 従属動詞＜2＞用法
第22回	第5課(3) 直接目的語の代名詞(3人称)
第23回	既習事項の復習と確認
第24回	従属動詞と直接目的語代名詞の練習
第25回	第6課(1) よく使われる不規則動詞
第26回	第6課(2) 間接目的語(3人称)およびその他の目的語の代名詞(1・2人称)
第27回	第6課(3) 動詞 piacere の用法
第28回	既習事項の復習と確認
第29回	総合的な動詞変化(現在形)の練習
第30回	まとめと評価

授業方法

文法事項の解説とことばの背景の解説は講義形式、練習問題や本文の和訳等は演習形式で行われます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前に、テキスト各課の単語や表現の意味を辞書を使って調べ本文を訳してみること、本文の発音をCDで聴いておくことが必要

です。(毎回2時間程度)文法事項の解説は授業内です。特に事前の準備は不要です。また、授業終了後には繰り返しCDを聞き、既習事項の復習をしてください。(毎回1時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

試験では、範囲内の単語・表現をきちんと記憶しているか、学習内容を理解し文法事項が定着しているかを判断します。授業への取り組みでは、授業への積極的な参加態度、授業中の発言(本文や例文の読み上げ、訳ができるか、練習問題の解答ができるか)が重要です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験は返却し、要点や間違いの多かった箇所を解説します。

教科書

『最新ア・ゾンゾーイタリア語そぞろ歩き－更新改訂版 CD付き』,一ノ瀬俊和,朝日出版社,2013,978-4-255-55310-8 C1087

参考文献

しっかり学ぶイタリア語,一ノ瀬俊和,ベレ出版

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

まずはきちんと授業に出席し、積極的に関わることがとても重要です。単に教室に存在しているだけでは、単位は与えられません！欠席が3分の1を越えると、試験の受験資格はなくなり、単位取得はできません！なお、遅刻3回で欠席1回の扱いとしますので、十分注意してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827000102	科目ナンバリング	002D171
講義名	イタリア語B(初級)2		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Basic)		
担当者名	一ノ瀬 俊和		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 西1－307		

授業概要

初心者対象のクラスです。現代イタリア語の基礎文法の前半を、動詞の活用を中心にわかりやすく解説します。この学習は、イタリア語を「読み(講読)、書き(作文)、聞き、話す(会話)」ための基礎となるものです。授業では、ことばの理解に不可欠なイタリア社会や文化、イタリア人のメンタリティーについてもお話していきます。

到達目標

この授業の到達目標は、イタリア語の正確な発音が出来、名詞に適切に冠詞を付けて変化させられ、形容詞の語尾変化を理解して、基本的な動詞の現在形の変化ができるようになることです。また、ことばの背景となるイタリア文化を理解して、簡単な日常表現を「読み、書き、話し、聴く」ことができるようになることです。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント
第2回	母音字・子音字の発音／名詞の性・数、冠詞の概要
第3回	第1課 (1) あいさつ、規則動詞(第1変化)
第4回	第1課 (2) 疑問文、否定文
第5回	既習事項の復習と確認
第6回	第2課 (1) 規則動詞(第2、第3変化)
第7回	第2課 (2) よく使われる前置詞
第8回	既習事項の復習と確認
第9回	規則動詞の変化練習
第10回	第3課 (1) essere, avere の変化
第11回	第3課 (2) essere を使った表現
第12回	第3課 (3) 指示詞
第13回	既習事項の復習と確認
第14回	動詞の総合練習
第15回	まとめと評価
第16回	前期既習事項の復習、第2学期のガイダンス
第17回	第4課(1) 不定冠詞と定冠詞
第18回	第4課(2) 冠詞前置詞、所有形容詞
第19回	既習事項の復習と確認
第20回	第5課(1) 従属動詞＜1＞活用形
第21回	第5課(2) 従属動詞＜2＞用法
第22回	第5課(3) 直接目的語の代名詞(3人称)
第23回	既習事項の復習と確認
第24回	従属動詞と直接目的語代名詞の練習
第25回	第6課(1) よく使われる不規則動詞
第26回	第6課(2) 間接目的語(3人称)およびその他の目的語の代名詞(1・2人称)
第27回	第6課(3) 動詞 piacere の用法
第28回	既習事項の復習と確認
第29回	総合的な動詞変化(現在形)の練習
第30回	まとめと評価

授業方法

文法事項の解説とことばの背景の解説は講義形式、練習問題や本文の和訳等は演習形式で行われます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前に、テキスト各課の単語や表現の意味を辞書を使って調べ本文を訳してみること、本文の発音をCDで聴いておくことが必要

です。(毎回2時間程度)文法事項の解説は授業内です。特に事前の準備は不要です。また、授業終了後には繰り返しCDを聞き、既習事項の復習をしてください。(毎回1時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

試験では、範囲内の単語・表現をきちんと記憶しているか、学習内容を理解し文法事項が定着しているかを判断します。授業への取り組みでは、授業への積極的な参加態度、授業中の発言(本文や例文の読み上げ、訳ができるか、練習問題の解答ができるか)が重要です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験は返却し、要点や間違いの多かった箇所を解説します。

教科書

『最新ア・ゾンゾーイタリア語そぞろ歩きー更新改訂版 CD付き』,一ノ瀬俊和,朝日出版社,2013,978-4-255-55310-8 C1087

参考文献

しっかり学ぶイタリア語,一ノ瀬俊和,ベレ出版

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

まずはきちんと授業に出席し、積極的に関わることがとても重要です。単に教室に存在しているだけでは、単位は与えられません！欠席が3分の1を越えると、試験の受験資格はなくなり、単位取得はできません！なお、遅刻3回で欠席1回の扱いとしますので、十分注意してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827000103	科目ナンバリング	002D171
講義名	イタリア語B(初級)3		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Basic)		
担当者名	押場 靖志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1－201		

授業概要

あらゆる言語と同じようにイタリア語もまた、人が人と向き合うところに立ち上がります。新しい言語は、見知らぬ人から未知の響きで語りかけられるとき、かすかな驚きとともに立ちあがろうとします。その驚きに恐怖すれば、言語はそこで凍てついてしまうでしょう。しかし、うまく好奇心をかきたてるなら、言語はきっと踊り出すはず。イタリア語に踊り出してもらうためにできること、それをみんなでさぐるのが、この授業です。

到達目標

イタリア語で日常の基本的なコミュニケーションがとれるようになること。挨拶、自己紹介、相手を知るための質問をすることができ、それに対する応答を理解できるようにすること(話す・聴く)。日常的な表示や手紙などを読むことができ、簡単な文章を記述することができること(読む・話す)。

授業内容

実施回	内容
第1回	Unita1-1:挨拶と自己紹介
第2回	Unita1-2:発音と文字について
第3回	Unita2-1:「コーヒーを一杯」
第4回	Unita2-2:名詞の性、冠詞と形容詞
第5回	Unita3-1:「どちらのご出身ですか？」
第6回	Unita3-2:動詞【essere】と国の形容詞
第7回	Unita3-3:「彼はジョヴァンニです」
第8回	Unita3-4:動詞【avere】、基本動詞【-are】の3人称
第9回	Unita3-5:形容詞の複数形、基本動詞【essere】の複数形
第10回	Unita4-1:「～が好きです」
第11回	Unita4-2:動詞【piacere】、動詞【esserci】、名詞の単数と複数
第12回	Unita4-3:「何時ですか？」
第13回	Unita4-4:時間の表現
第14回	授業のまとめ
第15回	予備日
第16回	Unita5-1:「何時に始まるの？」
第17回	Unita5-2:前置詞と冠詞の結合形、基本動詞【-are, -ere, -ire】の3人称
第18回	Unita5-3:「なにを注文されますか？」
第19回	Unita5-4:基本動詞の1人称と2人称それぞれの単数形と複数形
第20回	Unita5-5:「ぼくはクラウディオです」
第21回	Unita5-6:基本動詞の3人称の単数形と複数形、親族の名詞と所有形容詞
第22回	Unita6-1:「どこに行くのですか？」
第23回	Unita6-2:不規則動詞【andare】【venire】【fare】の用法
第24回	Unita6-3:「朝はゆっくり起きます」
第25回	Unita6-4:再帰動詞の用法
第26回	Unita7-1:「昨日は何をした？」
第27回	Unita7-2:近過去(1)
第28回	Unita7-3:近過去(2)
第29回	Unita7-4:代名詞の用法
第30回	授業のまとめ

授業計画コメント

1年間に7課を通して基本的なイタリア語の表現に触れてゆきます。それを「聞きとり」、次いで「口にする」ことから始め、さらに、それぞれの会話におけるイタリア語特有の法則を整理してゆくなかで、いっそうの理解を目指します。

授業方法

予習は必要ありませんが、毎回復習の小テストを行います。ついで新しい課題が提示され、主にペアーワークなどの参加型の学習を

通じて、その理解と定着が図られます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習はとくに必要ありませんが、授業の冒頭で復習テストを行いますので、前回の授業で学んだことを整理しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	1学期に学んだ範囲から出題
学年末試験(第2学期)	25 %	2学期に学んだ範囲から出題
中間テスト	0 %	行わない
レポート	5 %	夏休みレポート、欠席した授業のレポートなど、必要に応じて授業内で指示します
小テスト	25 %	ほぼ毎回、復習のための小テストを行う
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	出席、ペアワークへの参加
その他(備考欄を参照)	0 %	

成績評価コメント

出席、小テストの点数、レポートを数値化し、ふたつの期末試験の点数と合わせて、評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストは毎回返却するので各自で点数を確認のこと。前期期末試験については返却。後期期末試験については試験時間の最後に点数を確認してもらう。

教科書

Per cominciare ,Yasuji Oshiba, Livio Tucci,公益財団法人日伊協会,初,2019,978-4-86211-722-9

参考文献

ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典,小学館,4095061219

参考文献コメント

必要があれば授業時に指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827000104	科目ナンバリング	002D171
講義名	イタリア語B(初級)4		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Basic)		
担当者名	押場 靖志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1－201		

授業概要

あらゆる言語と同じようにイタリア語もまた、人が人と向き合うところに立ち上がります。新しい言語は、見知らぬ人から未知の響きで語りかけられるとき、かすかな驚きとともに立ちあがろうとします。その驚きに恐怖すれば、言語はそこで凍てついてしまうでしょう。しかし、うまく好奇心をかきたてるなら、言語はきっと踊り出すはず。イタリア語に踊り出してもらうためにできること、それをみんなでさぐるのが、この授業です。

到達目標

イタリア語で日常の基本的なコミュニケーションがとれるようになること。挨拶、自己紹介、相手を知るための質問をすることができ、それに対する応答を理解できるようにすること(話す・聴く)。日常的な表示や手紙などを読むことができ、簡単な文章を記述することができること(読む・話す)。

授業内容

実施回	内容
第1回	Unita1-1:挨拶と自己紹介
第2回	Unita1-2:発音と文字について
第3回	Unita2-1:「コーヒーを一杯」
第4回	Unita2-2:名詞の性、冠詞と形容詞
第5回	Unita3-1:「どちらのご出身ですか？」
第6回	Unita3-2:動詞【essere】と国の形容詞
第7回	Unita3-3:「彼はジョヴァンニです」
第8回	Unita3-4:動詞【avere】、基本動詞【-are】の3人称
第9回	Unita3-5:形容詞の複数形、基本動詞【essere】の複数形
第10回	Unita4-1:「～が好きです」
第11回	Unita4-2:動詞【piacere】、動詞【esserci】、名詞の単数と複数
第12回	Unita4-3:「何時ですか？」
第13回	Unita4-4:時間の表現
第14回	授業のまとめ
第15回	予備日
第16回	Unita5-1:「何時に始まるの？」
第17回	Unita5-2:前置詞と冠詞の結合形、基本動詞【-are, -ere, -ire】の3人称
第18回	Unita5-3:「なにを注文されますか？」
第19回	Unita5-4:基本動詞の1人称と2人称それぞれの単数形と複数形
第20回	Unita5-5:「ぼくはクラウディオです」
第21回	Unita5-6:基本動詞の3人称の単数形と複数形、親族の名詞と所有形容詞
第22回	Unita6-1:「どこに行くのですか？」
第23回	Unita6-2:不規則動詞【andare】【venire】【fare】の用法
第24回	Unita6-3:「朝はゆっくり起きます」
第25回	Unita6-4:再帰動詞の用法
第26回	Unita7-1:「昨日は何をした？」
第27回	Unita7-2:近過去(1)
第28回	Unita7-3:近過去(2)
第29回	Unita7-4:代名詞の用法
第30回	授業のまとめ

授業計画コメント

1年間に7課を通して基本的なイタリア語の表現に触れてゆきます。それを「聞きとり」、次いで「口にする」ことから始め、さらに、それぞれの会話におけるイタリア語特有の法則を整理してゆくなかで、いっそうの理解を目指します。

授業方法

予習は必要ありませんが、毎回復習の小テストを行います。ついで新しい課題が提示され、主にペアーワークなどの参加型の学習を

通じて、その理解と定着が図られます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習はとくに必要ありませんが、授業の冒頭で復習テストを行いますので、前回の授業で学んだことを整理しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	1学期に学んだ範囲から出題
学年末試験(第2学期)	25 %	2学期に学んだ範囲から出題
中間テスト	0 %	行わない
レポート	5 %	夏休みレポート、欠席した授業のレポートなど、必要に応じて授業内で指示します
小テスト	25 %	ほぼ毎回、復習のための小テストを行う
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	出席、ペアワークへの参加
その他(備考欄を参照)	0 %	

成績評価コメント

出席、小テストの点数、レポートを数値化し、ふたつの期末試験の点数と合わせて、評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストは毎回返却するので各自で点数を確認のこと。前期期末試験については返却。後期期末試験については試験時間の最後に点数を確認してもらう。

教科書

Per cominciare ,Yasuji Oshiba, Livio Tucci,公益財団法人日伊協会,初,2019,978-4-86211-722-9

参考文献

ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典,小学館,4095061219

参考文献コメント

必要があれば授業時に指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827000105	科目ナンバリング	002D171
講義名	イタリア語B(初級)5		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Basic)		
担当者名	野里 紳一郎		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1－306		

授業概要

この授業は、現代イタリア語の文法のしきみをゆっくりとしたペースで一通り理解し初歩的なイタリア語の運用能力の獲得をめざすことを目標としている。英語のほかに初めて現代ヨーロッパの言語のひとつとしてイタリア語を学んでみようとする者の興味の対象は様々であることが予想されるが、文法の規則を学びつつもイタリアの歴史や地理をはじめ、文化的な事項にも触れることで学んでみたいと思う気持ちをできるだけ持続させることにも留意しながら毎回の授業を展開していきたい。

到達目標

初歩的なイタリア語の運用能力を身につけることで、西洋文化に対するより具体的なアプローチが可能になる。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業の概要説明、イタリア語とはどんな言語だろうか
第2回	文字と発音の要点を身につけよう
第3回	名詞と不定冠詞、指示詞について
第4回	動詞 essere の活用形と形容詞について
第5回	定冠詞と主な前置詞について
第6回	「～があります」と主な疑問詞について
第7回	動詞 avere の活用形と所有形容詞について
第8回	ここまでの文法のまとめと補足説明
第9回	数詞や曜日、月、季節に関する表現を学ぼう
第10回	規則動詞の活用形、不規則動詞の活用形について
第11回	直接目的語と間接目的語について(その1)
第12回	直接目的語と間接目的語について(その2)
第13回	近過去時制のつくり方と使い方
第14回	第1学期の文法のまとめと補足説明
第15回	予備日
第16回	前期の重要文法事項の総復習
第17回	関係代名詞といろいろな疑問詞について
第18回	時刻や天候などの表現の仕方について
第19回	再帰動詞の考え方と使い方(その1)
第20回	再帰動詞の考え方と使い方(その2)
第21回	半過去時制のつくり方と使い方(その1)
第22回	半過去時制のつくり方と使い方(その2)
第23回	ここまでの文法のまとめと補足説明
第24回	命令法の活用形と使い方
第25回	未来時制のつくり方と使い方
第26回	ジェルンディオのつくり方と使い方
第27回	副詞と ne, ci について
第28回	動詞の非人称用法と非人称構文、受動態について
第29回	第2学期の文法のまとめと補足説明
第30回	予備日

授業方法

講義形式を中心とするが、問題演習にあたっては積極的かつ能動的な授業参加を期待する。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

既習した文法事項の活用変化などを反復練習しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	第1学期学習範囲における基本知識の到達度
学年末試験(第2学期)	50 %	通年学習範囲における基本知識の到達度)
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	毎回の授業における状況および出席
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

必要に応じてフィードバックする。

教科書

パッソ ア パッソ,秋山,白水社

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

毎回の授業に参加するにあたって、前回の復習をすませておくことを期待している。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827000106	科目ナンバリング	002D171
講義名	イタリア語B(初級)6		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Basic)		
担当者名	野里 紳一郎		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 4時限 西1－306		

授業概要

この授業は、現代イタリア語の文法のしきみをゆっくりとしたペースで一通り理解し初歩的なイタリア語の運用能力の獲得をめざすことを目標としている。英語のほかに初めて現代ヨーロッパの言語のひとつとしてイタリア語を学んでみようとする者の興味の対象は様々であることが予想されるが、文法の規則を学びつつもイタリアの歴史や地理をはじめ、文化的な事項にも触れることで学んでみたいと思う気持ちをできるだけ持続させることにも留意しながら毎回の授業を展開していきたい。

到達目標

初歩的なイタリア語の運用能力を身につけることで、西洋文化に対するより具体的なアプローチが可能になる。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業の概要説明、イタリア語とはどんな言語だろうか
第2回	文字と発音の要点を身につけよう
第3回	名詞と不定冠詞、指示詞について
第4回	動詞 essere の活用形と形容詞について
第5回	定冠詞と主な前置詞について
第6回	「～があります」と主な疑問詞について
第7回	動詞 avere の活用形と所有形容詞について
第8回	ここまでの文法のまとめと補足説明
第9回	数詞や曜日、月、季節に関する表現を学ぼう
第10回	規則動詞の活用形、不規則動詞の活用形について
第11回	直接目的語と間接目的語について(その1)
第12回	直接目的語と間接目的語について(その2)
第13回	近過去時制のつくり方と使い方
第14回	第1学期の文法のまとめと補足説明
第15回	予備日
第16回	前期の重要文法事項の総復習
第17回	関係代名詞といろいろな疑問詞について
第18回	時刻や天候などの表現の仕方について
第19回	再帰動詞の考え方と使い方(その1)
第20回	再帰動詞の考え方と使い方(その2)
第21回	半過去時制のつくり方と使い方(その1)
第22回	半過去時制のつくり方と使い方(その2)
第23回	ここまでの文法のまとめと補足説明
第24回	命令法の活用形と使い方
第25回	未来時制のつくり方と使い方
第26回	ジェルンディオのつくり方と使い方
第27回	副詞と ne, ci について
第28回	動詞の非人称用法と非人称構文、受動態について
第29回	第2学期の文法のまとめと補足説明
第30回	予備日

授業方法

講義形式を中心とするが、問題演習にあたっては積極的かつ能動的な授業参加を期待する。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

既習した文法事項の活用変化などを反復練習しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	第1学期学習範囲における基本知識の到達度
学年末試験(第2学期)	50 %	通年学習範囲における基本知識の到達度)
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	毎回の授業における状況および出席
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

必要に応じてフィードバックする。

教科書

パッソ ア パッソ,秋山,白水社

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

毎回の授業に参加するにあたって、前回の復習をすませておくことを期待している。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827001101	科目ナンバリング	002D273
講義名	イタリア語R(中級)		
英文科目名	Italian (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	押場 靖志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1－201		

授業概要

「テキストを読む」のは「水を飲む」のに似ています。なんらかの「乾き」がなければ読めませんし、読んでも吸収されません。では、テキストを読むときの「乾き」とは何なのでしょう。おそらくそれは、「何が書いてあるのだろう」という好奇心に導かれながら、テキストの背後の「誰か」の存在を渴望することなのでしょう。クラスでは、イタリア語のテキストを通して、そんな「乾き」を感じるところからはじめたいと思います。そのためには、ひとりで「読む」のではなく、誰かと「読む」ことがポイント。いっしょに「読む」という地平から、テキストの経験を立ち上げてみようではありませんか。

到達目標

テキストに向かう準備作業や、テキストの「読み」を試みるなかで、初級で学んだ文法・語彙・表現を確認・復習・展開し、さらに未知の文法・語彙・表現を取り上げて、その理解を深めてゆきます。授業では「読み」だけではなく、準備作業や理解のを深めるための寄り道として会話(話す・聞く)も取り上げ、総合的なイタリア語のコミュニケーション能力を伸ばしてゆきます。

授業内容

実施回	内容
第1回	Introduzione alla lettura :リーディングについての概説
第2回	Lettura e grammatica 1-1:代名詞の見られる文章を読み
第3回	Lettura e grammatica 1-2:分析的読解と演習
第4回	Lettura e grammatica 2-1:近過去の見られる文章を読む
第5回	Lettura e grammatica 2-2:分析的読解と演習
第6回	Lettura e grammatica 3-1:再帰動詞の見られる文章を読む
第7回	Lettura e grammatica 3-2:分析的読解と演習
第8回	Lettura e grammatica 4-1:半過去の見られる文章を読む
第9回	Lettura e grammatica 4-2:分析的読解と演習
第10回	Lettura e grammatica 5-1:補助動詞の見られる文章を読む
第11回	Lettura e grammatica 5-2:分析的読解と演習
第12回	Lettura e grammatica 6-1:関係代名詞の見られる文章を読む
第13回	Lettura e grammatica 6-2:分析的読解と演習
第14回	Ripasso generale 1 :総合的復習1
第15回	予備日
第16回	Introduzione alla lettura autentica I:オーセンティックテキストを読むために、映画作品鑑賞(前半)
第17回	Introduzione alla lettura autentica II:オーセンティックテキストを読むために、映画作品鑑賞(後半)
第18回	Lettura autentica 1-1:シーンに関する文章を読む(1)
第19回	Lettura autentica 1-2:分析的読解と演習
第20回	Lettura autentica 2-1:シーンに関する文章を読む(2)
第21回	Lettura autentica 2-2:分析的読解と演習
第22回	Lettura autentica 3-1:シーンに関する文章を読む(3)
第23回	Lettura autentica 3-2:分析的読解と演習
第24回	Lettura autentica 4-1:作品に関する文章を読む(1)
第25回	Lettura autentica 4-2:分析的読解と演習
第26回	Lettura autentica 5-1:作品に関する文章を読む(2)
第27回	Lettura autentica 5-2:分析的読解と演習
第28回	Lettura e traduzione :読解と翻訳(1)
第29回	Lettura e traduzione :読解と翻訳(2)
第30回	予備日

授業計画コメント

1学期は、テキスト『Quaderno d’italiano』(Lezione 9 より)に沿って、会話や短文を読み、文法・表現・語彙を整理してゆきます。2学期は、イタリアの映画作品を手掛かりに、そのシナリオ、評論、インタビュー、引用作品など、多様でオーセンティックな文章に触れ、イタリア語の総合的な理解を深めてゆきます。

授業方法

授業方法

復習の小テストをしてから、新しい課題を提示し、ペアワークを中心にした参加型の学習を行う。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

小テストを行うので、そのための復習をすること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	1学期の学習範囲より出題
学年末試験(第2学期)	25 %	2学期の学習範囲より出題
中間テスト	0 %	
レポート	10 %	夏のレポート、欠席のためのレポート
小テスト	25 %	前回の学習範囲より出題
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	出席とペアワークへの参加
その他(備考欄を参照)	0 %	

成績評価コメント

期末試験、小テストは点数評価。
平常点は出席とペアワークへの参加状況をみて評価する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストや毎回返却。前期期末試験は返却するが、後期試験については求められれば点数を開示する。

教科書コメント

前期のテキストは Quaderno d’italiano などより抜粋したプリント類を用いる予定。後期も必要に応じて Quaderno d’italiano の練習問題などを使用する。

参考文献

Quaderno d’italiano,Yasuji Oshiba ほか,DTP出版,改訂第3版,2011,9784862110596

参考文献コメント

前期のテキストは Quaderno d’italiano などより抜粋したプリント類を用いる予定。後期も必要に応じて Quaderno d’italiano の練習問題などを使用する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827100101	科目ナンバリング	002D172
講義名	イタリア語C(初級)1		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Communication)		
担当者名	一ノ瀬 俊和		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西1－307		

授業概要

初心者対象のクラスです。まず現代イタリア語の基礎文法の前半を、動詞の活用を中心にわかりやすく解説します。この学習は、イタリア語を「読み(講読)、書き(作文)、聞き、話し(会話)」コミュニケーションをするための基礎となるもので、これを使って簡単な意思疎通の練習をします。授業では、ことばの理解に不可欠なイタリア社会や文化、イタリア人のメンタリティーについてもお話ししていきます。

到達目標

この授業の到達目標は、イタリア語の正確な発音が出来、基本的な動詞の現在形の変化を修得してコミュニケーションができるようになることです。また、ことばの背景となるイタリア文化を理解して、簡単な日常表現を「読み、書き、話し、聴く」ことができるようになることです。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント
第2回	母音字・子音字の発音／名詞の性・数、冠詞の概要
第3回	名詞と冠詞の練習
第4回	第1課 (1) あいさつ、essere と avere の直説法現在
第5回	第1課 (2) 疑問文、肯定文、否定文、名前や年齢の尋ね方
第6回	動詞変化の練習
第7回	第2課 (1) 不定冠詞と定冠詞
第8回	第2課 (2) c'è..., ci sono... / avere を用いた慣用表現
	第2課 (2) c'è..., ci sono... / avere を用いた慣用表現
	第2課 (2) c'è..., ci sono... / avere を用いた慣用表現
第9回	復習と確認
第10回	第3課 (1) 規則動詞の直説法現在
第11回	第3課 (2) 基本的な前置詞
第12回	規則動詞の変化練習(1)-are動詞
第13回	規則動詞の変化練習(2)-ere動詞、-ire動詞
第14回	既習事項の復習と確認
第15回	まとめと評価
第16回	前期既習事項の復習、第2学期のガイダンス
第17回	第4課 (1) 冠詞と前置詞の結合形、品質形容詞
第18回	第4課 (2) 所有形容詞、指示詞
第19回	復習と確認
第20回	既習事項のまとめ
第21回	第5課 (1) 従属動詞の直説法現在
第22回	第5課 (2) 直接目的語の代名詞
第23回	第5課 (3) 関係代名詞 che, cui
第24回	復習と確認および練習問題
第25回	第6課 (1) 不規則動詞
第26回	第6課 (2) 間接目的語の代名詞
第27回	第6課 (3) 動詞 piacere
第28回	復習と確認および練習問題1(不規則動詞)
第29回	復習と確認および練習問題2(間接目的語、動詞 piacere)
第30回	まとめと評価

授業方法

文法事項の解説とことばの背景の解説は講義形式、練習問題や本文の和訳、会話練習等は演習形式で行われます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前に、テキスト各課の単語や表現の意味を辞書を使って調べ本文を訳してみる、本文の発音をCDで聴いておくことが必要です。(毎回2時間程度) 文法事項の解説は授業内です。特に事前の準備は不要です。また、授業終了後には繰り返しCDを聞き、既習事項の復習をしてください。(毎回1時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

試験では、範囲内の単語・表現をきちんと記憶しているか、学習内容を理解し文法事項が定着しているか、簡単なコミュニケーションができるかを判断します。授業への取り組みでは、授業への積極的な参加態度、授業中の発言(本文や例文の読み上げ、訳ができるか、練習問題の解答ができるか、簡単な会話ができるか)が重要です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験は返却し、要点や間違いの多かった箇所を解説します。

教科書

『私のイタリア 改訂新版 ーLa mia Italia Edizione rivedutaーCD付き』,一ノ瀬俊和、中矢慎子、入江たまよ,朝日出版社,2016,978-4-255-55315-3 C1087

参考文献

しっかり学ぶイタリア語,一ノ瀬俊和,ベレ出版

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

まずはきちんと授業に出席し、積極的に関わることがとても重要です。単に教室に存在しているだけでは、単位は与えられません！欠席が3分の1を越えると、試験の受験資格はなくなり、単位取得はできません！なお、遅刻3回で欠席1回の扱いとしますので、十分注意してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827100102	科目ナンバリング	002D172
講義名	イタリア語C(初級)2		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Communication)		
担当者名	MESSINA, Laura		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1－107		

授業概要

イタリア語を初めて学ぶ人を対象にしたコースであり、「話す・聞く・読む・書く」の4つの能力を伸ばすことを目指すが、特に「話す」能力に主眼を置く。イタリア語の簡単な挨拶・会話表現と同時に基本的な文法を学び、バールや学校など様々な場面でイタリア語が話せるようになることを目標とする。また、テキストだけではなく、雑誌や音楽などを通し、イタリアの文化についても授業の中で触れる。

到達目標

【通年】・イタリア語の発音とアルファベットを習得し、基本的な文法構造(動詞の活用と性数一致)が理解できる。 【前期】・自分の基本的な情報を話せるようになり、自由に自己紹介ができる。 【後期】・自分の趣味や好み、習慣や日常生活などが豊かに表現できる。

授業内容

実施回	内容
第1回	本授業で扱う主な内容は下記の通りである。・イタリア語のアルファベット・あいさつ・フォーマル／インフォーマルな場面での簡単な自己紹介・1から1,000までの数字・バールやレストランでの注文・趣味について話す・約束をする・感情・状態に関する表現・天気について話す・日常生活について話す・時間を尋ねたり、教えたりする・週末のことを話すまた、不定期ではあるが以下の内容も適宜行う。・歌を通して、新しい単語や表現を学ぶ
第2回	解説と演習
第3回	同上
第4回	同上
第5回	同上
第6回	同上
第7回	同上
第8回	同上
第9回	同上
第10回	同上
第11回	同上
第12回	同上
第13回	同上
第14回	同上
第15回	理解度の確認
第16回	解説と演習
第17回	同上
第18回	同上
第19回	同上
第20回	同上
第21回	同上
第22回	同上
第23回	同上
第24回	同上
第25回	同上
第26回	同上
第27回	同上
第28回	同上
第29回	まとめ
第30回	理解度の確認

授業方法

会話を中心とした演習形式。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業はコミュニケーションが中心となるため、授業時間外は語彙・慣用句の習得や文法理解にしっかり費やすこと。 ・自分の単語帳を作成する:授業で出てきた新しい言葉を書き写し、意味を理解する ・単語帳は定期的に確認し、以前学んだ語彙はしっかりと定着させること ・定期的な復習を習慣づけること——曖昧な理解では語学力は伸ばせない

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	15 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

＊クラス内アクティビティへの積極的な参加を重視する。講師の質問への回答やペアワークでの会話練習をしっかり行う。消極的な正確性よりも間違いのある積極性を評価する。

＊一学期につき5回以上の欠席をした場合は、いかなる理由であっても不合格とする。 また、特別な理由がある場合を除き、15分以上の遅刻は欠席とみなす。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

要望に応じてフィードバックを行う。

参考文献

しっかり学ぶイタリア語——文法と練習問題——,一ノ瀬 俊和,ベレ出版,2001,9784939076442

参考文献コメント

『伊和辞典』及び『和伊辞典』のような形でも良いが必ず自分の辞書を用意すること。しかし、観光用のポケット辞書の類は認めない。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827100103	科目ナンバリング	002D172
講義名	イタリア語C(初級)3		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Communication)		
担当者名	MESSINA, Laura		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1－107		

授業概要

イタリア語を初めて学ぶ人を対象にしたコースであり、「話す・聞く・読む・書く」の4つの能力を伸ばすことを目指すが、特に「話す」能力に主眼を置く。イタリア語の簡単な挨拶・会話表現と同時に基本的な文法を学び、バールや学校など様々な場面でイタリア語が話せるようになることを目標とする。また、テキストだけではなく、雑誌や音楽などを通し、イタリアの文化についても授業の中で触れる。

到達目標

【通年】・イタリア語の発音とアルファベットを習得し、基本的な文法構造(動詞の活用と性数一致)が理解できる。 【前期】・自分の基本的な情報を話せるようになり、自由に自己紹介ができる。 【後期】・自分の趣味や好み、習慣や日常生活などが豊かに表現できる。

授業内容

実施回	内容
第1回	本授業で扱う主な内容は下記の通りである。・イタリア語のアルファベット・あいさつ・フォーマル／インフォーマルな場面での簡単な自己紹介・1から1,000までの数字・バールやレストランでの注文・趣味について話す・約束をする・感情・状態に関する表現・天気について話す・日常生活について話す・時間を尋ねたり、教えたりする・週末のことを話すまた、不定期ではあるが以下の内容も適宜行う。・歌を通して、新しい単語や表現を学ぶ
第2回	解説と演習
第3回	同上
第4回	同上
第5回	同上
第6回	同上
第7回	同上
第8回	同上
第9回	同上
第10回	同上
第11回	同上
第12回	同上
第13回	同上
第14回	同上
第15回	理解度の確認
第16回	解説と演習
第17回	同上
第18回	同上
第19回	同上
第20回	同上
第21回	同上
第22回	同上
第23回	同上
第24回	同上
第25回	同上
第26回	同上
第27回	同上
第28回	同上
第29回	まとめ
第30回	理解度の確認

授業方法

会話を中心とした演習形式。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業はコミュニケーションが中心となるため、授業時間外は語彙・慣用句の習得や文法理解にしっかり費やすこと。 ・自分の単語帳を作成する:授業で出てきた新しい言葉を書き写し、意味を理解する ・単語帳は定期的に確認し、以前学んだ語彙はしっかりと定着させること ・定期的な復習を習慣づけること——曖昧な理解では語学力は伸ばせない

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	15 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

＊クラス内アクティビティへの積極的な参加を重視する。講師の質問への回答やペアワークでの会話練習をしっかり行う。消極的な正確性よりも間違いのある積極性を評価する。

＊一学期につき5回以上の欠席をした場合は、いかなる理由であっても不合格とする。 また、特別な理由がある場合を除き、15分以上の遅刻は欠席とみなす。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

要望に応じてフィードバックを行う。

参考文献

しっかり学ぶイタリア語——文法と練習問題——,一ノ瀬 俊和,ベレ出版,2001,9784939076442

参考文献コメント

『伊和辞典』及び『和伊辞典』のような形でも良いが必ず自分の辞書を用意すること。しかし、観光用のポケット辞書の類は認めない。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827100104	科目ナンバリング	002D172
講義名	イタリア語C(初級)4		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Communication)		
担当者名	MESSINA, Laura		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西1－107		

授業概要

イタリア語を初めて学ぶ人を対象にしたコースであり、「話す・聞く・読む・書く」の4つの能力を伸ばすことを目指すが、特に「話す」能力に主眼を置く。イタリア語の簡単な挨拶・会話表現と同時に基本的な文法を学び、バールや学校など様々な場面でイタリア語が話せるようになることを目標とする。また、テキストだけではなく、雑誌や音楽などを通し、イタリアの文化についても授業の中で触れる。

到達目標

【通年】・イタリア語の発音とアルファベットを習得し、基本的な文法構造(動詞の活用と性数一致)が理解できる。 【前期】・自分の基本的な情報を話せるようになり、自由に自己紹介ができる。 【後期】・自分の趣味や好み、習慣や日常生活などが豊かに表現できる。

授業内容

実施回	内容
第1回	本授業で扱う主な内容は下記の通りである。・イタリア語のアルファベット・あいさつ・フォーマル／インフォーマルな場面での簡単な自己紹介・1から1,000までの数字・バールやレストランでの注文・趣味について話す・約束をする・感情・状態に関する表現・天気について話す・日常生活について話す・時間を尋ねたり、教えたりする・週末のことを話すまた、不定期ではあるが以下の内容も適宜行う。・歌を通して、新しい単語や表現を学ぶ
第2回	解説と演習
第3回	同上
第4回	同上
第5回	同上
第6回	同上
第7回	同上
第8回	同上
第9回	同上
第10回	同上
第11回	同上
第12回	同上
第13回	同上
第14回	同上
第15回	理解度の確認
第16回	解説と演習
第17回	同上
第18回	同上
第19回	同上
第20回	同上
第21回	同上
第22回	同上
第23回	同上
第24回	同上
第25回	同上
第26回	同上
第27回	同上
第28回	同上
第29回	まとめ
第30回	理解度の確認

授業方法

会話を中心とした演習形式。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業はコミュニケーションが中心となるため、授業時間外は語彙・慣用句の習得や文法理解にしっかり費やすこと。 ・自分の単語帳を作成する:授業で出てきた新しい言葉を書き写し、意味を理解する ・単語帳は定期的に確認し、以前学んだ語彙はしっかりと定着させること ・定期的な復習を習慣づけること——曖昧な理解では語学力は伸ばせない

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	15 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

＊クラス内アクティビティへの積極的な参加を重視する。講師の質問への回答やペアワークでの会話練習をしっかり行う。消極的な正確性よりも間違いのある積極性を評価する。

＊一学期につき5回以上の欠席をした場合は、いかなる理由であっても不合格とする。 また、特別な理由がある場合を除き、15分以上の遅刻は欠席とみなす。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

要望に応じてフィードバックを行う。

参考文献

しっかり学ぶイタリア語——文法と練習問題——,一ノ瀬 俊和,ベレ出版,2001,9784939076442

参考文献コメント

『伊和辞典』及び『和伊辞典』のような形でも良いが必ず自分の辞書を用意すること。しかし、観光用のポケット辞書の類は認めない。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827100105	科目ナンバリング	002D172
講義名	イタリア語C(初級)5		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Communication)		
担当者名	CAMANDONA, Michele		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1－103		

授業概要

このクラスでは、イタリア語の基礎を学びます。アルファベットから始め、会話の基本となる現在形、過去形、未来形を勉強し、さまざまな場面での会話を練習します。

到達目標

イタリア語で話す、聞くということに慣れていきます。また初対面での挨拶や、イタリア旅行で美術館やレストランに行った時など、イタリア語での簡単な会話ができるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	アルファベットと発音
第2回	自己紹介の表現
第3回	あらたまった自己紹介の仕方
第4回	動詞essereとavere
第5回	規則動詞の現在形と冠詞
第6回	〃
第7回	〃
第8回	冠詞の復習と前置詞
第9回	場面 1: イタリア旅行でよく使う表現
第10回	形容詞
第11回	不規則動詞の現在形
第12回	〃
第13回	不規則動詞と助動詞の現在形
第14回	場面 2: 好き嫌いの表現
第15回	場面 2:好き嫌いの表現
第16回	規則動詞の過去形
第17回	〃
第18回	不規則動詞の過去形
第19回	〃
第20回	場面 3: イタリア旅行の感想
第21回	〃
第22回	規則動詞、不規則動詞、助動詞の過去形
第23回	〃
第24回	場面 4: 将来のこと
第25回	規則動詞の未来形
第26回	不規則動詞の未来形
第27回	〃
第28回	自己紹介、過去の体験、将来の希望をイタリア語で言ってみよう
第29回	〃
第30回	理解度チェック

授業方法

講義とグループワーク

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

前回に学んだ表現の復習をしておくこと。 フレーズを声に出して読んでおくとなお良い。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	コメント欄参照
その他(備考欄を参照)	50 %	コメント欄参照

成績評価コメント

学習意欲が必須です。出席はもちろん、授業態度、授業への積極的な参加を重視します。宿題は必ず提出すること。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

宿題は添削後、次回授業で返却し、その場で学生自身がなぜ間違ったかを考え、直します。

教科書コメント

教科書は使用せず、プリントなどオリジナル教材を使います。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827100106	科目ナンバリング	002D172
講義名	イタリア語C(初級)6		
英文科目名	Italian (Elementary Course; Communication)		
担当者名	CAMANDONA, Michele		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1－109		

授業概要

このクラスでは、イタリア語の基礎を学びます。アルファベットから始め、会話の基本となる現在形、過去形、未来形を勉強します。毎回会話の練習もします。

到達目標

イタリア語で話す、聞くことに慣れていきます。初対面の時の挨拶から、イタリア旅行で美術館やレストランへ行った時など、さまざまな場面での簡単な会話ができるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	アルファベットと発音
第2回	自己紹介の表現
第3回	あらたまった自己紹介の仕方
第4回	動詞essereとavere
第5回	規則動詞の現在形と冠詞
第6回	〃
第7回	〃
第8回	冠詞の復習と前置詞
第9回	場面 1:イタリア旅行でよく使う表現
第10回	形容詞
第11回	不規則動詞の現在形
第12回	〃
第13回	不規則動詞と助動詞の現在形
第14回	場面 2:好き嫌いの表現
第15回	〃
第16回	規則動詞の過去形
第17回	〃
第18回	不規則動詞の過去形
第19回	〃
第20回	場面 3: イタリア旅行の感想
第21回	〃
第22回	規則動詞、不規則動詞、助動詞の過去形
第23回	〃
第24回	場面 4: 将来のこと
第25回	規則動詞の未来形
第26回	不規則動詞の未来形
第27回	〃
第28回	自己紹介、過去の体験、将来の希望をイタリア語で言ってみよう
第29回	〃
第30回	理解度チェック

授業方法

講義とグループワーク

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

前回に学んだ表現の復習をしておくこと。 声に出してフレーズを読んでおくと尚良い。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	コメント欄参照
その他(備考欄を参照)	50 %	コメント欄参照

成績評価コメント

試験やレポートがないかわり、学習意欲が必須です。出席はもちろん、授業態度や授業への積極的な参加を重視します。宿題も必ず提出すること。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

宿題は添削後、次回授業で返却し、その場で学生自身がなぜ間違ったかを考え、直します。

教科書コメント

教科書は使わず、プリント等オリジナルの教材を使用します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827101101	科目ナンバリング	002D272
講義名	イタリア語C(中級)1		
副題	Oggi, ieri, domani!		
英文科目名	Italian (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	MESSINA, Laura		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1－107		

授業概要

イタリア語初級を修了した人を対象にしたコースである。より高度な会話表現を身に付けるとともに、語彙の習得、作文・リスニング能力の強化にも力を入れる。同時に「話す・聴く・読む・書く」の4つの能力を高めることで、イタリア語で自己表現ができるようになるのが目的である。テキストだけではなく、雑誌や音楽などを通し、イタリアの文化についても授業の中で触れる。

到達目標

・近過去、半過去、命令形を使えるようになる。 ・自分の週末について語ったり、助言・提案したり、子どもの時の習慣について話すことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	本授業で扱う主な内容は下記の通りである。・人の身体的特徴や性格について描写する・アドバイスを求めたり相談に乗ったりする・イタリア人の習慣や祭りについて話す・道を尋ねたり教えたりする・家族・親戚について話すまた、上記に加え以下のアクティビティも行う。・週末をどう過ごしたか毎週発表する・毎学期1曲選び、歌詞の翻訳をしたり、覚えて歌ったりする他にもイタリア人のジェスチャーや現代文化についても適宜触れる。
第2回	解説と演習
第3回	同上
第4回	同上
第5回	同上
第6回	同上
第7回	同上
第8回	同上
第9回	同上
第10回	同上
第11回	同上
第12回	同上
第13回	同上
第14回	同上
第15回	理解度の確認
第16回	解説と演習
第17回	同上
第18回	同上
第19回	同上
第20回	同上
第21回	同上
第22回	同上
第23回	同上
第24回	同上
第25回	同上
第26回	同上
第27回	同上
第28回	同上
第29回	まとめ
第30回	理解度の確認

授業方法

会話を中心とした演習形式。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業はコミュニケーションが中心となるため、授業時間外は語彙・慣用句の習得や文法理解にしっかり費やすこと。 ・自分の単語帳を作成する:授業で出てきた新しい言葉を書き写し、意味を理解する ・単語帳は定期的に確認し、以前学んだ語彙はしっかりと定着させること ・定期的な復習を習慣づけること——曖昧な理解では語学力は伸ばせない

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

＊クラス内アクティビティへの積極的な参加を重視する。講師の質問への回答やペアワークでの会話練習をしっかり行う。消極的な正確性よりも間違いのある積極性を評価する。

＊一学期につき5回以上の欠席をした場合は、いかなる理由であっても不合格とする。 また、特別な理由がある場合を除き、15分以上の遅刻は欠席とみなす。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

要望に応じてフィードバックを行う。

参考文献

しっかり学ぶイタリア語,一ノ瀬 俊和,ベレ出版,2001,9784939076442

参考文献コメント

『伊和辞典』及び『和伊辞典』のような形でも良いが必ず自分の辞書を用意すること。しかし、観光用のポケット辞書の類は認めない。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U827101102	科目ナンバリング	002D272
講義名	イタリア語C(中級)2		
英文科目名	Italian (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	CAMANDONA, Michele		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1－103		

授業概要

このクラスでは、初級で身につけたイタリア語の力を中級レベルにまで伸ばします。過去形や未来形の復習もしながら、さらに再帰動詞、条件法などを学ぶことで会話の表現を豊かにすることができます。また、さまざまな場面を想定した練習を通して、イタリア人の文化やライフスタイルもより深く理解することができます。

到達目標

イタリアでのホームステイ、イタリア語でのメールの書き方、イタリア人に日本の観光案内をする時など、それぞれの状況にふさわしい表現を使って会話ができるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	自己紹介
第2回	場面 1: イタリアでのホームステイ 過去形
第3回	〃
第4回	場面 1: イタリアでのホームステイ 再帰動詞の導入
第5回	再帰動詞
第6回	〃
第7回	〃
第8回	場面 2:イタリア人の友人にメールする
第9回	〃
第10回	半過去の導入
第11回	規則動詞の過去形と半過去
第12回	不規則動詞の過去形と半過去
第13回	規則動詞と不規則動詞の過去形と半過去
第14回	未来形と先立未来
第15回	〃
第16回	場面 3:イタリア人に日本の観光案内をする
第17回	〃
第18回	〃
第19回	イタリア語の敬語と条件法
第20回	〃
第21回	〃
第22回	〃
第23回	場面 4: イタリアと日本の共通点と相違点
第24回	〃
第25回	〃
第26回	〃
第27回	自己紹介、イタリアとイタリア文化の印象について
第28回	〃
第29回	〃
第30回	理解度チェック

授業方法

講義とグループワーク

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

前回到学んだ表現の復習をしておくこと。 声に出してフレーズを読んでおくとうれしい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	50 %	コメント欄参照
その他(備考欄を参照)	50 %	コメント欄参照

成績評価コメント

出席はもちろん、授業態度、学習意欲と授業への積極的な参加を重視します。宿題は必ず提出すること。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

宿題は添削後、次回授業で返却し、その場で学生自身がなぜ間違ったかを考え、直します。

教科書コメント

教科書は使用せず、プリントなどオリジナル教材を配布します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828000101	科目ナンバリング	002D181
講義名	朝鮮語B(初級)1		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Basic)		
担当者名	関 東暉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1－307		

授業概要

初めて学ぶ学生のために、読み、書き、聞き、話す総合的なトレーニングを行う。

到達目標

ハングル文字の読み方、書き方、発音を学び、初級文法を修得する。
挨拶や簡単な会話ができ、短い文章の読み書きもできるようになることを目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ハングルについて
第2回	文字と発音①:基本の母音
第3回	文字と発音②:基本の子音
第4回	文字と発音③:複合母音
第5回	文字と発音④:バッチム
第6回	文字と発音⑤:発音の変化
第7回	文字と発音⑥:練習・あいさつ
第8回	第1課 簡単な自己紹介①:私は～です。
第9回	第2課 簡単な自己紹介②:出身はソウルですか？
第10回	第3課 指定詞、存在詞①:図書館ではありません。
第11回	第4課 指定詞、存在詞②:時間がありますか？
第12回	第5課 うちとけた表現①:インターネットをします。
第13回	第6課 うちとけた表現②:貿易会社で働いています。
第14回	まとめ
第15回	自主研究
第16回	復習と練習
第17回	第7課 用言の丁寧な表現①:東大門市場に行きました。
第18回	第8課 用言の丁寧な表現②:スーパーでよく買います。
第19回	第9課 漢数字と固有数字①:それは1万ウォンです。
第20回	第10課 漢数字と固有数字②:今何時ですか？
第21回	第11課 敬語、用言の否定①:日本語を話されますか？
第22回	第12課 敬語、用言の否定②:バスは行きません。
第23回	第13課 過去形、勧誘の表現①:いつ韓国にきましたか？
第24回	第14課 過去形、勧誘の表現②:一緒にお昼を食べましょう。
第25回	第15課 進行形、可能の表現①:パーティーの準備をしています。
第26回	第16課 進行形、可能の表現②:何も食べられませんでした。
第27回	第17課 希望、禁止の表現①:陶磁器が見たいです。
第28回	第18課 希望、禁止の表現②:写真を撮ってもいいですか。
第29回	まとめ
第30回	自主研究

授業計画コメント

※授業計画は学習状況によって変更することがあります。

授業方法

講義と演習を併用する。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回予習をすること。付属のCDもきちんと聞いてくること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	事前に知らせます。
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点、小テスト、学期末試験(第1学期、第2学期)を総合して点数を出します。平常点は、出席するだけでは得られません。授業への積極的な参加が望ましい。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に解説を行います。

教科書

『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』,木内明,国書刊行会,改訂,2013

参考文献

『朝鮮語辞典』,油谷幸利他,小学館

参考文献コメント

授業時に必要なプリントを配布する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

はじめて朝鮮語を学ぶ学生のためのクラスです。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828000102	科目ナンバリング	002D181
講義名	朝鮮語B(初級)2		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Basic)		
担当者名	呉 順瑛		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 南1－104		

授業概要

まずハングルの読み・書きを学ぶことから始め、初級レベルで必要な文法を習います。その後は習得した文法項目を使い、語彙を増やしながら会話練習を重ねます。時には映像を使い、韓国の文化に触れながら楽しく学んでいきます。

到達目標

ハングルの読み・書きを学んだ上で、初級レベルで必要な文法・会話を身につける。（例えば、お店での注文、買い物、自己紹介、旅行会話など）

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス / 科目の紹介
第2回	ハングルの母音 / 母音＋子音の読みⅠ
第3回	母音＋子音の読みⅡ(激音を含む)
第4回	濃音とパッチム
第5回	合成母音
第6回	ハングルの読み・書きの総括と練習
第7回	第1課「～は～です/ですか」の表現
第8回	第2課「～ではありません」の表現
第9回	第3課「それは何ですか」の表現
第10回	韓国文化に触れる。
第11回	第4課「約束があります」の表現
第12回	第6課 動詞・形容詞の活用1(～です/ます形の文型と基本練習)
第13回	第6課 動詞・形容詞の活用2(応用練習)
第14回	まとめ
第15回	自習研究
第16回	復習と練習
第17回	第7課 動詞・形容詞の活用の否定形
第18回	第8課 数字1
第19回	第9課 動詞・形容詞の活用「～해요体」1(文型と基本練習)
第20回	第9課 動詞・形容詞の活用「～해요体」2(応用練習)
第21回	第10課 数字2
第22回	韓国文化に触れる
第23回	第11課 過去形1(文型と基本練習)
第24回	第11課 過去形2(応用練習)
第25回	第14課「～でしょう/～けれど」の表現
第26回	第15課「～したいです」の表現
第27回	第16課「～ので/～て」の表現
第28回	第18課「～しましょうか」の表現
第29回	理解度の確認2
第30回	自習研究

授業計画コメント

受講者の学習能力に合わせて、授業計画が変更になる場合があります

授業方法

講義/グループワーク

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業のあと、その日のうちに復習することが望ましい(45分程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト	25 %	
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点、小テスト、中間テスト、期末テストなどを総合した点数で成績を出します。平常点(出席、クラス参加):15% 中間テスト:25% 第2学期(学年末試験):25% 第1学期(学期末試験):25% 小テスト:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの後、解説を行います。

教科書

できる韓国語初級 I ,新大久保語学院、李志暎,DEKIRU出版,新装,2017,978-4-87217-723-7

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828000103	科目ナンバリング	002D181
講義名	朝鮮語B(初級)3		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Basic)		
担当者名	関 東暉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1－209		

授業概要

初めて朝鮮語を学ぶ学生のために、読み、書き、聞き、話す総合的なトレーニングを行う。

到達目標

ハングル文字の読み方、書き方、発音を学び、初級文法を修得する。
挨拶や簡単な会話ができ、短い文章の読み書きもできるようになることを目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ハングルについて
第2回	文字と発音①:基本の母音
第3回	文字と発音②:基本の子音
第4回	文字と発音③:複合母音
第5回	文字と発音④:バッチム
第6回	文字と発音⑤:発音の変化
第7回	文字と発音⑥:練習・あいさつ
第8回	第1課 簡単な自己紹介①:私は～です。
第9回	第2課 簡単な自己紹介②:出身はソウルですか？
第10回	第3課 指定詞、存在詞①:図書館ではありません。
第11回	第4課 指定詞、存在詞②:時間はありますか。
第12回	第5課 うちとけた表現①:インターネットをします。
第13回	第6課 うちとけた表現②:貿易会社で働いています。
第14回	まとめ
第15回	自主研究
第16回	復習と練習
第17回	第7課 用言の丁寧な表現①:東大門市場に行きました。
第18回	第8課 用言の丁寧な表現②:スーパーでよく買います。
第19回	第9課 漢数字と固有数字①:それは1万ウォンです。
第20回	第10課 漢数字と固有数字②:今何時ですか？
第21回	第11課 敬語、用言の否定①:日本語を話されますか？
第22回	第12課 敬語、用言の否定②:バスは行きません。
第23回	第13課 過去形、勧誘の表現①:いつ韓国にきましたか？
第24回	第14課 過去形、勧誘の表現②:一緒にお昼を食べましょう。
第25回	第15課 進行形、可能の表現①:パーティーの準備をしています。
第26回	第16課 進行形、可能の表現②:何も食べられませんでした。
第27回	第17課 希望、禁止の表現①:陶磁器が見たいです。
第28回	第18課 希望、禁止の表現②:写真を撮ってもいいですか。
第29回	まとめ
第30回	自主研究

授業計画コメント

※授業計画は学習状況によって変更することがあります。

授業方法

講義と演習を併用する。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回予習をすること。付属のCDもきちんと聞いてくること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	事前に知らせる。
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点、小テスト、学期末試験(第1学期、第2学期)を総合して点数を出します。平常点は、出席するだけでは得られません。授業への積極的な参加が望ましい。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に解説を行います。

教科書

『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』,木内明,国書刊行会,改訂,2013

参考文献

『朝鮮語辞典』,油谷幸利他,小学館

参考文献コメント

授業時に必要なプリントを配布する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

はじめて朝鮮語を学ぶ学生のためのクラスです。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828000104	科目ナンバリング	002D181
講義名	朝鮮語B(初級)4		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Basic)		
担当者名	柳 慧政		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1－305		

授業概要

韓国語文法の初級クラスです。韓国語の基礎を学びます。文字と発音、語彙、文法の基礎を獲得し、簡単な文章を作成できることを目指します。また、韓国文化についても学び、韓国への理解も深めていきます。

到達目標

朝鮮語の読み書き、基礎知識の習得ができる。簡単な日常あいさつができる。朝鮮語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を伸ばしていくための基礎づくりができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、 ハングルの構造
第2回	母音(1)
第3回	母音(2)
第4回	子音(初声)(1)
第5回	子音(初声)(2)
第6回	子音(パッチム)
第7回	文字と発音の復習、挨拶表現、連音化
第8回	1課:私は佐藤ゆかです。(1)、かな文字のハングル表記
第9回	1課:私は佐藤ゆかです。(2)、(名詞文)
第10回	2課:それは何ですか？(1)、(名詞文の否定形)
第11回	2課:それは何ですか？(2)、(指示表現)
第12回	3課:この近くに銀行はありますか？(1)、(存在詞)
第13回	3課:この近くに銀行はありますか？(2)、(位置表現)
第14回	まとめ
第15回	自主研究
第16回	4課:いつですか。(漢語数詞)
第17回	5課:週末に何をしますか？(1)、(丁寧形①:ハムニダ体)
第18回	5課:週末に何をしますか？(2)
第19回	6課:そんなに遠くありません。(1)、(用言の否定形)
第20回	6課:そんなに遠くありません。(2)
第21回	7課:キムパブが一番好きです。(1)、(丁寧形②:へヨ体)
第22回	7課:キムパブが一番好きです。(2)
第23回	4～7課の復習
第24回	8課:2時からサークルがあります。(1)、(固有語数詞)
第25回	8課:2時からサークルがあります。(2)
第26回	9課:先生もいらっしゃいますか？(尊敬形)
第27回	10課:安くて美味しかったです(1)、(過去形)
第28回	10課:安くて美味しかったです(2)、(並列)
第29回	まとめ
第30回	自主研究

授業計画コメント

※授業計画は学習状況によって変更することがあります。

授業方法

講義と演習の併用

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に既習の単語、文法項目を確認しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 第2学期(学年末試験):30% 第1学期(学期末試験):30% 小テスト:20%(随時実施、理解度のチェックをする。)ただ出席しているだけでは平常点を与えられない。積極的な授業参加が望ましい。復習・予習は必須である。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に答案返却、解説、コメントなど行う。

教科書コメント

教科書は授業時に配布するので、購入する必要はありません。

参考文献

朝鮮語辞典,油谷幸利他,小学館,978-4095157016

参考文献コメント

授業時に指示する

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

はじめて朝鮮語を学ぶ学生のためのクラスです。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828000105	科目ナンバリング	002D181
講義名	朝鮮語B(初級)5		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Basic)		
担当者名	元 鍾彬		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西2－403		

授業概要

ドラマ・音楽・映画など異文化を体験する機会も増えている中、朝鮮文化に関心を持つ人も多くいます。また民間レベルでも日韓交流も活発に行っており、朝鮮語を学びたいという人も増えています。本講義では朝鮮語の基礎をしっかりと学び、朝鮮の伝統文化を映画や音楽を通して楽しみます。朝鮮語は日本語と語順が似ているため、数回の授業で簡単な文字の読み書きがすぐできます。さらに簡単な日常の会話ができるようになり、もっと深く学びたい積極性を導き、将来的には日韓交流に役に立つ人材を育つことが、本講義のねらいです。

到達目標

1学期については、ハングルのしくみ、基礎をしっかりと学び、簡単な読み書きができるようになる。2学期については、文法を学びながら短い作文ができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ハングルの学び方、ハングルの成り立ちについて
第2回	ハングル発音(子音)
第3回	ハングル発音(母音、二重母音)
第4回	母音と子音の復習①
第5回	ハングル(パッチム)
第6回	母音と子音の復習②(自分の名前を書く)
第7回	教室でよく使うことば
第8回	自己紹介(私は～です。＊丁寧な表現を覚えよう！)
第9回	数字を学ぶ(数詞)
第10回	これは何ですか？(指示詞を学ぶ)
第11回	位置を表すことば
第12回	助詞と疑問詞について(テキストの50頁は必ず覚えよう！)
第13回	曜日について学ぶ
第14回	まとめ
第15回	自主研究
第16回	前期の確認(テキストの50頁を確認)
第17回	ハングルの読み書きの方法
第18回	丁寧なハングルの使い方
第19回	何が好きですか。(変則用言)
第20回	週末に何をしましたか。(過去形のつくり方)
第21回	これまでの文法復習
第22回	時間の言い方、月日の言い方
第23回	何曜日にどこで何をしますか。
第24回	短い童話を読んでみよう
第25回	一日の日課をいうのに必要な言葉
第26回	反対語・関連語で覚える単語を学ぶ
第27回	明日は何をする予定ですか。(予定、推測)
第28回	副詞について学ぶ
第29回	まとめ
第30回	自主研究

授業計画コメント

前回学んだことについて復習します。

授業方法

基礎を学ぶ時は講義形式
 会話はグループワークで行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前に前回に学んだことを復習すること

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	50 %	
中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20%(出席) 第2学期(学年末試験):50%(基礎的なものを覚えているか確認) 小テスト:20%(聞き取りと書く能力の確認) 授業態度、出席率、学年末試験で成績を評価します。レポート:10%

レポート:ハングルの基本となる仕組みについて学び、ハングル表や音表記がしっかりと書けるかを評価する。小テスト:語彙力、読み書き能力などが出来ているかを評価する。学年末試験では通年で学んだことを理解しているかを評価する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験の答案を配布し、適宜解説する

教科書

最新チャレンジ!韓国語,金順玉・阪堂千津子,白水社,2014,978-4-560-01789-0

教科書コメント

基本的には教科書を中心に授業を進めますが、授業補助資料も配布します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

第1回目の授業には必ず出席すること

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828000106	科目ナンバリング	002D181
講義名	朝鮮語B(初級)6		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Basic)		
担当者名	盧 ミン周		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西1－305		

授業概要

朝鮮語を初めて学ぶ学生を対象にする初級クラスです。朝鮮語の文字と発音、語彙と文型を習得しながら基礎的な表現を身につけていきます。

到達目標

朝鮮語の文字の仕組みを理解し、読み書きができるようになります。基本的な文型や語彙を運用し、簡単な会話ができるようになることを目的としています。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイドンス、ハングルの仕組み
第2回	文字と発音①母音(基本母音)
第3回	文字と発音②子音(基本子音)
第4回	文字と発音②子音(基本子音)
第5回	文字と発音③子音(激音と濃音)
第6回	文字と発音④パッチム
第7回	文字と発音⑤母音(合成母音)
第8回	文字と発音の応用-日本の都道府県をハングルで書く
第9回	文字と発音の応用-簡単な挨拶、発音のルール
第10回	第1課「私は鈴木ケンタです」:名詞文①、助詞【～は】、本文
第11回	第2課「あれは教科書ではありません」:名詞否定文、助詞【～が】
第12回	第2課「あれは教科書ではありません」:指示代名詞、本文
第13回	第3課「どこに行きますか」:用言の丁寧形①
第14回	授業のまとめ
第15回	振り返り
第16回	第3課「どこに行きますか」:存在、位置を表す表現
第17回	第3課「どこに行きますか」:助詞【～に】、本文
第18回	第4課「うどんは高くありません」: 助詞【～を、～で、～と】
第19回	第4課「うどんは高くありません」:否定形、本文
第20回	第5課「6月10日です」:漢字語数詞
第21回	第5課「6月10日です」:本文
第22回	第6課「10時20分です」:固有語数詞
第23回	第6課「10時20分です」:助詞【～から、～まで】本文
第24回	第7課～第8課:用言の丁寧形②
第25回	第7課「ラーメンがとても美味しいです」:並列、仮定を表す表現、本文
第26回	第8課「友達と映画を見ます」:同時動作を表す表現、本文
第27回	第9課「友達は韓国人ですか」:名詞文②、理由、先行動作を表す表現
第28回	第9課「友達は韓国人ですか」:動作進行を表す表現、本文
第29回	授業のまとめ
第30回	振り返り

授業方法

課ごとに①文法説明②文型練習問題③語彙④本文⑤ペアワーク練習⑥まとめの流れで進めていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

①次回の授業範囲の新出単語は必ず覚えてくることと、②配布資料を読み返してくることです。(45分～50分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	事前に報告します。
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	積極的に参加しましょう。
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は添削して返します。また、試験は次回、答え合わせと解説をします。

教科書

チョアヘヨ！韓国語,金庚芬・丁仁京,朝日出版社,初,2018,978-4-255-55658-1

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828001101	科目ナンバリング	002D283
講義名	朝鮮語R(中級)		
英文科目名	Korean (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	柳 慧政		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 西1－306		

授業概要

朝鮮語の初級文法を履修し、より本格的な文章講読を希望する学生のためのクラスです。 韓国語文章の構造を理解するため必要な文法的な項目の習得と文章講読を通してさまざまな表現を身につけることが本授業の目的です。また、読み物に韓国の社会・文化に関する内容も取り上げ、ことばだけではなく韓国の文化についても理解を深めていきます。

到達目標

韓国語の文構造が理解できるようになり、韓国語で書かれている文章を読む力を身につけることができる。 理解したものを自分の言葉で説明できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	1課:よくいらっしゃいました。(過去形)
第3回	1課:よくいらっしゃいました。(連体形①未来)
第4回	2課:そんなサークルはあるでしょうか。(相談・提案)
第5回	2課:そんなサークルはあるでしょうか。(意志・推量)
第6回	3課:とても気に入ったので。(不可能)
第7回	4課:先生はとてもいい方です。(連体形②現在)
第8回	4課:先生はとてもいい方です。(〇活用)
第9回	5課:辛すぎてあまり食べられません。(原因・理由)
第10回	5課:辛すぎてあまり食べられません。(口変格)
第11回	6課:キムパブを食べますから。(意向、ㄴ変格)
第12回	6課:キムパブを食べますから。(婉曲)
第13回	プリントによる講読と演習:韓国社会・文化を読む(1)
第14回	総括
第15回	自主研究
第16回	7課:京都に旅行したことがありますか。(連体形③過去)
第17回	8課:私も一つ聞いてみたいです。(ㄹ変格、授受表現)
第18回	9課:誰が建てたのかはよく知りません。(ハ変格、文中の疑問形)
第19回	プリントによる講読と演習:韓国社会・文化を読む(2)
第20回	10課:外出が禁止されていますから。(結果の継続)
第21回	10課:外出が禁止されていますから。(可能・不可能)
第22回	中間まとめと確認
第23回	11課:ソウルは思ったより涼しいですね。(勧誘、感嘆)
第24回	12課:発音が本当に難しいじゃないですか。(同意・確認)
第25回	プリントによる講読と演習:韓国社会・文化を読む(3)
第26回	13課:朝、電話してもいいでしょうか。(許可)
第27回	13課:朝、電話してもいいでしょうか。(義務)
第28回	プリントによる講読と演習:韓国社会・文化を読む(4)
第29回	総括
第30回	自主研究

授業計画コメント

テキスト以外の講読と数回の作文練習も予定しています。詳しくは授業中に話します。授業計画は学習状況によって変更することがあります。

授業方法

講義とグループワークの併用

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に前回の既習の文法項目の確認をしておくこと。 授業前には新出語彙の意味を調べておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 第2学期(学年末試験):30% 第1学期(学期末試験):30% 小テスト:20%(随時実施、理解度のチェックをする。)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に答案返却、解説、コメントを行う。

教科書

楽しく学ぶハングル2,姜英淑/浜之上幸,白帝社,2009,9784891749965

参考文献

朝鮮語辞典,油谷幸利他,小学館,978-4095157016

韓国文化を読む,曹美庚、林炫情、金眞,朝日出版社,2010,978-4255556147

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

韓国語習得を目的としている外国語学習クラスです。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828100101	科目ナンバリング	002D182
講義名	朝鮮語C(初級)1		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Communication)		
担当者名	盧 ミン周		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1－305		

授業概要

朝鮮語を初めて学ぶ学生を対象にする初級クラスです。朝鮮語の文字の仕組みを勉強し、日常ですぐに役に立つ短い会話を身につけます。

到達目標

ハングル(朝鮮語の文字)の仕組みについて理解し、読み書きができるようになります。
初級文法を活用し、自己紹介や身近な話題について会話できるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイドンス、ハングルの仕組み
第2回	文字と発音①母音(基本母音)
第3回	文字と発音②子音(基本子音)
第4回	文字と発音②子音(基本子音)
第5回	文字と発音③子音(激音と濃音)
第6回	文字と発音④パッチム
第7回	文字と発音⑤母音(合成母音)
第8回	文字と発音の応用-日本の都道府県をハングルで書く
第9回	文字と発音の応用-簡単な挨拶、発音のルール
第10回	第4課「～です」:名詞文①、助詞【～は】
第11回	第4課「～です」:自己紹介、本文
第12回	第5課「～ではありません」:名詞文②、名詞否定文、助詞【～が】
第13回	第6課「～は～にあります」:漢字語数詞、助詞【～に】
第14回	授業のまとめ
第15回	振り返り
第16回	第6課「～は～にあります」:存在・位置を表す表現、本文
第17回	第7課「午後、時間大丈夫ですか」:用言の丁寧形①
第18回	第7課「午後、時間大丈夫ですか」:助詞【～を、～も】
第19回	第7課「午後、時間大丈夫ですか」:本文
第20回	第8課「小学生にテコンドーを教えています」:用言の丁寧形②、助詞【～で、～に(人)】
第21回	第8課「小学生にテコンドーを教えています」:指示代名詞、本文
第22回	第9課「ふつう、6時に起きます」:用言の丁寧形③、助詞【～で(手段)、～から、～まで】
第23回	第9課「ふつう、6時に起きます」:固有語数詞、本文
第24回	中間まとめ
第25回	第10課「野球がとても好きです」:用言の丁寧形④、移動の目的を表す表現
第26回	第10課「野球がとても好きです」:助詞【～から(時の起点)】、本文
第27回	第11課「昼ごはん、食べなかったんですか」:過去形、変則用言
第28回	第11課「昼ごはん、食べなかったんですか」:用言の否定形、本文
第29回	授業のまとめ
第30回	振り返り

授業方法

課ごとに①文法説明②文型練習問題③語彙④本文⑤ペアワーク練習⑥まとめの流れで進めていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

①単語を覚えて来ること②配布資料を読み返して来ることです。(45分～60分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は添削して返します。また、試験は次回、答え合わせと解説を行います。

教科書

韓国語の世界へ(入門編):コソコソ学び、カジュアルに話そう,李潤玉・酒勾康裕・須賀井義教・睦宗均・山田恭子,朝日出版社,三訂初,2019,978-4-255-55647-5

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828100102	科目ナンバリング	002D182
講義名	朝鮮語C(初級)2		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Communication)		
担当者名	孫 英玉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1－206		

授業概要

韓国語の文字と発音を習い、日常よく使われる簡単な会話文の基本語彙と基本文型を学習し、聞き・話す能力を身につけます。言葉の中で、日本語との類似点・相違点を探りつつ、韓国の歴史と文化への関心を高めていきます。また、韓国への訪問や観光の際、役に立つように、買物・宿泊・乗物などの実用会話の習得を目指します。そのうえ授業が楽しくなるように、会話文につなげて、韓国の生活や風習の話をしながら進行します。

到達目標

韓国の文字であるハングル文字の構造を学び、正確に読めるようになります。また日常生活で使う簡単な会話文を覚え挨拶・電話・買物などの短い言葉が話せるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	日本語との類似点、ハングルの歴史と性格
第2回	母音の書き方と発音
第3回	子音の書き方と発音
第4回	子音と母音の組み合わせと発音
第5回	終声の発音(1)
第6回	終声の発音(2)
第7回	理解度の確認(文字のテスト)
第8回	日常生活でよく使われる挨拶
第9回	物の値段を聞く時の会話
第10回	場所を聞く時の会話
第11回	人の家を訪問する時の会話
第12回	新聞を買う時の会話
第13回	日本のカナとハングル文字の対照、総合練習
第14回	理解度の確認(6課～10課)、韓国に関する映像鑑賞
第15回	振り返り
第16回	食べ物の味に関する会話
第17回	授業の時間と内容に関する会話
第18回	病院に行く時の会話
第19回	ホテルを予約する時の会話
第20回	韓国で仕事をする時の会話
第21回	総合練習、発音の変化(鼻音化と流音化)
第22回	理解度の確認(11課～15課)
第23回	物を買う時の会話
第24回	切符を買う時の会話
第25回	電話する時の会話
第26回	食事をする時の会話
第27回	靴を買う時の会話
第28回	総合練習
第29回	理解度の確認(16課～20課)、韓国に関する映像鑑賞
第30回	振り返り

授業計画コメント

授業の進行は受講生の人数によって、少し速くなる場合もあります。

授業方法

まず、簡単な文法の説明を聞きます。次に教師の発音を聴いて、何度もついて読みます。5分ぐらい一人で練習し、2人で会話をします。次に新しい単語を使って作文をし、その解答を教師が修正して、正しい文章を学生に読ませます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

その日に習った所は、暗記することが望ましいです。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

出席率3分の2以上を単位習得の基本条件とします。ただし、4年生は就職活動のため、柔軟性を持って対応します。
1回目の試験はハングル文字が正確に読めるか、2回目と3回目の試験は韓国語を聞き取って書けるか、4回目の試験は韓国語の文章を理解でき、それに合った答えができるかなどです。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1回目の試験は口頭試験、2回目以後は筆記試験です。

教科書

韓国語1,ソウル大学語学研究所編,ハンリム出版社,第3,2005

教科書コメント

購入方法は1回目の授業時間に指示します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

長い質問や相談は、授業の後教室で受けます。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828100103	科目ナンバリング	002D182
講義名	朝鮮語C(初級)3		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Communication)		
担当者名	呉 順瑛		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 南1－104		

授業概要

第1段階としてハングルの読み・書きを学び、次は基礎レベルで必要な文法を身につけます。それから語彙を増やしながら文法項目を応用し、会話練習を重ねていきます。時には韓国の文化などにも触れながら、楽しく学んでいきます。

到達目標

基礎レベルで必要な文法項目を学び、自分の言葉で簡単な日常会話ができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス。科目の説明。
第2回	基本母音。母音＋子音Ⅰ
第3回	母音＋子音Ⅱ(激音を含む)
第4回	濃音。パッチム。
第5回	合成母音
第6回	ハングルの読み・書きのまとめ
第7回	第1課:～は～です/ですか
第8回	第2課:～ではありません/名詞文의해요体
第9回	第3課:名詞＋해요体
第10回	第4課:～あります/います
第11回	韓国文化に触れる
第12回	第6課:動詞/形容詞の活用形Ⅰ(합니다体)
第13回	第6課:動詞、形容詞の活用形Ⅱ
第14回	総括
第15回	自主研究
第16回	復習と会話練習
第17回	第7課:用言の否定形
第18回	第8課:漢数詞
第19回	第9課:用言の해요体Ⅰ
第20回	第9課:用言の해요体Ⅱ
第21回	第10課:固有数詞
第22回	第11課:過去形Ⅰ
第23回	第11課:過去形Ⅱ
第24回	韓国文化に触れる
第25回	第14課:逆説、確認表現
第26回	第15課:～したいです(希望表現)
第27回	第16課:理由/原因、ㄴ不規則
第28回	第18課:～しましょうか?(勧誘表現)
第29回	まとめ
第30回	自主研究

授業計画コメント

受講者の学習能力に合わせて、授業計画を変更する場合があります。

授業方法

講義/グループワーク

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業のあと、その日のうちに復習することが望ましい。(約45分程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト	25 %	
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、出席、授業態度):15%、第1学期(学期末試験):25%、中間テスト:25%、第2学期(学年末試験):25%、小テスト:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストのあと、解説を行います。

教科書

できる韓国語初級 I ワークブック,新大久保語学院、李志暎、辛昭静,DEKIRU出版,2011,978-4-87217-799-2

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828100104	科目ナンバリング	002D182
講義名	朝鮮語C(初級)4		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Communication)		
担当者名	魏 聖銓		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西2－303		

授業概要

この韓国語の授業では、韓国語学習の基礎となる文字の読み書き、表記と発音の相違を克服する方法を学習する。自分の趣味や自己紹介が韓国語で表現できる能力を身につけたい。
さらに、言葉と文化の密接なかわりを理解し、語学学習の味方につける。異文化コミュニケーションについてもできるだけ多く触れたい。

到達目標

韓国語の文字である「ハングル」の読み書きができる。
教科書の単語を楽しく覚え、会話をういたペアワークをこなす。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業のガイダンス ハングルの仕組み(左右型と上下型) ①基本母音と[e]、自分の名前を韓国語(ハングル)で書いてみよう！ 発音:濁音化 ハングル能力検定試験について(1)
第2回	韓国語と日本語について ②基本子音、③応用子音(激音、濃音) □ 会話1:日本人です(自己紹介) 発音:連音化
第3回	子音の復習、④重母音 小テスト 会話:趣味は何ですか。ペアワーク 発音:h音弱化、激音化
第4回	基本母音、基本子音、応用子音、重母音の復習 パッチム(終声)(1) パッチムの7グループ 会話:ペアワーク&ビンゴゲーム
第5回	パッチム(終声)(2) 1課の文法:名詞+です。 ☆ハムニダ体 発音:鼻音化 韓国の名所紹介(1) ソウル 韓国の文化紹介:K-POP
第6回	文字全体のまとめ 会話ペアワーク 5課の文法:疑問代名詞 表現:～が好きです。
第7回	単語のまとめ(1) 会話ペアワーク
第8回	第2課 つつじではありません。 文法:名詞の否定形 指示代名詞
第9回	第2課 練習問題 文法:助詞のまとめ 韓国の名所紹介(2) 釜山
第10回	単語のまとめ(2) 第3課 時間ありますか 文法:存在詞について、助詞のまとめ
第11回	第3課 練習問題 意志・勧誘表現 文法:☆へヨ体について
第12回	単語のまとめ(3) 第4課 見えませんか(道をたずねる時の表現)
第13回	第4課 練習問題 文法:尊敬表現 位置名詞 用言の否定形 韓国の文化、映画の紹介
第14回	まとめ
第15回	振り返り 自主研究
第16回	授業のガイダンス /ハングル能力検定試験について説明する② 前期の復習 ハングル能力検定試験について(2)
第17回	第6課 昨日何をしましたか。 文法:過去形
第18回	第6課 練習問題 単語のまとめ(4)
第19回	第7課 カップラーメンも食べてみたいです。 表現:希望の表現 韓国語の発音変化について 流音化(舌側音化)/口蓋音化/[n]添加
第20回	第7課 練習問題 単語のまとめ(5)
第21回	第8課 少し遅れそうです。 文法:推量・意志表現「-getter」、副詞

第22回	中間まとめ / ハングル能力検定試験について説明する② 会話1,4,5,7のペアワーク練習 韓国の文化、映画の紹介
第23回	第9課 明洞ホテルまで行ってください。 会話: ペアワーク
第24回	第9課 練習問題 表現: ~ (し) てください。 単語のまとめ(6) 第10課 この靴履いてもいいですか 表現: ショッピングの時に使える言い方
第25回	第10課 練習問題 数詞(1); 漢数詞 第11課 オミジャ茶1つください 韓国語で簡単な短文を書いてみよう。
第26回	第11課 練習問題 数詞(2); 固有数詞 会話文のペアワーク
第27回	第12課 インターネットを使うことができますか。 文法: 可能・不可能の表現
第28回	第12課 練習問題
第29回	まとめ
第30回	振り返り 自主研究

授業方法

韓国語の文字(ハングル)の読み書きができるように練習する。
読み書きができれば、韓国語の上達は早い。学んだ文字と発音が一致できるようにし、単語力をつけて短い会話のペアワークを楽しむ行う。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

学習前に、新しい単語、例文に目を通す(40分程度)
CDを聞きながら、聞き取りの練習を行う。(20分程度)
授業後は学習した項目の復習と課題をやること。(50分程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストについては必要に応じて解説を行う。

教科書

NEW!韓国語&会話,魏聖銓,右文書院,2,2013,9784842107530

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

練習問題などの解き直しに使う赤いペンを持参する。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828100105	科目ナンバリング	002D182
講義名	朝鮮語C(初級)5		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Communication)		
担当者名	元 鍾彬		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1－303		

授業概要

持続可能な社会を目指すための「異文化との対話」は、重要なキーワードとなっています。本講義では、前期は朝鮮語の基礎をしっかり学び、近隣国と似ていながら異なっている文化を楽しみます。後期からは韓国の人気ドラマや映画をみながら、ドラマの中から聞こえる言葉を書く練習と聞き取りの練習を行います。さらにドラマの中で見える現代社会の課題や面白い習慣なども確認し、日本の文化と比較します。

到達目標

ハングルの基礎を理解し、読み書きができるようになる。 簡単な日常会話ができるようになる。積極的な会話ができ、韓国の文化や伝統について親しみを持つようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス(ハングルの学び方)
第2回	基礎①母音(二重母音)
第3回	基礎②子音+パッチム
第4回	単語をよみながら発音の練習
第5回	単語+パッチム(読み方、発音練習)
第6回	子音+母音の復習(二重母音)
第7回	パソコンやスマートフォンのハングルの入力方法を学ぶ。
第8回	ハングルで自己紹介(自分の名前や簡単な単語をハングルで書く。丁寧な表現を覚える。)
第9回	どこから来ましたか。(私の故郷は？地域の文化や方言を学ぼう)
第10回	何を食べますか。(朝鮮料理について学ぼう～お正月やお盆の食べ物～)
第11回	韓国の歌謡－アイドルの歌について(歌詞を読み、意味について学ぶ)
第12回	二学期に見るドラマの主題歌について(聞き取り練習) 朝鮮民謡のアリランを学ぼう！
第13回	二学期に見るドラマの主題歌の意味を調べよう。(主題歌の翻訳)
第14回	まとめ
第15回	自主研究
第16回	2学期はハングルの学びを楽しむ方法など、ガイダンス
第17回	韓国の現代のドラマ・音楽・映画について(韓流ドラマの分析)
第18回	シークレットガーデン①・聞き取りや会話内容の確認
第19回	シークレットガーデン②・聞き取りや会話内容の確認
第20回	シークレットガーデン③・聞き取りや会話内容の確認
第21回	シークレットガーデン④・聞き取りや会話内容の確認
第22回	シークレットガーデン⑤・聞き取りや会話内容の確認
第23回	シークレットガーデン⑥・聞き取りや会話内容の確認
第24回	シークレットガーデン⑦・聞き取りや会話内容の確認
第25回	シークレットガーデン⑧・聞き取りや会話内容の確認
第26回	シークレットガーデン⑨・聞き取りや会話内容の確認
第27回	シークレットガーデン⑩・聞き取りや会話内容の確認
第28回	シークレットガーデン⑪・聞き取りや会話内容の確認
第29回	まとめ
第30回	自主研究

授業計画コメント

毎回の授業で学んだことを確認・復習します。

授業方法

前期は講義形式。
後期は会話の練習でグループワークで行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業開始前には必ず前回学んだことを復習すること

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	50 %	
中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20%(出席率など) 第2学期(学年末試験):50%(作文力) 小テスト:20%(聞き取り努力) 授業態度や出席率、レポート、テストで評価します。レポート:10%(理解度)

語彙や文法について理解している。打ち解けた表現やかしこまった表現の使い方を理解している。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テスト終了後、答案の確認を行います。
レポートは確認して本人に返します。

教科書

最新チャレンジ！韓国語,金順玉・阪堂千津子,白水社,2014,978-4-560-01789-0

教科書コメント

基本的に教科書を中心に授業を進めますが、授業補助資料も配布します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

第1回目の授業は必ず出席すること

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828100106	科目ナンバリング	002D182
講義名	朝鮮語C(初級)6		
英文科目名	Korean (Elementary Course; Communication)		
担当者名	魏 聖銓		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 5時限 中央－303		

授業概要

この韓国語の授業では、韓国語学習の基礎となる文字の読み書き、表記と発音の相違を克服する方法を学習する。自分の趣味や自己紹介が韓国語で表現できる能力を身につけたい。
さらに、言葉と文化の密接なかわりを理解し、語学学習の味方につける。異文化コミュニケーションについてもできるだけ多く触れたい。

到達目標

韓国語の文字である「ハングル」の読み書きができる。
教科書の単語を楽しく覚え、会話文を用いたペアワークをこなす。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業のガイダンス ハングルの仕組み(左右型と上下型) ①基本母音と[e]、自分の名前を韓国語(ハングル)で書いてみよう！ 発音:濁音化 ハングル能力検定試験について(1)
第2回	韓国語と日本語について ②基本子音、③応用子音(激音、濃音) □ 会話1:日本人です(自己紹介) 発音:連音化
第3回	子音の復習、④重母音 小テスト 会話:趣味は何ですか。ペアワーク 発音:h音弱化、激音化
第4回	基本母音、基本子音、応用子音、重母音の復習 パッチム(終声)(1) パッチムの7グループ 会話:ペアワーク&ビンゴゲーム
第5回	パッチム(終声)(2) 1課の文法:名詞+です。 ☆ハムニダ体 発音:鼻音化 韓国の名所紹介(1) ソウル 韓国の文化紹介:K-POP
第6回	文字全体のまとめ 会話ペアワーク 5課の文法:疑問代名詞 表現:～が好きです。
第7回	単語のまとめ(1) 会話ペアワーク
第8回	第2課 つつじではありません。 文法:名詞の否定形 指示代名詞
第9回	第2課 練習問題 文法:助詞のまとめ 韓国の名所紹介(2) 釜山
第10回	単語のまとめ(2) 第3課 時間ありますか 文法:存在詞について、助詞のまとめ
第11回	第3課 練習問題 意志・勧誘表現 文法:☆へヨ体について
第12回	単語のまとめ(3) 第4課 見えませんか(道をたずねる時の表現)
第13回	第4課 練習問題 文法:尊敬表現 位置名詞 用言の否定形 韓国の文化、映画の紹介
第14回	まとめ
第15回	振り返り 自主研究
第16回	授業のガイダンス /ハングル能力検定試験について説明する② 前期の復習 ハングル能力検定試験について(2)
第17回	第6課 昨日何をしましたか。 文法:過去形
第18回	第6課 練習問題 単語のまとめ(4)
第19回	第7課 カップラーメンも食べてみたいです。 表現:希望の表現 韓国語の発音変化について 流音化(舌側音化)/口蓋音化/[n]添加
第20回	第7課 練習問題 単語のまとめ(5)
第21回	第8課 少し遅れそうです。 文法:推量・意志表現「-getter」、副詞

第22回	中間まとめ / ハングル能力検定試験について説明する② 会話1,4,5,7のペアワーク練習 韓国の文化、映画の紹介
第23回	第9課 明洞ホテルまで行ってください。 会話: ペアワーク
第24回	第9課 練習問題 表現: ~ (し) てください。 単語のまとめ(6) 第10課 この靴履いてもいいですか 表現: ショッピングの時に使える言い方
第25回	第10課 練習問題 数詞(1); 漢数詞 第11課 オミジャ茶1つください 韓国語で簡単な短文を書いてみよう。
第26回	第11課 練習問題 数詞(2); 固有数詞 会話文のペアワーク
第27回	第12課 インターネットを使うことができますか。 文法: 可能・不可能の表現
第28回	第12課 練習問題
第29回	まとめ
第30回	振り返り 自主研究

授業方法

韓国語の文字(ハングル)の読み書きができるように練習する。
読み書きができれば、韓国語の上達は早い。学んだ文字と発音が一致できるようにし、単語力をつけて短い会話のペアワークを楽しむ行う。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

学習前に、新しい単語、例文に目を通す(40分程度)
CDを聞きながら、聞き取りの練習を行う。(20分程度)
授業後は学習した項目の復習と課題をやること。(50分程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストについては必要に応じて解説を行う。

教科書

NEW!韓国語&会話,魏聖銓,右文書院,2,2013,9784842107530

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

練習問題などの解き直しに使う赤いペンを持参する。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U828101101	科目ナンバリング	002D282
講義名	朝鮮語C(中級)		
英文科目名	Korean (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	孫 英玉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1－206		

授業概要

朝鮮語コミュニケーション(初級)の修了者もしくは同程度の水準の学生を対象にし、すこし程度が高い会話文を学習します。より正確な発音で自然な会話ができるように何度も読み、暗記します。暗記した会話文に感情と動作を入れ実践にいかす訓練を行います。ハングル検定試験4級や韓国語検定試験中級に合格できるように、それに準拠したテキストを使います。また、実際韓国を訪問する時に役に立つように、韓国人と電話をすることから食堂で食事を注文することまで、いろいろな場面での会話を勉強します。

到達目標

初級より少し長い文章の会話ができるようになります。また、習った文法を応用して自分で簡単な文章を書けるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	第1課、韓国人の友達のところに行ってきました。（文法と会話）
第2回	韓国人の友達のところに行ってきました。（応用練習）
第3回	第2課、自転車に乗りに行きましようか。（文法と会話）
第4回	自転車に乗りに行きましようか。（応用練習）
第5回	第3課、昨日はどこに行かれましたか。（文法と会話）
第6回	昨日はどこに行かれましたか。（応用練習）
第7回	理解度の確認(第1課～3課)
第8回	第4課、今から行く所はどこですか。（文法と会話）
第9回	今から行く所はどこですか。（応用練習）
第10回	第5課、この背の高い人は誰ですか。（文法と会話）
第11回	この背の高い人は誰ですか。（応用練習）
第12回	第6課、新大久保に行ったことがありますか。（文法と会話）
第13回	新大久保に行ったことがありますか。（応用練習）
第14回	理解度と確認(第1課～6課)
第15回	振り返り
第16回	第7課、夏休みには何をするつもりですか。（文法と会話）
第17回	夏休みには何をするつもりですか。（応用練習）
第18回	第8課、韓国語の試験はよくできました。（文法と会話）
第19回	韓国語の試験はよくできました。（応用練習）
第20回	第9課、ちょっと聞いてみましょうか。（文法と会話）
第21回	ちょっと聞いてみましょうか。（応用練習）
第22回	理解度の確認(第7課～9課)
第23回	第10課、生地が少し厚くて暑いです。（文法と会話）
第24回	生地が少し厚くて暑いです。（応用練習）
第25回	第11課、今はすっかり治りました。（文法と会話）
第26回	今はすっかり治りました。（応用練習）
第27回	第12課、興味はありますが、よく知りません。（文法と会話）
第28回	興味はありますが、よく知りません。（応用練習）
第29回	理解度の確認(第7課～12課)
第30回	振り返り

授業計画コメント

授業の進行は受講生の人数により、少し速くなる場合があります。

授業方法

まず、簡単な文法の説明を聞いて練習問題を解きます。次に会話文を読みます。教師の発音を聴いて、何度もついて読みます。5分ぐらい一人で練習し、2人または3人で会話をします。次に応用問題をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次の授業時間に習うところの会話文を読んで来ることです。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

出席率3分の2以上を単位習得の基本条件とします。ただし、4年生は就職活動のため、柔軟性を持って対応します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

中間試験は筆記試験で、期末試験は口頭試験です。

教科書

チョアヘヨ韓国語,金庚芬・丁仁京,朝日出版社,初,2018,978-4-255-55659-8

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

長い質問や相談は、授業の後教室で受けます。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U829000101	科目ナンバリング	002D191
講義名	アラビア語B(初級)1		
英文科目名	Arabic (Elementary Course; Basic)		
担当者名	斎藤 美津子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1－315		

授業概要

アラビア語を公用語とする国は24カ国にのぼり、国連公用語のひとつになっています。アラビア語はまず文字を覚えることから始めなければならず、文法がやっかいなため、初学者にとってはハードルが高い言語ですが、文字は28文字しかなく、文法は規則的。いったん文法を身につければ、アラビア語はパズルみたいで、とても面白いです。

到達目標

アラビア文字の読み書き、基本語彙、基礎文法の習得に加えて、簡単な会話ができるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	挨拶:「あなた方の上に平安を」とその返事、アラビア文字(独立形)
第2回	挨拶:「おはよう」とその返事、アラビア文字(独立形・結合形)
第3回	挨拶:「こんにちは／こんばんは」とその返事、単語を書く(1)
第4回	単語テスト(1)、挨拶:「ようこそ」とその返事、単語を書く(2)
第5回	単語テスト(2)、挨拶:「あなたの名前は?」とその返事、自分の名前を書く、文法:定冠詞
第6回	単語テスト(3)、挨拶:「はじめまして」、文法:名詞の性
第7回	単語テスト(4)、挨拶:「調子はどう?」とその返事(1)、文法:名詞＋形容詞(1)
第8回	単語テスト(5)、挨拶:「調子はどう?」とその返事(2)、文法:名詞＋形容詞(2)、アラブ諸国
第9回	単語テスト(6)、挨拶:「さようなら」「またね」、文法:格
第10回	単語テスト(7)、挨拶:「お願いします」、文法:前置詞
第11回	単語テスト(8)、挨拶:「どうぞ」、文法:「持っている」構文
第12回	単語テスト、挨拶:「ありがとう」とその返事、数:1～5、文法:名詞＋名詞(イダーファ)
第13回	会話練習、数:6～10
第14回	理解度の確認、アザーン、文字絵
第15回	振り返り
第16回	数:1～5、リズムで覚える挨拶(1)～(5)、文法:復習
第17回	単語テスト:1～5、数:6～10、リズムで覚える挨拶(6)、文法:双数
第18回	単語テスト:6～10、数:11～19、リズムで覚える挨拶(7)、文法:複数
第19回	単語テスト:11～15、数:20～29、リズムで覚える挨拶(8)、文法:人称代名詞
第20回	単語テスト:25～29、数:30、40、50…100、リズムで覚える挨拶(9)、文法:動詞完了形の活用
第21回	単語テスト:60…100、曜日、リズムで覚える挨拶(10)、文法:動詞完了形を含む文
第22回	単語テスト:動詞1完了形、リズムで覚える挨拶(11)、文法:動詞完了形を含む名詞文と動詞文
第23回	単語テスト:動詞2完了形、リズムで覚える挨拶(12)、文法:動詞完了形の練習問題
第24回	単語テスト:曜日、序数:1～10、会話(1)、文法:動詞未完了形
第25回	単語テスト:動詞1未完了形、時刻、会話(2)、文法:動詞未完了形の練習問題
第26回	単語テスト:動詞2未完了形、会話(応用)、文法:否定動詞ライサ
第27回	単語テスト、年賀状、文法:動詞カーナ
第28回	文法:数字＋名詞、年齢
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業方法

講義。文法の説明を受けた後、練習問題を解いてみます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習(1時間)。宿題・練習問題(1時間～2時間)。単語練習(1日5分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	単語テスト
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	宿題・練習問題の提出状況
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された宿題・練習問題は、コメントをつけて返却します。

教科書コメント

担当講師のホームページに掲載されているテキスト『アラビア語の法則』を教科書とします。

参考文献コメント

授業時に指示します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U829000102	科目ナンバリング	002D191
講義名	アラビア語B(初級)2		
英文科目名	Arabic (Elementary Course; Basic)		
担当者名	斎藤 美津子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 4時限 西1－315		

授業概要

アラビア語を公用語とする国は24カ国にのぼり、国連公用語のひとつになっています。アラビア語はまず文字を覚えることから始めなければならず、文法がやっかいなため、初学者にとってはハードルが高い言語ですが、文字は28文字しかなく、文法は規則的。いったん文法を身につければ、アラビア語はパズルみたいで、とても面白いです。

到達目標

アラビア文字の読み書き、基本語彙、基礎文法の習得に加えて、簡単な会話ができるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	挨拶:「あなた方の上に平安を」とその返事、アラビア文字(独立形)
第2回	挨拶:「おはよう」とその返事、アラビア文字(独立形・結合形)
第3回	挨拶:「こんにちは／こんばんは」とその返事、単語を書く(1)
第4回	単語テスト(1)、挨拶:「ようこそ」とその返事、単語を書く(2)
第5回	単語テスト(2)、挨拶:「あなたの名前は?」とその返事、自分の名前を書く、文法:定冠詞
第6回	単語テスト(3)、挨拶:「はじめまして」、文法:名詞の性
第7回	単語テスト(4)、挨拶:「調子はどう?」とその返事(1)、文法:名詞＋形容詞(1)
第8回	単語テスト(5)、挨拶:「調子はどう?」とその返事(2)、文法:名詞＋形容詞(2)、アラブ諸国
第9回	単語テスト(6)、挨拶:「さようなら」「またね」、文法:格
第10回	単語テスト(7)、挨拶:「お願いします」、文法:前置詞
第11回	単語テスト(8)、挨拶:「どうぞ」、文法:「持っている」構文
第12回	単語テスト、挨拶:「ありがとう」とその返事、数:1～5、文法:名詞＋名詞(イダーファ)
第13回	会話練習、数:6～10
第14回	理解度の確認、アザーン、文字絵
第15回	振り返り
第16回	数:1～5、リズムで覚える挨拶(1)～(5)、文法:復習
第17回	単語テスト:1～5、数:6～10、リズムで覚える挨拶(6)、文法:双数
第18回	単語テスト:6～10、数:11～19、リズムで覚える挨拶(7)、文法:複数
第19回	単語テスト:11～15、数:20～29、リズムで覚える挨拶(8)、文法:人称代名詞
第20回	単語テスト:25～29、数:30、40、50…100、リズムで覚える挨拶(9)、文法:動詞完了形の活用
第21回	単語テスト:60…100、曜日、リズムで覚える挨拶(10)、文法:動詞完了形を含む文
第22回	単語テスト:動詞1完了形、リズムで覚える挨拶(11)、文法:動詞完了形を含む名詞文と動詞文
第23回	単語テスト:動詞2完了形、リズムで覚える挨拶(12)、文法:動詞完了形の練習問題
第24回	単語テスト:曜日、序数:1～10、会話(1)、文法:動詞未完了形
第25回	単語テスト:動詞1未完了形、時刻、会話(2)、文法:動詞未完了形の練習問題
第26回	単語テスト:動詞2未完了形、会話(応用)、文法:否定動詞ライサ
第27回	単語テスト、年賀状、文法:動詞カーナ
第28回	文法:数字＋名詞、年齢
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業方法

講義。文法の説明を受けた後、練習問題を解いてみます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習(1時間)。宿題・練習問題(1時間～2時間)。単語練習(1日5分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	単語テスト
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	宿題・練習問題の提出状況
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された宿題・練習問題は、コメントをつけて返却します。

教科書コメント

担当講師のホームページに掲載されているテキスト『アラビア語の法則』を教科書とします。

参考文献コメント

授業時に指示します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U829001101	科目ナンバリング	002D293
講義名	アラビア語R(中級)		
英文科目名	Arabic (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	斎藤 美津子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西1－315		

授業概要

アラビア語B(初級)を履修したか、同程度の学力がある人を対象とします。

到達目標

アラビア語の基本文法を身につけ、辞書を使いこなせるようにします。発音記号のついた文が正確に読めるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	ウォーミングアップ
第2回	単語テスト:人称代名詞独立形、辞書の引き方
第3回	単語テスト:人称代名詞接尾形、文法:動詞完了形を含む文
第4回	単語テスト:kataba完了形の活用、文法:動詞完了形を含む文
第5回	単語テスト:kataba未完了形の活用、文法:動詞未完了形を含む文
第6回	単語テスト:動詞1、文法:動詞未完了形を含む文
第7回	単語テスト:動詞2、文法:動詞未完了接続形
第8回	単語テスト:kataba未完了接続形の活用、文法:動詞未完了短形
第9回	単語テスト:kataba未完了短形の活用、文法:命令形、会話練習
第10回	単語テスト:kataba命令形の活用、動詞派生形完了形
第11回	単語テスト:動詞派生形完了形、動詞派生形完了形を含む文
第12回	動詞派生形未完了形
第13回	単語テスト:動詞派生形未完了形、動詞派生形未完了形を含む文
第14回	動詞派生形を含む文
第15回	予備日
第16回	文法:インナとその姉妹語
第17回	単語テスト:動詞派生形完了形、会話主体のテキストの講読
第18回	単語テスト:動詞派生形未完了形、会話主体のテキストの講読
第19回	単語テスト:動詞派生形命令形、会話主体のテキストの講読
第20回	単語テスト:派生形動名詞、文法:動名詞・能動分詞・受動分詞
第21回	単語テスト:派生形能動分詞、文法:関係代名詞
第22回	単語テスト:派生形受動分詞、会話主体のテキストの講読
第23回	単語テスト:曜日、会話主体のテキストの講読
第24回	単語テスト:序数1～10、会話主体のテキストの講読
第25回	単語テスト:時刻1～6時、最新ニュースの講読
第26回	単語テスト:時刻7～12時、最新ニュースの講読
第27回	単語テスト、最新ニュースの講読
第28回	最新ニュースの講読
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業方法

講義。文法を学ぶときは、文法の説明を受けた後、練習問題を解いてみます。講読のときは、文を読んだ後、文法的な分析を行ってから、辞書で初出の単語を引き、和訳します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習(1時間)。練習問題(1時間～2時間)。単語練習(1日5分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	70 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	単語テスト
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	宿題の提出状況
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された宿題・練習問題は、コメントをつけて返却します。

教科書コメント

『アラビア語の法則』(担当講師のホームページに掲載)と配付プリント。辞書については初回授業時に説明します(購入の必要はありません)。

参考文献コメント

授業時に指示します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U829100101	科目ナンバリング	002D192
講義名	アラビア語C(初級)		
英文科目名	Arabic (Elementary Course; Communication)		
担当者名	川上 アビール		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 西2－304		

授業概要

イラク出身のネイティブ講師が会話と発音に重点を置いた授業を行います。最初、読み書きと発音をしっかりマスターして、テキストにそって基本的な文法を学習していきます。常に単語力アップや表現力アップの練習を行い、応用会話力も伸ばしていきます。

到達目標

アラビア語文字の読み書きができる。
基本的な挨拶、自己紹介、簡単な会話ができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業についての説明、自己紹介、アラビア文字
第2回	あいさつ、アラビア文字独立形、発音指導
第3回	あいさつ、アラビア文字独立形、発音記号、発音指導
第4回	あいさつ、アラビア文字接続形、発音指導
第5回	あいさつ、読み書き練習、発音指導
第6回	あいさつ、インド数字、読み書き練習
第7回	あいさつ、数字、週の名前、読み書き練習
第8回	あいさつ、時間、読み書き練習 月名
第9回	レッスン1 これはムハンマドさんです
第10回	レッスン2 これは何ですか
第11回	レッスン3 彼は教師ですか、それともエンジニアですか
第12回	レッスン4 あなたのお名前は？
第13回	レッスン5 天気はどうですか
第14回	レッスン6 アラビア語は美しく、楽しいです
第15回	レッスン7 この作家は有名です
第16回	レッスン8 この本は机の上にあります
第17回	レッスン9 彼はサウジアラビア出身です
第18回	レッスン10 私は日本人です
第19回	レッスン11 駅はここから遠いですか
第20回	レッスン12 このカバンは誰の？
第21回	レッスン13 神戸には美しいモスクがあります
第22回	レッスン14 あなたには兄弟か姉妹がいますか
第23回	レッスン15 ムハンマドがザイドをたたいた
第24回	レッスン16 私はあなたを愛しています アラブ通になれる便利な表現
第25回	レッスン17 この二人の通訳はプロです
第26回	レッスン18 この町にはたくさんの大学があります
第27回	レッスン19 彼らはサウジアラビア出身の先生方です
第28回	レッスン20 これらのカバンはユースフのですか
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

折に触れて、アラブ・イスラム文化などについてお話しします。

授業方法

講義及びグループワーク

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

アラブやイスラムについて関心を持って、ニュースなどを日頃からチェックしてください。
世界地図でアラブ諸国がどこにあるか、首都は何か覚えてきてください。
予習の必要はありませんが、復習は授業当日か翌日と授業の前日の最低2回は行ってください。
会話が成立するには基本的表現の他に語彙が大切になってきます。単語の暗記をがんばってください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	40 %	過去授業内容の理解度を確認するため授業前に適宜実施
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	会話スキットの暗記、提出物、出席率、取組姿勢
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答えは返却し、授業内で解説を行います。
提出された宿題は添削の上返却します。

教科書

アラビア語表現とことんトレーニング,竹田敏之,白水社,第3版,2015,9784560086483

参考文献

アラビア語の法則,斎藤美津子

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

アラブ映画を観たり、アラブ音楽を聴いたり、アラブ料理を食べたり、作ったり、アラブに関連するイベントがあったら参加したりして、体験を通してアラビア語とアラビア語圏の国々の文化に親しんでください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U829101101	科目ナンバリング	002D292
講義名	アラビア語C(中級)		
英文科目名	Arabic (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	川上 アビール		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西2－505		

授業概要

イラク出身のネイティブ講師が会話と発音に重点を置いた授業を行います。最初、初級で習った基本的文法を復習し、テキストにそってさらなる文法を学習していきます。常に単語力アップや表現力アップの練習を行い、応用会話力も伸ばしていきます。

到達目標

完了形、未完了形、命令形といった動詞を活用して、簡単な会話ができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業についての説明、自己紹介、アラビア文字復習
第2回	初級文法復習、応用会話練習
第3回	初級文法復習、応用会話練習
第4回	初級文法復習、応用会話練習
第5回	初級文法復習、応用会話練習
第6回	初級文法復習、応用会話練習
第7回	初級文法復習、応用会話練習
第8回	初級文法復習、応用会話練習
第9回	ここにモロッコ料理店はありますか
第10回	ムハンマドは学生ではありません
第11回	ムハンマドは学生でした
第12回	私はその車の色が好きです
第13回	5冊の本を買いました
第14回	それは20ディルハムです
第15回	私たちはカイロ大学で学びました
第16回	飛行機は到着しましたか
第17回	誰がこの料理を作ったのですか
第18回	フェズまで列車に乗りました
第19回	今、何時ですか
第20回	どちらにお住まいですか
第21回	お仕事は何をしていますか
第22回	チュニジアに2か月滞在する予定です
第23回	母は今、台所で料理しています
第24回	妹はメガネをかけている
第25回	私の兄は柔道選手です
第26回	この魚は火が通っていますか
第27回	友人がアラビア書道を紹介してくれた
第28回	エジプトへ何回行ったことがありますか
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

折に触れて、アラブ・イスラム文化などについてお話しします。

授業方法

講義及びグループワーク

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

アラブやイスラムについて関心を持って、ニュースなどを日頃からチェックしてください。

世界地図でアラブ諸国がどこにあるか、首都は何か覚えてきてください。
予習の必要はありませんが、復習は授業当日か翌日と授業の前日の最低2回は行ってください。
会話が成立するには基本的表現の他に語彙が大切になってきます。単語の暗記をがんばってください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	40 %	過去授業内容の理解度を確認するため授業前に適宜実施
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	会話スキットの暗記、提出物、出席率、取組姿勢
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答えは返却し、授業内で解説を行います。
提出された宿題は添削の上返却します。

教科書

アラビア語表現とことんトレーニング, 竹田敏之, 白水社, 第3版, 2015, 9784560086483

参考文献

アラビア語の法則, 斎藤美津子

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

アラブ映画を観たり、アラブ音楽を聴いたり、アラブ料理を食べたり、作ったり、アラブに関連するイベントがあったら参加したりして、体験を通してアラビア語とアラビア語圏の国々の文化に親しんでください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>